

## 第3部

# 参 考 資 料

---

- 資料1 第4次利根町総合振興計画基本構想
- 資料2 第4次利根町総合振興計画4期基本計画策定経過
- 資料3 利根町振興計画審議会条例
- 資料4 利根町振興計画審議会委員名簿
- 資料5 利根町振興計画策定委員会設置要項
- 資料6 利根町振興計画策定委員会委員名簿
- 資料7 諮問・答申
- 資料8 4期基本計画策定にかかる住民アンケート集計結果

## 第1章

## 第4次利根町総合振興計画の全体構成

## 1. 計画の構成

第4次利根町総合振興計画は、基本構想・基本計画・実施計画により構成します。

## (1) 基本構想

本町のあるべき将来像と土地利用構想を明らかにし、施策の大綱等を示すものです。

## (2) 基本計画

基本構想に示された施策の大綱を実現するために必要な手段、施策を具体化して体系的に明らかにしたものです。

## (3) 実施計画

基本計画に示された施策・事業を実施するため、毎年度の予算編成の指針とするものです。

## 2. 計画の期間

## (1) 基本構想

平成10年（西暦1998年）度を初年度とし、平成32年（西暦2019年）度を目標年度とします。

## (2) 基本計画

1期：平成10年度を初年度とし、平成14年度を目標年度とします。

2期：平成15年度を初年度とし、平成19年度を目標年度とします。

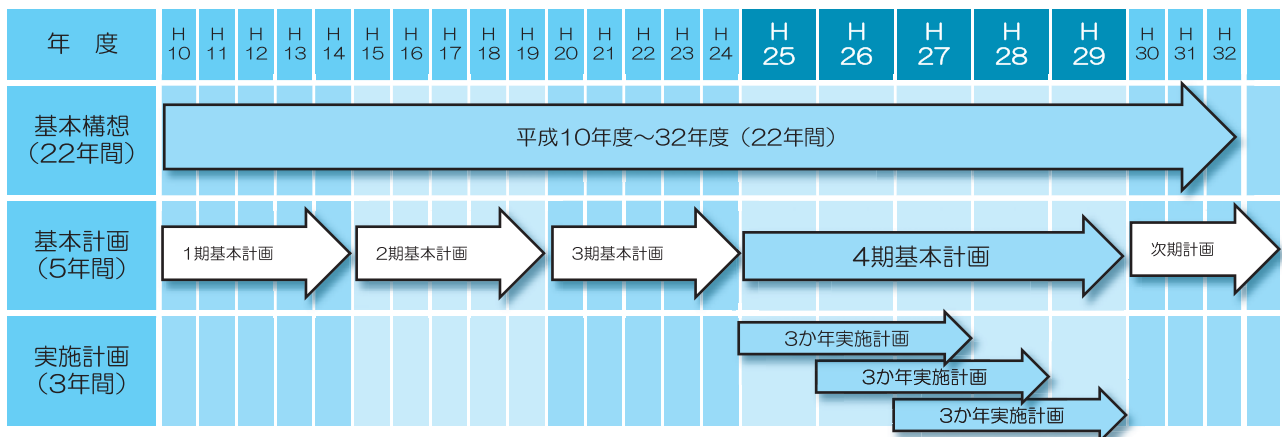
3期：平成20年度を初年度とし、平成24年度を目標年度とします。

4期：平成25年度を初年度とし、平成29年度を目標年度とします。

## (3) 実施計画

平成10年（西暦1998年）度を初年度とし、3ヶ年を目標期間として必要に応じて修正を加えながらローリング方式により毎年度策定することを基本とします。

## ●計画の期間



## 第2章 利根町のあゆみ

わたしたちのまちには、花輪台貝塚に代表されるいくつかの貝塚があり、この地が古くから人の住む地として優れた環境であったことがわかります。

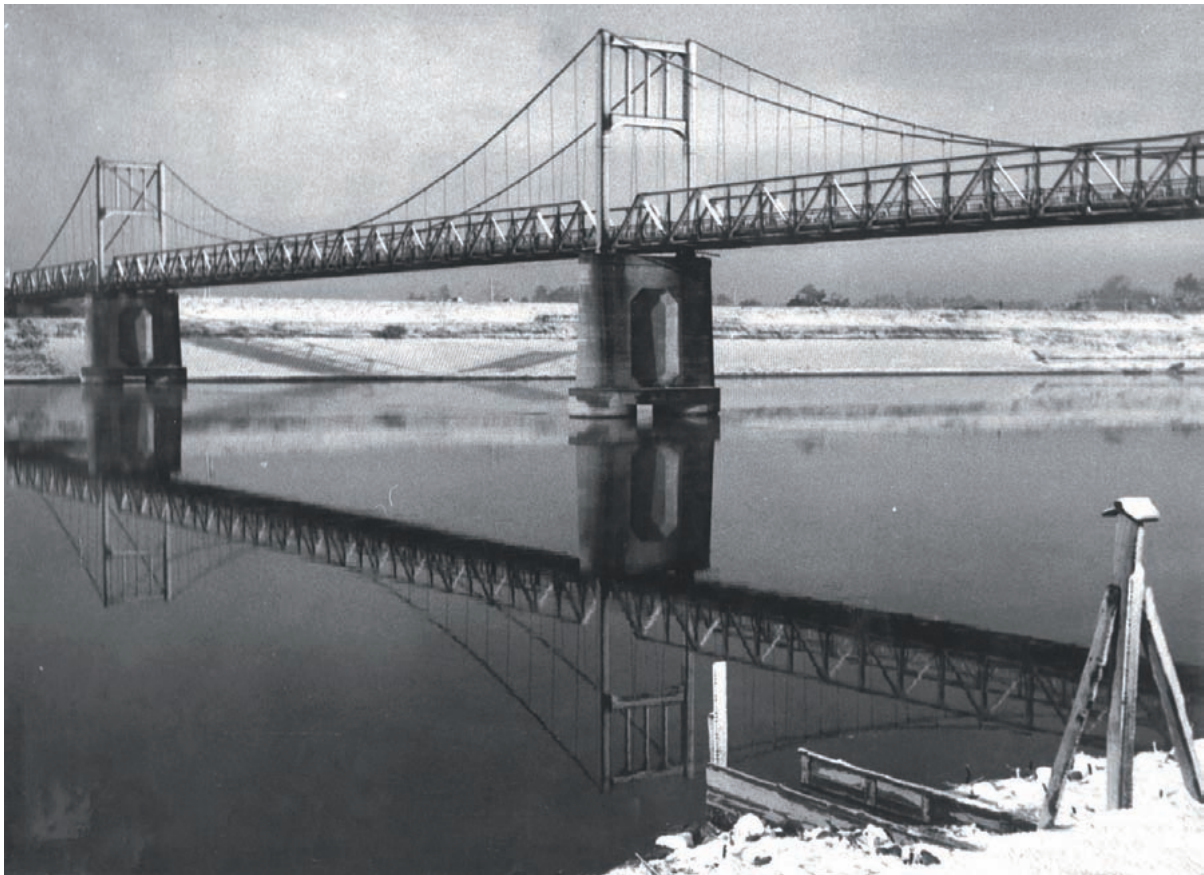
江戸時代には、利根川水運の河岸場として、また、江戸から水戸方面へ通じる佐竹街道の要衝としても栄えた町です。一方で、河川沿いの町の宿命としてたび重なる水害に悩まされ、その解消に不断の努力が払われてきました。

昭和30年、布川町、文村、文間村、東文間村の1町3村が合併して利根町が誕生しましたが、高度成長における全国的な人口や産業の大都市集中のなかで、若年層を中心に多くの町民が東京をはじめ、町外へと流出していきました。その結果、人口は減少し、農業を基盤産業とする町の経済力も低下しました。

しかし、昭和40年代後半以降、栄橋の架け替え及び県道千葉竜ヶ崎線バイパスの完成を契機に都市化の波が押し寄せ、次々と住宅団地が開発されて、町は住宅地の様相を強めてきました。

人口も増加するなかで、公共下水道をはじめとした生活・都市基盤整備を着々と進め、町民の生活環境の向上に努めるとともに、福祉センター・図書館の整備など、住みよいまちにするための施策を推進してきました。

今、利根町は、広域的な都市化の流れのなかでも自然や田園環境と都市が調和した姿を保ちながら、さらなる発展に向けた様々な取り組みを進めようとしています。



旧栄橋

## 第3章 社会経済情勢の変化

第3次利根町総合振興計画策定時から今日に至る間、計画の背景となる社会経済情勢は、大きく変化しています。

この変化は、概ね次のように整理されます。

### 1. 経済の低成長

昭和から平成へと時代が推移するとともに、長期の経済成長時代から、長期の経済停滞ないしは、後退する時代となり、現在に至っています。

日本経済は、大きな構造変化のなかにあり、採算性を向上させるためのリストラや規制緩和、情報化、国際化が急速に進められ、終身雇用をはじめとする従来の日本の経営の形態も大きく変わろうとしています。今後も、かつてのような急成長を伴う好況は望みにくいとも言われ、国や地方自治体の財政も厳しさを増していくものと思われます。

まちづくりに関する施策や地域社会の活動も、こうした経済の低成長を前提に進めていくことが求められています。

### 2. 産業構造の変化

日本の産業構造は、第1次産業の比重が低下しており、第2次産業もここ数年は生産額が頭打ちとなっています。

半面、交通、情報・通信ネットワークの発達などにより流通やサービス産業などの第3次産業の比重が高まりをみせています。

第1次産業は、構造変化の流れのなかにあり、特にガット・ウルグアイ・ラウンドの合意により、農産物の輸入増大が避けられなくなっています。このため、農業は経営体質の強化などその姿を変えていくことが求められています。

さらに、第2次産業や第3次産業においても、研究開発型製造業や情報サービス産業の成長などが予想されており、このように産業構造全体が今後も様々に変化していくものと考えられます。

### 3. 進む高齢化と少子化

我が国は世界にも例をみない速さで人口の高齢化が進んでいます。65歳以上の高齢者の割合は平成17年国勢調査で19.9%に達して増加傾向にあり、一方、14歳以下の年少人口の割合は9.9%で低下を続けています。

出生率の低下もあって全国の総人口が増加から減少に転ずるとも予想されるなかで、平成20年代後半には、4人に1人が高齢者という超高齢社会になると想定されています。

高齢者を支える現役世代の人口が相対的に減少し、その負担増による活力の低下といった影響も懸念されています。

そうしたなかで、介護の需要が急速に増加するため、介護保険制度の運用等を含めて福祉・保健・医療の連携によるサービスの確保、充実への取り組みが進められています。

## 4. 地球環境時代の到来

地球温暖化やオゾン層の破壊をはじめとする地球環境問題が、人類の生存そのものを揺るがす問題として議論されています。

自動車排出ガスや生活排水などに起因する都市生活型公害が環境破壊を招いており、何よりも、大量消費、大量廃棄型の日常生活や通常の産業活動に伴う行動が環境負荷の発生原因となっています。

地球環境を健全な状態に保全して将来の世代に引き継ぐことは、人類共通の課題です。

従って、社会システムやライフスタイルも視野に入れた環境施策により、環境への負荷を最小限にして発展が続けられる社会を構築していくことが強く求められることとなります。

## 5. 情報化・国際化の進展

情報通信技術の発展とともに、個人レベル、地域レベルでも情報化が急速に進んでおり、ライフスタイルにも様々な影響をもたらしています。

また、国際的な交通・通信手段の発達により、人・物・情報などの国際間での交流が活発となっています。国境を超えた経済圏、文化圏が形成・拡大するにつれて、交流の幅もさらに広がる可能性を見せています。こうしたなかで、地域においても情報化・国際化への適切な対応とそれらに適應できる人づくりが求められています。

## 6. ライフスタイルの多様化

生活水準の向上、自由時間の増大、健康への関心の高まりなどに伴い、人々の価値観が多様化するとともに、ライフスタイルは大きく変化し、「物の豊かさ」から「心の豊かさ」や「量的拡大」から「質的向上」を重視する傾向が強まっています。

それは、スポーツ・レクリエーション、芸術・文化など様々な活動を通じて、自らを高め、真に豊かな生活を実現しようという意欲の現れであり、地域社会においてもこうしたニーズにこたえていくことが求められています。

## 7. 女性の社会参画

法律・制度上では男女平等がほぼ達成されつつありますが、まだまだ様々な面での男女共同参画が諸外国と比較しても不十分な状況です。「男性は仕事、女性は家庭と子育て」などの固定的な男女の役割分担意識は依然として根強く残っていますが、女性の就業やまちづくり活動への参加など、社会進出による活躍の場も少しずつ広がっています。

このような社会参画を少しでもしやすくするため、仕事と出産・育児を両立できる社会的支援などの必要性が強く指摘されています。

## 8. 地方の役割強化と国土構造変化への流れ

交通体系の整備等に伴う地方における中核都市の成長に見られるように、国土における諸機能の地域間バランスも微妙に変化しており、また、地域相互のアクセス性が高まることによって、地域間交流の条件が整いつつあります。そうしたなかで、各地域が個性的な発展をしていくためには、地方公共団体が自主的な判断と責任のもとに、地域の実情に応じた施策を展開できるような分権型の行財政システムへの転換が必要となっています。

このような背景のもとで、平成7年に地方分権推進法が成立し、同法に基づく地方分権推進委員会も発足しており、国から県、さらには市町村への各種権限の委譲や地方税財源の充実、補助金等の整理、地方行政体制の強化などの方向性が示され、これをもとに平成10年5月には、地方分権推進計画が閣議決定されています。

今後は、地方の側もこうした流れに対応できる強い主体性と行動力を求められることとなります。

## 第4章 利根町の主要課題

利根町では、第3次利根町総合振興計画に基づく各種施策の展開によって、様々な問題解決、新しい発展方向の模索を続けてきましたが、その後の社会経済情勢や町民意識等の変化を踏まえると、なお多くの問題を抱えています。

第4次利根町総合振興計画の策定にあたって、改めて利根町が抱える基本的な課題を整理すると、次の5項目に集約することができます。

### 1. 調和のとれた土地利用とまちの基盤強化

利根町は、東京40km圏にありながら、農業地域の環境が比較的良く保全され、利根川に代表される水と緑豊かな町の姿を維持してきました。

そうしたなかで、市街地は住宅団地を主体に町の北部と南部に形成されており、今後は、ひとつのまとまりのある市街地として、暮らしやすい環境と新しい発展の活力が創出されるよう、自然環境、田園環境を守りながら、開発と保全の調和のとれた土地利用のあり方を追求していくことが必要です。そして、市街地、農業地域の双方において、自然災害や公害等の心配のない安全な環境、地球にやさしい環境、うるおいとやすらぎのある快適な環境をつくっていかねばなりません。

また、利根町には町を代表し多くの人が集まる町の「顔」となる場が乏しい状況にあります。町民が共通に誇れるにぎわいのある空間をつくること、人口定着のための魅力づくりの観点からも強く求められます。

町の骨格的な基盤である幹線道路は、一部で渋滞する箇所があり、町民生活や各種経済活動にも支障を与えているなど、ネットワークとしてまだ不十分な状況です。そのため、新たな広域幹線道路とともに円滑な交通を確保できる道路網への再整備、鉄道やバス等の公共交通機関の利便性向上に努める必要があります。

これらの基盤づくり、環境づくりにおいては、町の特徴である水と緑の自然・田園環境との調和に配慮し、安全性・利便性ととも、快適性の着実な向上を目指していくことが求められます。

### 2. 福祉・保健・医療の統合による暮らしやすいまちづくり

本格的な「少子高齢社会」を迎えようとしているなかで、高齢化が活力に結びつくあかるい社会づくりが求められます。いつでも必要な介護サービスが受けられ、誰もが生涯にわたり健康に暮らせる地域づくり、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めていかねばなりません。

高齢者の生きがいづくりや痴呆・ねたきり予防対策等を通じて、いわゆる「元気老人」を増やすための支援が重要となる一方、自立が困難になった場合でも住み慣れた利根町で安心して生活できるよう、個人の尊厳に立脚しつつ、家族や地域、行政等の地域社会全体で支える自助、共助、公助の総合的なシステムが適切に組み合わせられた重層的な福祉社会を目指していく必要があります。

また、心身ともに健康な生活を送れることが個人にとっても、社会にとっても大切であり、乳幼児期から老年期までの生涯にわたる健康づくりや病気の予防をきめ細かく支援する地域の保健サービス体制の充実・改革が求められます。同時に、地域医療の役割も変化しており、医療需要の変化や多様化に対応できる体制の充実が必要となります。

### 3. 多様な交流によるふるさと意識の醸成と個性あるまちづくり

町民が町に誇りを持ち、郷土を愛する心を育てることが、町を変えていく原動力となります。そのためには、共通に認識できる町の特徴（アイデンティティ）づくりが重要であり、新しい町のイメージ、町の誇りを創出していくことが必要です。

さらには、文化・スポーツなどを通じて様々な交流を行い、新しい文化を醸成していくことも重要です。

それを通じて町民の連帯感を強め、町の個性づくりに努めていくことが、魅力あるまちづくりのため、また、人口の定着、特に若者の定住を促す上でも大きな課題となります。

また、こうした町の文化を外に向けてアピールし、様々な分野での広域的な交流活動の展開について検討していくことも重要です。

### 4. 時代変化に適合した新しい経済基盤構造の確立

町の基幹産業である農業は、就業者の高齢化や輸入農産物の増大などにより将来の展望が見だしにくくなっており、地域性を活かした振興の方向を検討して行くことが必要となっています。

商業は、集積力が弱いいため、町民の買い物の利便性を向上させ、より多くの人の生活ニーズにこたえられる魅力ある商業集積を形成することが求められます。

工業については、その立地基盤が十分でなく、生産力も伸び悩んでいる状況です。利根町がさらに活力を高めていくためには、今ある産業のさらなる高度化を図るとともに、時代環境の変化に合わせて産業間の連携や新たな産業の振興・育成などに積極的に取り組み、総合的に経済基盤の強化を図っていくことが課題となります。

### 5. 開かれた行政運営と町民のまちづくりへの主体的参画

近年、地方分権が政策的にも進められ、地方自治体は自主的、主体的、個性的な行政運営能力を高めることが強く求められます。また、それらを円滑に進めるためには、地方自治体の行財政基盤の強化も必要となります。

さらに、町民にわかりやすいまちづくりを進めるために、町民と行政の間で双方向のコミュニケーションを深め、情報の疎通を円滑化させるなど、開かれた行政にしていく必要があります。

そして、町民の知恵や力を活かせるよう、町民と行政がパートナーシップを組んでまちづくりを進めていくことが重要な課題となります。

## 第5章 利根町の将来像

### 1. 将来像

利根町の目指す将来像を次のように展望します。

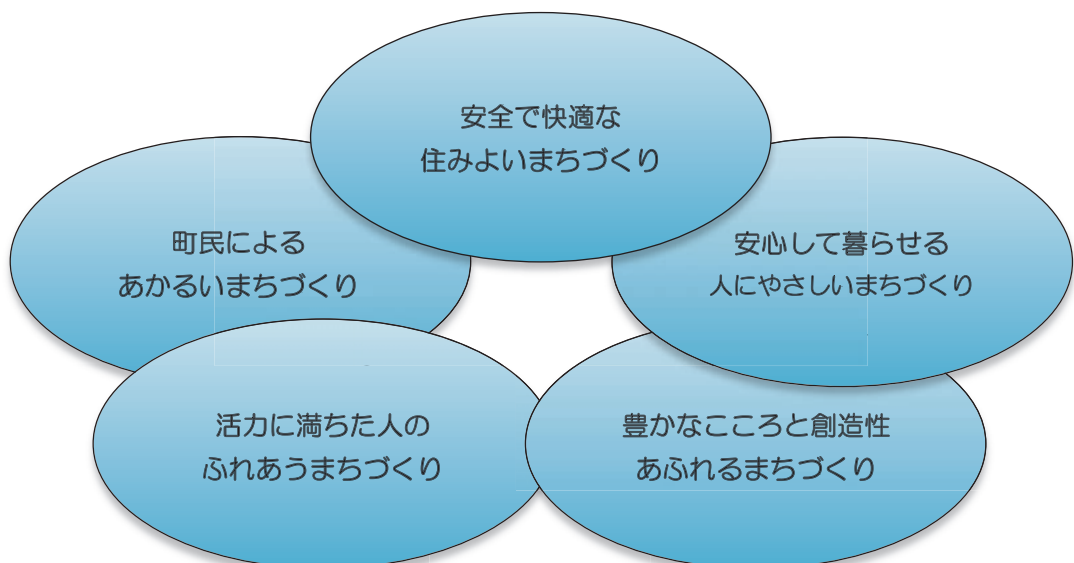
## 誰もが安心して豊かに生活できる元気なまち

この将来像は、高齢化、情報化、国際化などの社会環境変化のなかでも、私たちすべての町民が共通に持ち続けるまちづくりの目標であり、21世紀半ばに向けて私たちがともに築いていくべき安全で美しく魅力に富んだ環境や風土、健やかで温もりのある生活、広域的な地域発展の一翼をも担うことができる活力に満ちたまちの姿、それらを総括的に表したものです。

自然・田園環境と都市機能がバランス良く調和した町土の上に、交通条件の向上効果を活かした新たな産業も含めて、農工商が相乗効果を及ぼし合いながら発展し、利根川を背景に町内外の人々が活発に交流し、町のなかくにぎわいと活気がみなぎっているまち、そして若者が町に愛着を持って住み続け、乳児から高齢者まで誰もが安心して生きがいと真の豊かさを感じながら暮らしているまち…

……そういう姿を利根町は目指します。

この将来像は、さらに次の5つの大きな柱で支えられるものとします。





### 安全で快適な住みよいまちづくり（都市基盤・生活環境の整備充実）

町の立地特性や地域構造を的確に見極めながら、自然・田園環境と都市機能がバランスよく調和した土地利用、都市基盤の充実を図り、元気な町民生活の環境条件のさらなる向上を進めていきます。

### 安心して暮らせる人にやさしいまちづくり（福祉・保健・医療の充実）

本格的な高齢社会の時代を迎え、誰もが生き生きと安心して暮らせるよう、福祉・保健・医療が統合した助け合いの仕組みを確かなものにするとともに、子どもを生き育てやすい環境をつくり、町中に元気とやさしさをみなぎらせていきます。

### 豊かなところと創造性あふれるまちづくり（教育・文化・スポーツの振興）

明日を担う健全な子どもを地域全体で育てるとともに、町民が生涯にわたって意欲や適性等に応じた学習や文化・スポーツ活動、さらには様々な交流活動を展開することで、豊かで創造性のある元気なところを育てていきます。

### 活かに満ちた人のふれあいまちづくり（産業の振興）

これまでの農業を中心とした町の産業構造を、時代の流れや地域特性に適合した各種産業が複合的に展開する構造に変えていくことで、地域経済をより元気なものにし、町の発展の基礎を確かなものにしていきます。

### 町民によるあかるいまちづくり（まちづくりの推進）

行財政の健全な運営、効率化等に努めるとともに、すべての町民が地域での連帯を深め、積極的にまちづくりに参画し、行政とともに元気な行動力を発揮できるよう、より住みよい開かれた地域社会の形成を目指していきます。

## 2. 将来指標

将来像を実現していくための施策の基礎となる人口を次のように想定します。

### (1) 将来人口・世帯数

基本構想の目標年次である平成32年度の将来人口は、概ね18,000人、世帯数は6,800世帯と想定します。

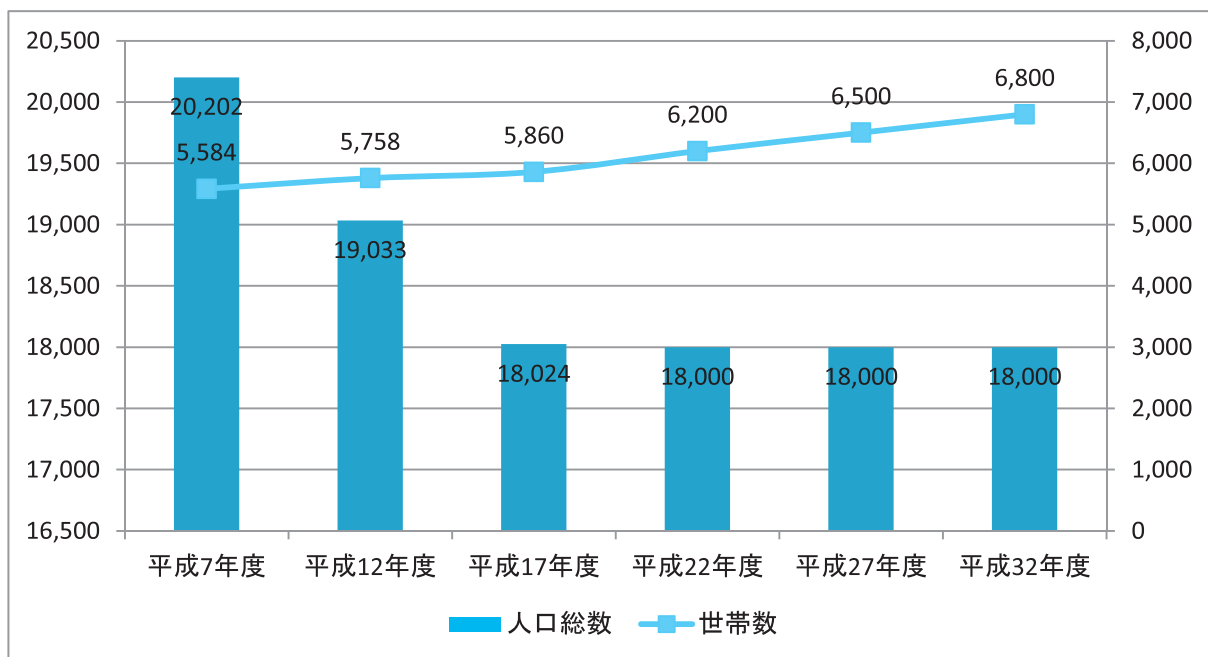
平成19年度以降の約10年間で約2,500人の宅地開発事業での人口増を見込んでいます。

しかしながら、現時点での居住人口の将来推計が目標年次までにほぼ同数の減少を見込んでいます。また、1世帯当たりの人員は核家族化や少子化の影響等により、減少がさらに続くものと予測されますが、家族向けの宅地開発事業により、平成32年度には約2.65人/世帯になるものと見込まれます。

#### ●将来人口・世帯数

	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	平成32年度
人口総数	20,202	19,033	18,024	18,000	18,000	18,000
世帯数	5,584	5,758	5,860	6,200	6,500	6,800

資料：平成17年度までは国勢調査結果



## (2) 年齢別構成

年少人口（0～14歳）構成比は、全国的な少子化傾向などにより、減少することが予測されますが、平成22年度以降、宅地開発人口増のためやや上向き傾向となります。

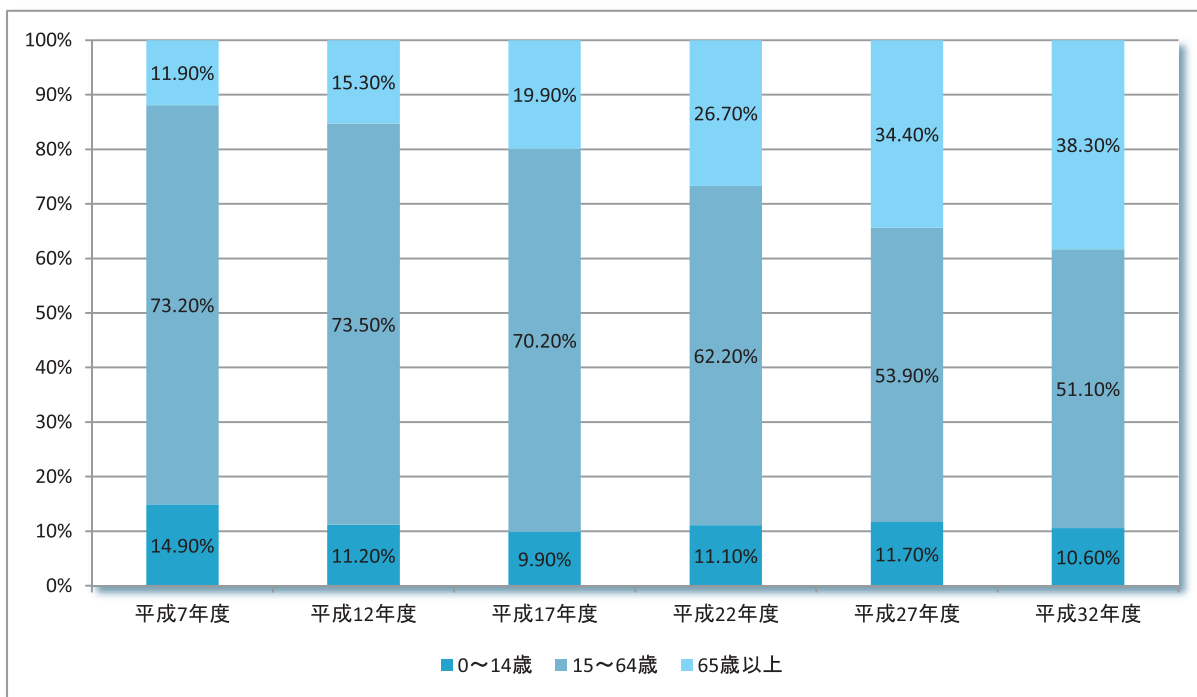
また、昭和50年代等の住宅開発団地の高齢化進展などにより定年退職者も多いため、生産年齢人口（15～64歳）構成比が減少していく一方で、老年人口（65歳以上）の割合が約20%から30%後半程度までに上昇するものと見込まれます。

特に、老年人口のなかで75歳以上の人口のしめる割合は、平成32年度には人口総数の15%を超えることが予想されます。

### ●年齢別構成

	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	平成32年度
総数	20,202	19,033	18,024	18,000	18,000	18,000
0～14歳	3,004	2,131	1,787	2,000	2,100	1,900
15～64歳	14,782	13,987	12,651	11,200	9,700	9,200
65歳以上	2,402	2,912	3,585	4,800	6,200	6,900
内75歳以上	929	1,170	1,524	1,700	2,100	3,000
構成比						
0～14歳	14.90%	11.20%	9.90%	11.10%	11.70%	10.60%
15～64歳	73.20%	73.50%	70.20%	62.20%	53.90%	51.10%
65歳以上	11.90%	15.30%	19.90%	26.70%	34.40%	38.30%
内75歳以上	4.60%	6.10%	8.50%	9.40%	11.70%	16.70%

資料：平成17年度までは国勢調査。総数には、不詳（平成7年度 14名、平成12年度 3名、17年度 1名）を含む



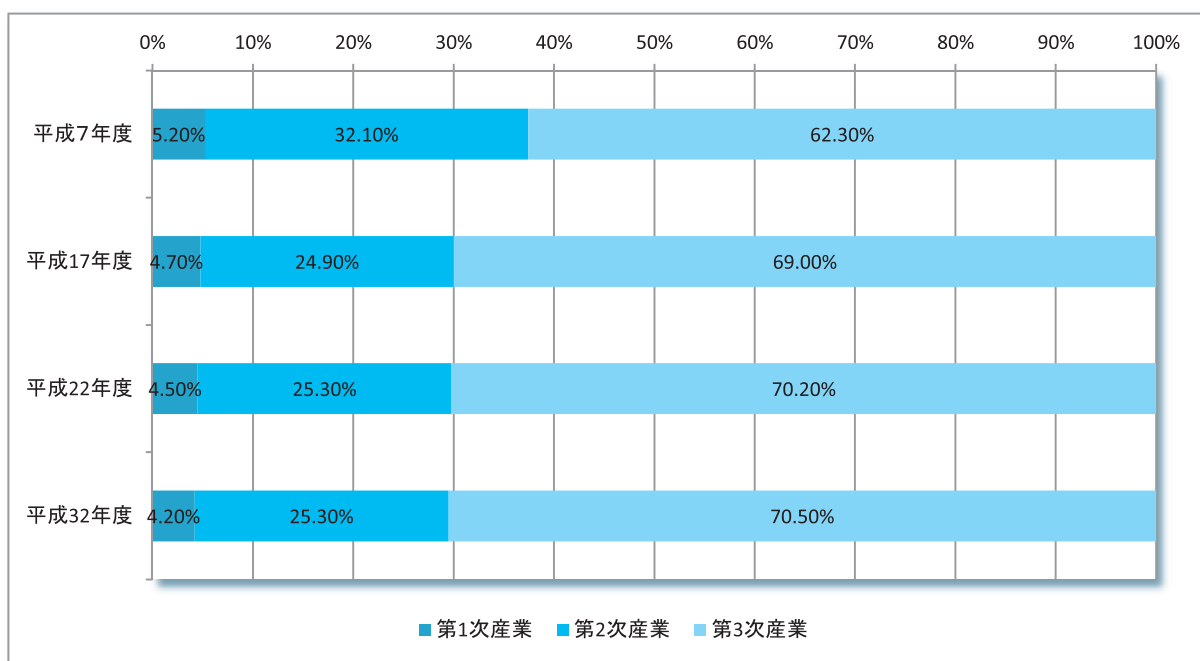
### (3) 就業構造

平成32年度の就業者総数は、概ね8,810人と想定します。第1次産業就業者は、高齢化や後継者不足により、平成32年度には約370人となることが予想されます。

一方、第2次産業就業者と第3次産業就業者は、既存住宅地や新規宅地開発の熟成などの状況のなかで、平成32年度にはそれぞれ約2,230人、約6,210人となることが予想されます。

#### ●就業構造

	平成7年度	平成17年度	平成22年度	平成32年度
第1次産業	505	414	390	370
(構成比)	5.20%	4.70%	4.50%	4.20%
第2次産業	3,141	2,191	2,230	2,230
(構成比)	32.10%	24.90%	25.30%	25.30%
第3次産業	6,097	6,082	6,190	6,210
(構成比)	62.30%	69.00%	70.20%	70.50%



### 3. 土地利用基本構想

利根町の目指す将来像を実現するため、必要な都市機能配置を含む土地利用の望ましいあり方と、これに基づく利根町ならではのまちづくりの展開方向を以下のように定めます。

#### (1) 土地利用の基本方針

利根町は、東西8.3km、南北5.2kmに渡って広がる気候温暖な町です。町内は、標高3～5mの水田や市街地が広がる低地部と標高20～25m程の台地により構成されており、町の南は利根川、ほぼ中央部を新利根川が東西に流れています。台地部の樹林は、自然的・景観的環境を形成する上で重要なものです。

市街地は、北部の丘陵地に宅地開発された羽根野台、早尾台団地などと、南部の布川地区や田園部に宅地開発された利根ニュータウン、利根フレッシュタウンなどによって形成されています。

また、近年はさらに新しい住宅団地が開発されつつあり、都市的土地利用が一層進みつつあります。

将来的には、新たな広域道路網として地域高規格道路千葉・茨城道路及び主要地方道美浦栄線バイパスの整備等により、これまで以上に東京や千葉方面等とのつながりが強まることも予想されます。

こうした状況を背景に、今後は次のような基本方針をもって土地利用形成を推進し、利根町らしい個性あるまちづくりを目指していきます。

#### ① 都市と自然の共生

利根町は、利根川や小貝川などに代表されるように、水と緑のうるおいに恵まれた自然環境を土台として成り立っています。

これらは、日々の町民生活に憩いややすらぎを提供するばかりでなく、安全で快適な市街地の維持形成を支える上でも重要な意味を持つものです。

このような自然環境は、大切に守り育てるとともに、自然とのふれあい空間として積極的に活用します。また、新たな都市開発については、環境に配慮し、自然との調和のとれた土地利用を図っていきます。

#### ② 生活重視の魅力あるまちづくり

近年の社会資本整備は、大きな転換期を迎えていると言われ、これまでのどちらかといえば経済効率優先の社会通念が少しずつ変化してきている状況にあります。そして、町民一人一人の価値観が多様化していくなかで、自らの生活の質を高め、人生の喜びを発見し、楽しむといった生活重視の志向が高まっています。

このため、長寿社会に対応して、生涯を通じて快適な暮らしを送ることができる、人にやさしい生活空間や住宅地の形成に努めるとともに、美しい街並みを創出し、魅力ある生活基盤づくりを推進していきます。

#### ③ にぎわいのあるふれあい交流拠点の創出

都市化の進展に伴い、地域における連帯意識の向上が求められ、すべての人が手をとりあって生活していくことのできる新しい地域コミュニティの形成が必要とされています。

そのため、町に集うすべての人々の交流を念頭において、生活・文化・レクリエーション・産業などを通じたふれあい交流拠点の創出に努めていきます。

#### ④ 活力に満ちた魅力ある産業基盤づくり

主要地方道美浦栄線バイパスや主要地方道千葉竜ヶ崎線等の広域道路整備促進とあわせ、新たな商業用地や産業用地の確保に努めていきます。

そのため、主要地方道千葉竜ヶ崎線沿道に魅力ある中心市街地の形成を図り、吸引力の高い商業地を創出し、周辺市街地と一体的な整備を推進します。また、新しい産業の創出に努め、活力に満ちた産業活動が行えるような産業基盤づくりの検討を進めていきます。

#### ⑤ 利根町らしさを活かした個性あるまちづくり

利根川や小貝川の自然環境を活かし、良好な生活環境の整備に努めるとともに、にぎわいのあるふれあい交流拠点の創出を図ることで、町民が生涯豊かにすごすことのできる快適な生活空間づくりを推進します。

また、新たな商業用地や産業用地の創出にあたっては、農業を中心とした各種産業を複合的に組み合わせた土地利用等を模索しながら、新しい個性的なまちづくりに取り組んでいきます。

### (2) 土地利用ゾーニング

利根町の現在の土地特性及び上位計画などから導き出された土地利用の基本方針を踏まえ、将来の土地利用を以下のように構成します。

#### ① 住居系市街地ゾーン

部市街地は、緑豊かな丘陵地に包まれた住宅地、南部市街地は、田園風景と調和のとれた住宅地として快適な住環境の形成を図ります。

#### ② 商業・交流拠点ゾーン

主要地方道千葉竜ヶ崎線沿道等に大規模店舗を含む商業地の形成を図ります。また、これに隣接して交流やレクリエーション活動が行える公園などを配置し、人の集まる空間づくりに努め、にぎわいと活気にあふれた商業空間の創出を図ります。

#### ③ 農業ゾーン

優良農地の保全及び農地の有効利用に努め、農業生産と同時にゆとりやうるおいを提供する場としての役割も果たしていきます。これまでの稲作と併せて、収益性の高い農産物への転換など、効率的かつ生産性の高い農業の展開を図っていきます。

また、野菜や果樹など土にふれあえる農業空間の形成に努めていきます。

#### ④ ふれあい交流ゾーン

町民をはじめ町外の人々も、利根川や小貝川、新利根川などの水や緑の自然を保全・活用しながら、憩いややすらぎの空間として適切な整備を推進するとともに、各種イベントやスポーツ・レクリエーション活動などを通じてふれあい、交流できるにぎわい空間を創出します。

#### ～新しい産業の促進エリア～

主要地方道美浦栄線バイパスのインパクトを活かしつつ、時代の流れや地域特性に適合した産業の複合的組み合わせ等を模索し、新しい産業の展開を図っていくゾーンの検討を進めます。

特に、若草大橋の開通に伴う新しい産業の促進エリアについては、新たな産業の立地促進を検討します。

### (3) 道路交通体系の構築

町民生活に密着した便利で快適な道路交通網の充実に努めます。

#### ① 広域幹線道路の整備・促進

広域的な連係を強化するため、主要地方道美浦栄線バイパスの整備や主要地方道千葉竜ヶ崎線の機能拡充の促進を図るとともに、栄橋の交通混雑緩和のため、主要地方道美浦栄線バイパスへのアクセス道路の整備促進を図ります。

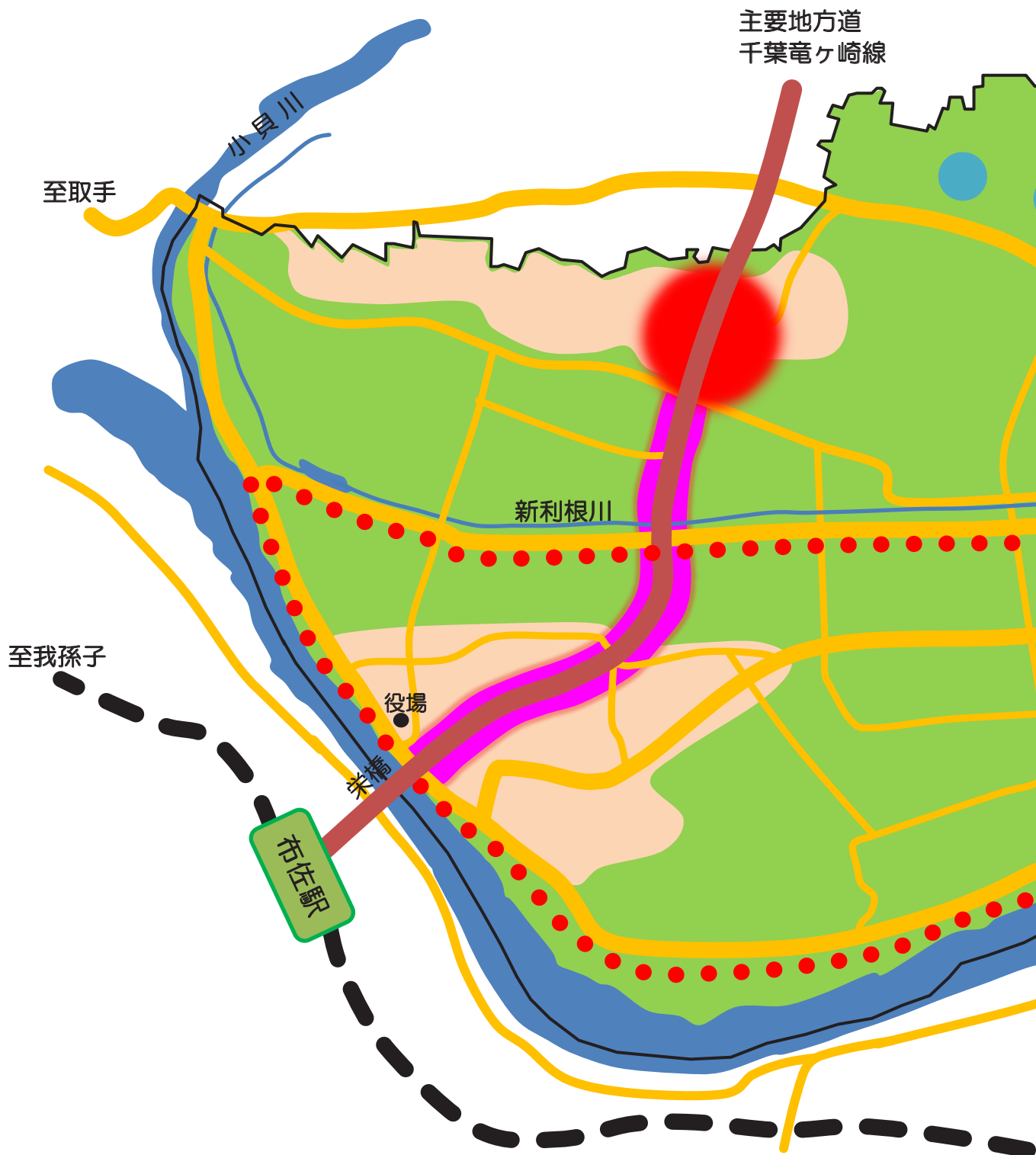
さらに、地域高規格道路である千葉・茨城道路の整備促進を図り、広域幹線道路ネットワークの拡充を目指します。

#### ② 幹線道路の計画・整備

要地方道取手東線や県道立崎羽根野線をはじめ、隣接市町間及び町内地域間を結ぶ幹線道路などの交通条件の改善を図り、安全で円滑な道路網の充実に努めます。

#### ③ 歩行者・自転車道のネットワークの形成

幹線道路の歩道や河川敷を機能的に結び、健康増進のためのジョギング、散策など人々が安全かつ快適に利用できる歩行者・自転車道のネットワークの形成に努めていきます。

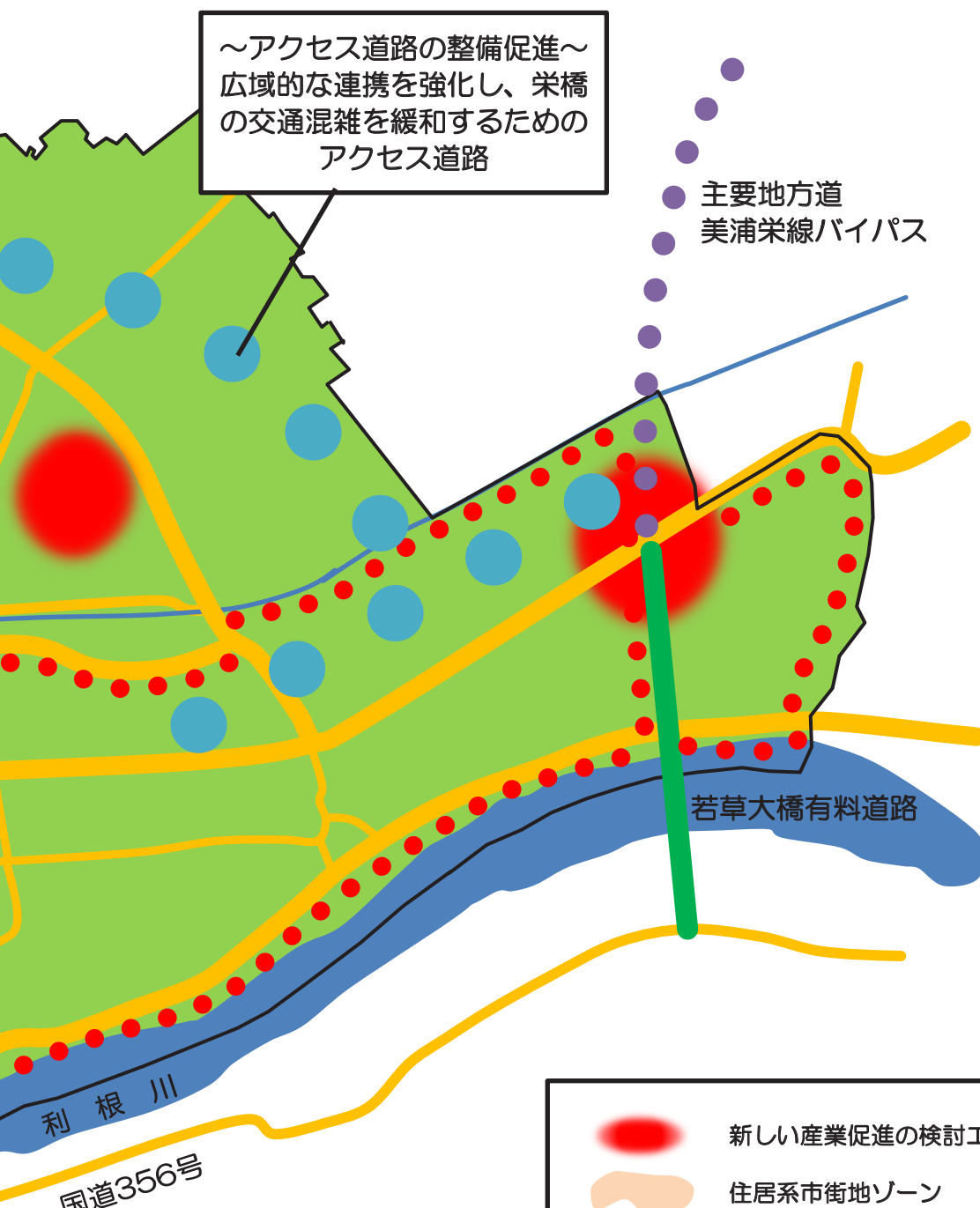




# 土地利用構想図

～アクセス道路の整備促進～  
広域的な連携を強化し、栄橋  
の交通混雑を緩和するための  
アクセス道路

● 主要地方道  
● 美浦栄線バイパス



千葉県

至成田

	新しい産業促進の検討エリア
	住居系市街地ゾーン
	農業ゾーン
	商業ゾーン
	歩行者・自転車道のネットワークの形成
	都市空間骨格軸の創出

## 第6章 施策の大綱

将来像の達成に向けて、以下に示す方針のもとに今後の施策を推進していきます。

### 1. 安全で快適な住みよいまちづくり

#### (1) 調和のとれた土地利用

利根町は、利根川に代表される水と緑の自然に恵まれています。この豊かな自然環境の良さを活かし、住環境との調和を図りながら、ゆとりやうるおいのある個性的な土地利用によるまちづくりを進めます。

また、広域交通網の整備が進むことによって、首都圏発展の一翼を担う地域としての期待が高まります。

これに対応するため、無秩序な開発や建築物用途の混在化を防ぎながら、新市街地の形成に努め、開発と保全の調和のとれた土地利用を目指します。

#### (2) 魅力ある市街地の形成

安全で快適な町民活動と健全な都市活動の場として、秩序ある市街地の形成を目指します。

特に、町の中央部には、商業機能や交流・レクリエーション活動が行える広場機能を持たせることにより、人が集まり、にぎわいが生まれる魅力ある空間を創出します。

今後の新たな市街地の開発については、需要と供給のバランスを十分に検討しつつ、計画的な整備を誘導していきます。

既成の市街地においては、道路や下水道等の基盤施設整備の充実に努め、良好な市街地を形成していきます。

#### (3) 道路・交通網の整備

都市構造を見極めながら長期的視点に立った道路網の整備を計画的に進めます。

特に、主要地方道美浦栄線バイパスの整備を促進していきます。また、東西・南北に走る県道については、円滑な交通を確保するため、拡幅・改良整備の促進に努めます。

町内の幹線道路や生活道路については、交通条件の改善を図り、町民が安全で快適に生活できるよう計画的な整備と維持・管理の充実に努めます。

公共交通については、成田線複線化等、鉄道の利便性向上やバス路線の拡充を求めています。

#### (4) 公園・緑地の整備

生活のなかに、ゆとりやすらぎを求めるライフスタイルが定着しつつあるなかで、公園・緑地の役割は、ますます重要なものとなっています。

住みよい快適な居住空間を創出していくため、公共空間の緑化、緑地の保全に努めるとともに、身近な公園からレクリエーション活動等が行える地域の拠点的な公園に至るまで計画的な整備を推進します。

また、これらを結ぶ緑のネットワーク化を推進し、身近な自然とのふれあいの場を創出します。

## （5）上下水道の整備

上水道については、需要に対応した安定給水と良質な水の確保に努めます。さらに、施設整備だけでなく、水道事業全般の効率化を推進していきます。また、限りある水資源を有効に活用するため、節水意識の高揚など啓発活動に努めます。

下水道については、町民の生活環境の向上や河川などの水質を保全するため、合併処理浄化槽による対応と併せながら、普及率100%を目指し、引き続き計画的かつ効率的な下水道整備の推進に努めます。

## （6）良好な環境の保全と創出

都市化の進展とともに、環境の汚染や破壊が進んでおり、それらへの対応を計画的に講じながら、良好な環境の保全と創出を図るとともに、地球環境の保全に努めていきます。

廃棄物、公害等の問題に対して、町民・事業所・行政の役割を明確にし、それぞれが自らの責任を認識して環境保全のための役割を果たしていきます。

町では、ごみ処理体制の充実や公害監視・指導体制の強化等に努めるとともに、ごみの減量化や再資源化、省エネルギー等への町民意識の高揚を図り、リサイクル社会の確立、環境の負荷の抑制を町全体で目指していきます。

墓地については、効率的な管理・運営体制の確立を図るとともに、墓地の需要動向を勘案しながら、そのあり方を検討していきます。

## （7）災害に強いまちづくり

地震や火災、水害などの不慮の災害から町民の生命や財産を守り、安心して生活できる環境をつくるために、災害に強いまちづくりを推進します。

都市化の進展等に対応した治水対策を進めるとともに、スーパー堤防の整備促進や避難所の確保等、施設面の充実を推進します。

また、災害発生時に的確に行動し、被害を最小限に抑えられるよう、町民・ボランティア団体・行政などの役割の明確化や情報伝達体制の強化をはじめ、救急・救助体制、消防・防災体制等を整え、訓練などを通じて、地域防災力の強化に努めます。

## （8）交通安全・防犯の充実

町民を交通事故や犯罪から守り、安全かつ快適な日常生活の確保に努めます。交通安全については、交通規制や交通安全施設の整備を図るとともに、警察・関係団体等との連携を図りながら、安全知識の普及・啓発に努め、事故の撲滅を目指します。防犯については、家庭・ボランティア団体・学校・地域社会が連携し、警察の協力を得て、犯罪や非行の防止に努めます。

## （9）街並み・景観の向上

緑化や街並み、景観づくりの意義について町民一人一人の意識を高め、自然と都市が共生した街並みの形成や地域の生活環境にふさわしい景観のあり方について検討していきます。

## （10）情報化への対応

情報通信技術が発達するなかで、それらを町民生活の向上に有効に活用していけるよう、地域情報化の方策を検討していきます。

## 2. 安心して暮らせる人にやさしいまちづくり

### (1) 高齢者・障害者等の生活支援

生き生きとした長寿社会、福祉社会を築くために、誰もが積極的に社会に参加していける人にやさしいまちづくりを進めていきます。また、介護保険法の適切な運用を図るため、特別養護老人ホーム等の民間施設や関係機関と連携を図りながら、地域福祉施策を計画的に推進します。

福祉マンパワーの確保、ボランティアの育成などを、社会福祉協議会や地域諸団体と連携を図りながら一層の充実に努めます。さらに、各種福祉制度などの啓発・普及に努め、制度の正しい理解を得るための活動を推進していきます。

生活保護世帯に対しては、生活相談・指導の充実に図りながら、必要な支援を行い、社会的自立の手助けを行います。

国民年金については、年金制度の住民への周知徹底を図ります。

### (2) 誰もが生涯健康に暮らせる地域づくり

健康はあらゆる人間活動の源であり、誰もがいつまでも心身ともに健康な生活を送れるよう、福祉・保健・医療の統合のもとで、総合的なサービスを提供できる体制づくりを進めます。地域の保健サービスにおいては、母子保健や成人・老人保健、精神保健など、乳幼児期から青壮年期、老年期までの生涯にわたる健康づくりや病気の予防をきめ細かく支援できるよう、保健事業の充実に努めます。

また、地域医療の役割も変化してきており、かかりつけ医制度の定着と在宅医療の推進、さらに終末期医療も含めた包括的医療が展開されるよう、関係機関が相互に連携の上、体制の整備に努めます。

国民健康保険については、保健予防活動と連動した医療費の適正化などの確な運営に努め、健全財政の維持・強化を図ります。

### (3) 安心して子どもを産み育てる環境づくり

女性の社会進出や母親の意識変化、核家族化・少子化等、子どもを取り巻く社会環境変化に対応し、子どもが健やかに育つ地域環境づくり、出産や子育てを支える仕組みづくりを進めます。

また、安全な妊娠や出産に始まる母子保健体制の充実、保育等の子育て支援環境の向上、健康的な生活環境の確保等と併せて、ひとり親家庭への福祉施策の充実に努め、元気な子どもの声がこだまするまちづくりを目指します。

### 3. 豊かなところと創造性あふれるまちづくり

#### (1) 学校を中心とした教育

人間としての基礎的な資質を養うため、個性を尊重した人間性豊かな子どもの育成に、学校をはじめ家庭・地域社会が協力して努めていきます。また、国際化や情報化など時代の変化に対応できる人材を育てる場を増やしていきます。

幼児教育は、生活習慣の基礎が養われる時期に行われる教育であるため、幼児の教育環境が良好に保たれるよう配慮します。

義務教育については、自主性、創造性、社会性を備えた健全な人格の形成を柱に、児童や生徒が心身ともに健やかに成長できるよう、よりよい環境づくりを推進します。また、学校施設の充実、更新やその利活用、心身障害児教育の充実、郷土教育の推進等を図るとともに、時代に即応した教育環境づくりに努めます。

#### (2) 幅広い学習ニーズへの対応

人々の生涯を通じた学習意欲は、生活水準の向上、自由時間の増大などに伴い、高まってきています。町民が学習を通じて、教養を高め、感性を養い、いつまでも健康で明るく、充実した生活を送りたいとする欲求にこたえられるよう、図書館、公民館等の生涯学習拠点としての機能を重視し、それらを活用した生涯学習の仕組みづくりに努めることにより、学習環境と学習機会の充実を進めます。

さらに、家庭教育、学校教育、社会教育、企業内教育などを生涯学習の一環として総合的にとらえ、それぞれが連携しあい、これらの教育機能が有効に発揮できるように努めていきます。また、明日の社会を担う青少年の自立心を養い、創造性を伸ばすために、青少年の健全育成活動の展開に努めます。

#### (3) 文化・スポーツの振興

人々の価値観が「物の豊かさ」から「心の豊かさ」を求める方向に変化しているなか、町民の文化やスポーツ活動に対する欲求は、ますます高まっていくものと考えられます。

文化については、各施設の有効的な活用を図りながら文化活動への関心を高め、町民の自主的な活動を支援します。さらに、様々な活動の機会や発表できる場の提供に努めます。また、文化財と伝統文化を町民共有の財産として、保存と継承に努めます。

スポーツについては、スポーツ活動に対する多様なニーズにこたえ、健康の保持・増進と体力の向上を図るため、生涯を通じて誰もが、いつでも気軽に参加できるように、スポーツ活動の活発化に努めるとともに、体育館等の施設整備や指導員、スポーツ団体の育成を図ります。

#### (4) 様々な交流の展開

町民が視野を広め、自らのまちづくりの意欲を高めるために、地域や世代を越えた交流の展開を推進します。

そのために、利根川や新利根川の自然等、既存資源の活用による魅力ある交流空間の形成に努めます。また、納涼花火大会に代表される交流観光行事の一層の充実やPR活動及びその体制強化等を通じて、町外の人々を町に呼び込み、広域的視野に立った開かれた地域社会の形成を目指していきます。

## 4. 活力に満ちた人のふれあうまちづくり

### (1) 農業を中心とした産業振興

農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化や兼業化等による就業人口の減少、輸入農産物の増大などにより大きく変化してきています。

このため、農業経営の安定がより重要となり、農業所得の向上や営農環境の改善に努めていく必要があることから、生産基盤の充実や農業経営の高度化を目指し、地域農業の活性化を推進していきます。

農業経営の高度化のために、優良農地の保全と利用集積を図り、優秀な担い手の育成や組織化等を促進していきます。

また、都市近郊という恵まれた地域特性を活かして収益性の高い農産物栽培への転換や、それら農産物のブランド化の推進、集出荷体制の整備、観光農園への取り組みなど、新たな農業の展開について可能性を検討していきます。

### (2) 商業の振興

町民が身近に利用しやすい買い物環境を提供できるよう、地域商業の振興を図ります。

町の中央部の沿道等に商業機能を集積させ、魅力ある商業地として整備を促進します。

既存商店については、商工会との連携を図りながら若手商業者の育成に努め、商業の体質改善を図り、経営の合理化、近代化を促進します。

### (3) 新しい産業の振興

利根町民の多くは、東京をはじめとした他の地域に勤めています。しかし、町を活性化し、自立性を高めていくためには、町内に働く場を創出することも必要です。

そこで、地域の産業を総合的にとらえる視点を持ち、産業間の連携を進めるとともに、時代環境や地域特性に適合し、主要地方道美浦栄線バイパスのインパクトも活かした新しい産業の振興を推進していきます。

## 5. 町民によるあかるいまちづくり

### (1) コミュニティの形成

コミュニティは、町民自らが自らの手で住みよいまちづくりを進めようとする住民自治の原点といえ、コミュニティ意識の醸成に努めます。

そのために、自主的なコミュニティ活動が活発化するよう、「利根町民」という意識の高揚と参加機会の拡充に努め、町への愛着心や住み続けたいという気持ちを持つことのできる地域社会の形成を目指します。

### (2) 町政への町民参画

町民と行政が互いに協力しあい相互に情報交換をしながら、住みよいまちづくりのためにそれぞれの役割を果たしていくというパートナーシップの形成に努めます。

同時に、行政をわかりやすく開かれたものとするために、広報広聴活動の一層の充実等、円滑な情報提供や意見交換が行える体制づくりを進めていきます。

### (3) 行政の運営

自立的・個性的な地方自治を目的とした地方分権の推進にむけて、常に時代の流れを見ながら的確に対応し、計画的な行政運営に心がけていかなければなりません。

そのために、職員の定員管理の適正化や施策部門間の連携を柔軟に行える体制づくりに努め、行政事務のより一層の効率化を推進していきます。

### (4) 広域行政

生活圏の広域化や行政需要の増大といった流れのなかで、合理的かつ効果的に施策を展開するために、近接する市町村間での連携をより強化していきます。

そのために、今後も広域のなかでの利根町の役割を明確にしつつ、関係市町村との適切な役割分担のもとに、交通体系の整備や広域利用施設の共同運営、共同処理をはじめ、広域行政の一層の拡充に取り組んでいきます。

また、圏域にとらわれない柔軟な取り組みについて様々な可能性を検討していきます。

### (5) 財政の健全運営

各種施策を効果的に展開し、より多くの成果を実現していくために、財政基盤の強化と、その上に立った健全な財政運営に努めます。

歳入面では、自主財源の確保とともに、国や県からの依存財源の確保にも努め、あわせて受益者負担の適正化等も検討していきます。

歳出面では、合理的な施策の選択やその計画的推進、経費の節減等の努力を継続的に進め、限られた財政規模のなかで最小の経費で最大限の効果を生み出すように努めます。

平成23年度	11月1日	利根町振興計画審議会委員の任命（14名）
	11月14日	第1回 振興計画審議会を開催
	12月12日 ～12月26日	4期基本計画策定に係る住民アンケートの実施
平成24年度	5月11日	第2回 振興計画審議会を開催 諮問
	6月12日	第1回 振興計画策定委員会を開催
	8月24日	4期基本計画策定における専門部会員の指名
	9月12日	第1回 専門部会を開催
	9月21日	第2回 専門部会を開催（都市基盤・生活環境部会）
	9月26日	第2回 専門部会を開催（町民参画・行政財政部会）
	9月27日	第2回 専門部会を開催（保健・福祉・医療部会） 第2回 専門部会を開催（産業部会）
	9月28日	第2回 専門部会を開催（教育・文化部会）
	10月4日	第3回 専門部会を開催（産業部会）
	10月4日	第3回 専門部会を開催（保健・福祉・医療部会）
	10月9日	第3回 専門部会を開催（町民参画・行政財政部会）
	10月9日	第3回 専門部会を開催（都市基盤・生活環境部会）
	10月10日	第3回 専門部会を開催（教育・文化部会）
	10月17日	第4回 専門部会を開催（産業部会）
	10月18日	第4回 専門部会を開催（保健・福祉・医療部会）
	11月26日	各専門部会から振興計画策定委員会へ4期基本計画（案）について報告 第3回 振興計画審議会を開催
	12月3日	振興計画策定委員会から振興計画審議会へ4期基本計画（案）について報告 4期基本計画（案）について振興計画審議会からの意見を聴取
	12月12日	第2回 振興計画策定委員会を開催 4期基本計画（案）の修正
	12月25日	第4回 振興計画審議会を開催 4期基本計画（修正案）の報告
	1月15日 ～2月5日	4期基本計画（案）に関する意見募集
	2月19日	第5回 振興計画審議会を開催
2月20日	第3回 振興計画策定委員会を開催	
2月28日	第6回 振興計画審議会を開催 答申	



## ○利根町振興計画審議会条例

昭和50年6月26日

条例第19号

## (設置)

第1条 利根町振興計画を審議するため利根町振興計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

## (所掌事務)

第2条 審議会は、町長の諮問に応じ利根町振興計画の策定に関し必要な調査及び審議を行うものとする。

## (組織)

第3条 審議会は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する委員をもって組織する。

- (1) 町議会議員 5名以内
- (2) 知識経験者 4名以内
- (3) 各種団体等 4名以内
- (4) 一般町民 4名以内

2 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 前項の規定にかかわらず、第1項第1号から第3号のうちより委嘱された委員にあっては、その職を去ったときは、委員の職を失うものとする。

## (会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長1名を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

## (会議)

第5条 審議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。ただし、委員の委嘱後、最初に開かれる会議は、町長が招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 会議は、委員の定数の半数以上の者が出席しなければ開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

## (庶務)

第6条 審議会の庶務は、企画財政課において処理する。

## (委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は、町長が審議会の意見を聞いて定める。

任命日 平成23年11月1日

役職	氏名	備考
会長	本橋 康夫	福祉関係NPO法人理事長
副会長	市村 捷二	民生委員児童委員協議会長
	五十嵐 辰雄	利根町議会議長
	井原 正光	総務産業建設常任委員長
	今井 利和	厚生文教常任委員長
	小松 幹愛	元区長会長内宿区長
	杉山 富雄	歯科医
	二瓶 公男	商工会長
	渋江 紀史夫	社会福祉協議会 副会長
	荒木 忠臣	ボランティア団体代表
	若泉 篤	認定農業者協議会長
	土田 静子	フリフリクラブ
	田中館 一好	体育指導委員長
	永山 佳苗	健康づくり推進協議会委員

昭和62年7月16日  
告示第2号

(設置)

第1条 利根町振興計画の策定について、必要な事項を協議するため、利根町振興計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 策定委員会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 振興計画策定についての方針、基本構想、基本計画及び実施計画に関する事項
- (2) その他計画策定についての重要な事項

(構成)

第3条 策定委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって構成する。

2 策定委員会の委員は、教育長及び各課等の長とし、委員長には教育長、副委員長には総務課長をもってあてる。

3 委員長は、策定委員会の会務を総括し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(専門部会)

第4条 策定委員会の補助機関として次の専門部会を置く。

- (1) 都市基盤・生活環境部会
- (2) 福祉・保健・医療部会
- (3) 教育・文化部会
- (4) 産業部会
- (5) 町民参画・行政財政部会

2 専門部会は、委員長が指名する職員をもって組織し、専門部会ごとに計画立案作業を行うものとする。

(会議の開催)

第5条 会議は、策定委員会にあっては委員長、専門部会にあっては当該部会長が必要に応じて随時開催するものとする。

2 委員長は、必要に応じ委員以外の者を会議に出席を求めることができる。

(資料の提出等の依頼)

第6条 策定委員会は、振興計画策定に関し必要と認めるときは、学識経験者、関係行政機関その他関係団体等に対して、資料の提出又は説明若しくは調査を依頼することができる。

(策定に関する施策の報告等)

第7条 委員長は、策定に関する事務の適正な運営を確保するため振興計画策定に関する状況、会議、施策の調査研究の経過を町長に報告し必要な方策を講ずるものとする。

(庶務)

第8条 策定委員会の庶務は、企画財政課において行う。

(委任)

第9条 この要項に定めるもののほか、策定委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

役 職	氏 名	備 考
会 長	伊藤 孝生	教育長
副会長	師岡 昌巳	総務課長
	秋山 幸男	企画財政課長
	高野 光司	まちづくり推進課長
	坂本 隆雄	税務課長
	木村 克美	住民課長
	石塚 稔	福祉課長
	岩戸 友広	保健福祉センター所長
	蓮沼 均	環境対策課長
	鬼沢 俊一	保険年金課長
	矢口 功	経済課長
	飯塚 正夫	都市建設課長
	菅田 哲夫	会計課長
	酒井 賢治	議会事務局長
	福田 茂	学校教育課長
	石井 博美	生涯学習課長
	仲田 義弘	指導室長

## ● 諮 問

平成24年5月11日

利根町振興計画審議会  
会長 本橋 康夫 様

利根町長 遠 山 務

## 第4次利根町総合振興計画4期基本計画について（諮問）

第4次利根町総合振興計画3期基本計画が今年度をもって満了することに伴い、利根町振興計画審議会条例第2条の規定に基づき、貴審議会のご意見を賜りたく諮問いたします。

● 答 申

平成25年2月28日

利根町長 遠山 務 様

利根町振興計画審議会  
会長 本橋 康夫

第4次利根町総合振興計画4期基本計画について（答申）

平成24年5月11日付け、利企企第12号により本審議会に諮問のあった「第4次利根町総合振興計画4期基本計画」（案）について、慎重に審議した結果、この計画は適切であるとの結論に達しましたので答申します。

なお、町は次に述べる意見に配慮して、計画を着実に推進するようお願いいたします。

記

- 1 本計画の実施にあたり、計画に定められた各基本施策・施策・主な取組内容をより多くの町民に周知するとともに、広く町民の理解と協力を求め、町民と行政の協働によるまちづくりに努めること。
- 2 本計画の推進にあたっては、町の行財政改革を推進し、財源の安定的な確保と財政運営の効率化に努め、目標の達成に向けて基本事業を着実に実施すること。  
また、社会経済情勢の動向を適切に捉え、優先度や有効性等を総合的に判断し、柔軟な対応に努めること。
- 3 本計画の進行状況については、多くの町民に理解してもらえるよう、事務事業評価を公表するなど、情報公開に積極的に努めること。

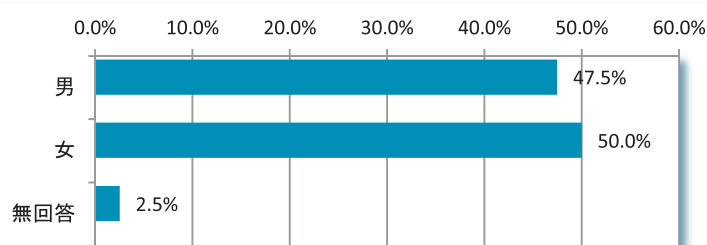
## 1 アンケート概要

- 調査地域 利根町全域
- 調査対象者 満16歳以上で利根町に住所を有する者（無作為抽出）
- 対象者数 2,000人（男女各1,000人）
- 調査期間 平成23年12月12日～平成23年12月26日
- 配布及び回収 郵送
- 回答数 948件（回答率 47.4%）

## 2 アンケート集計結果

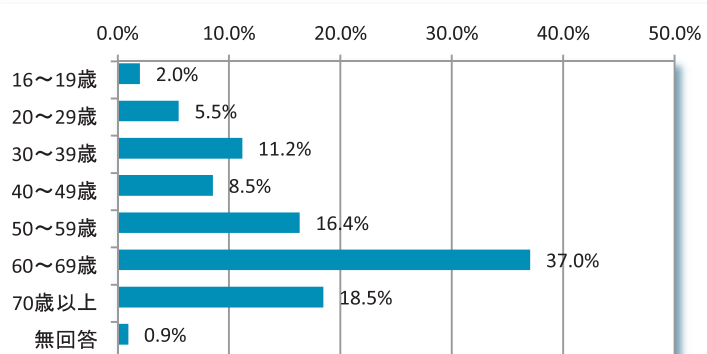
## (1) 回答者の属性

## Q1. あなたの性別は（〇1つ）



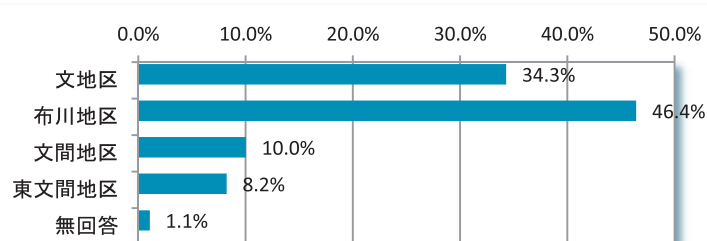
集計結果	回答数	構成比
男	450	47.5%
女	474	50.0%
無回答	24	2.5%
計	948	100.0%

## Q2. あなたの年齢は（〇1つ）



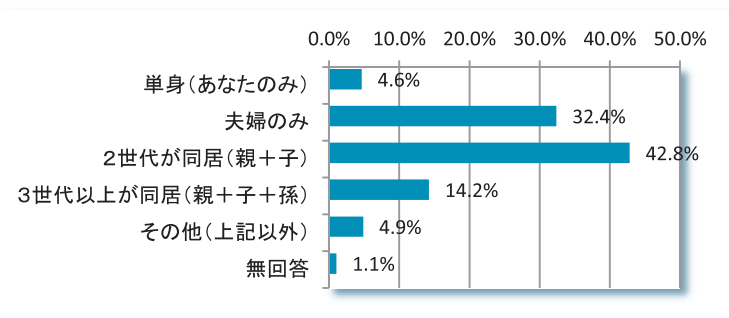
集計結果	回答数	構成比
16～19歳	19	2.0%
20～29歳	52	5.5%
30～39歳	106	11.2%
40～49歳	81	8.5%
50～59歳	155	16.4%
60～69歳	351	37.0%
70歳以上	175	18.5%
無回答	9	0.9%
計	948	100.0%

## Q3. あなたのお住まいは（〇1つ）



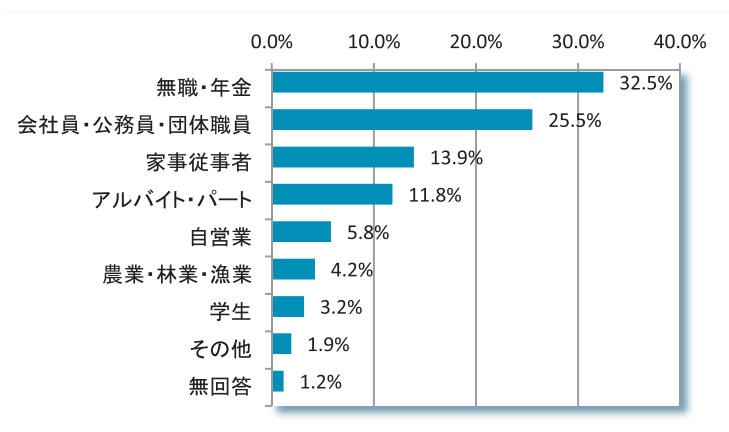
集計結果	回答数	構成比
文地区	325	34.3%
布川地区	440	46.4%
文間地区	95	10.0%
東文間地区	78	8.2%
無回答	10	1.1%
計	948	100.0%

## Q4. あなたの家族構成は（〇1つ）



集計結果	回答数	構成比
単身(あなたのみ)	44	4.6%
夫婦のみ	307	32.4%
2世代が同居(親+子)	406	42.8%
3世代以上が同居(親+子+孫)	135	14.2%
その他(上記以外)	46	4.9%
無回答	10	1.1%
計	948	100.0%

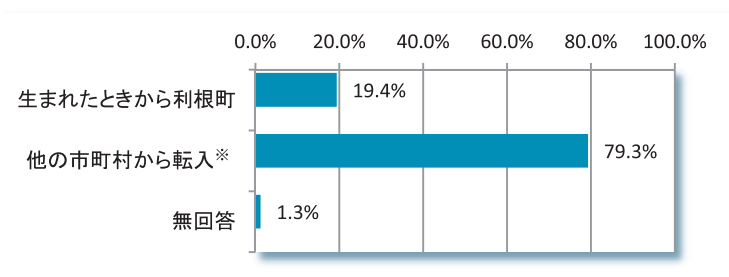
## Q5. あなたの職業は（〇1つ）



集計結果	回答数	構成比
無職・年金	308	32.5%
会社員・公務員・団体職員	242	25.5%
家事従事者	132	13.9%
アルバイト・パート	112	11.8%
自営業	55	5.8%
農業・林業・漁業	40	4.2%
学生	30	3.2%
その他	18	1.9%
無回答	11	1.2%
計	948	100.0%

## (2) 利根町での暮らしについて

## Q6. 利根町にずっとお住まいですか。それとも他から転入して来られましたか（〇1つ）

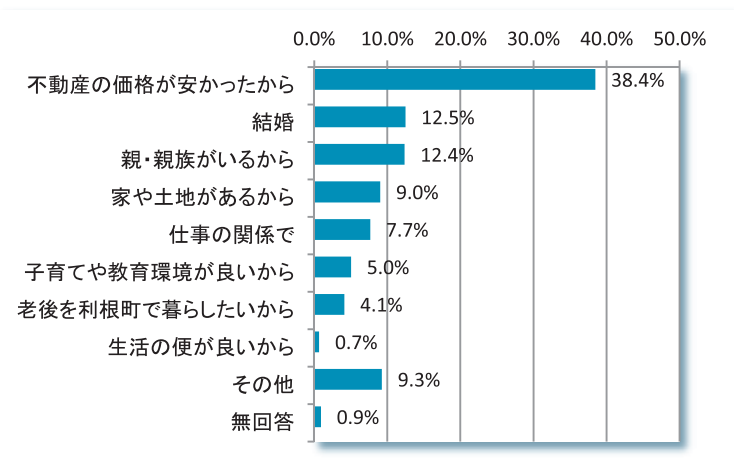


集計結果	回答数	構成比
生まれたときから利根町	184	19.4%
他の市町村から転入※	752	79.3%
無回答	12	1.3%
計	948	100.0%

※ 一度転出して利根町に戻られた場合も含む

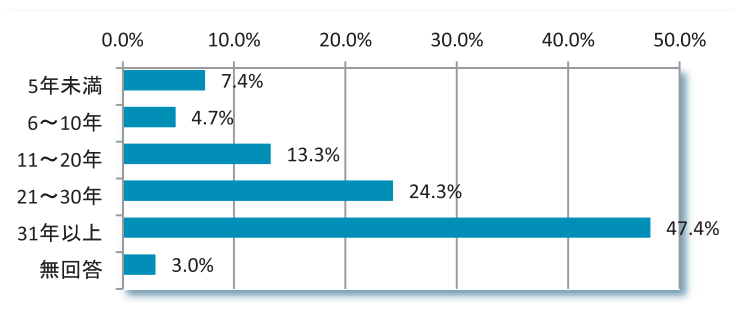


Q7. Q6で「他の市町村から転入」と回答した方にお聞きします。利根町を選ばれた理由は何ですか（〇2つまで）



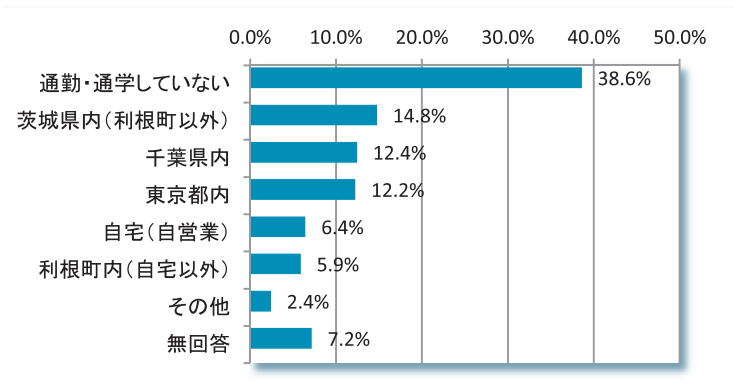
集計結果	回答数	構成比
不動産の価格が安かったから	336	38.4%
結婚	109	12.5%
親・親族がいるから	108	12.4%
家や土地があるから	79	9.0%
仕事の関係で	67	7.7%
子育てや教育環境が良いから	44	5.0%
老後を利根町で暮らしたいから	36	4.1%
生活の便が良いから	6	0.7%
その他	81	9.3%
無回答	8	0.9%
計	874	100.0%

Q8. あなたは、利根町に住んで何年になりますか



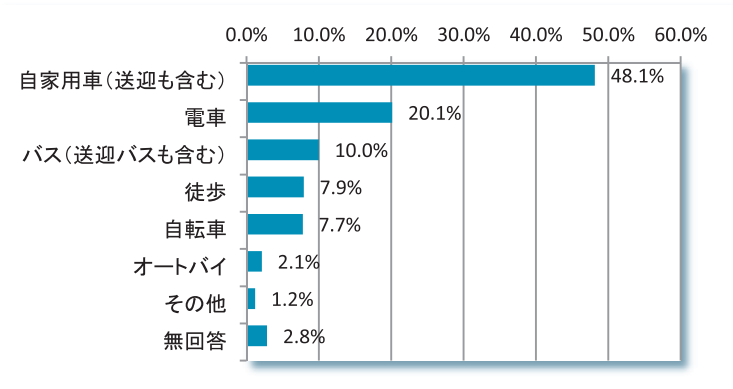
集計結果	回答数	構成比
5年未満	70	7.4%
6～10年	45	4.7%
11～20年	126	13.3%
21～30年	230	24.3%
31年以上	449	47.4%
無回答	28	3.0%
計	948	100.0%

Q9. あなたの通勤・通学先はどちらですか（〇1つ）



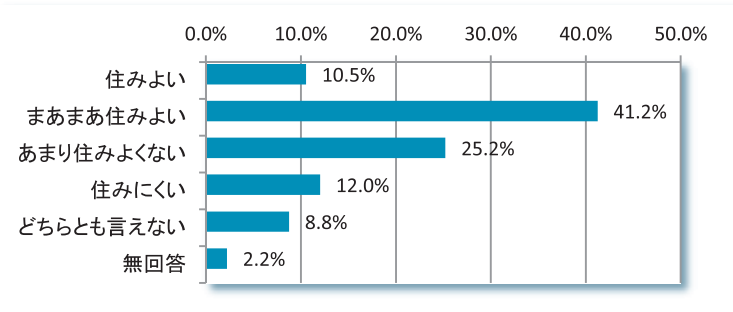
集計結果	回答数	構成比
通勤・通学していない	366	38.6%
茨城県内(利根町以外)	140	14.8%
千葉県内	118	12.4%
東京都内	116	12.2%
自宅(自営業)	61	6.4%
利根町内(自宅以外)	56	5.9%
その他	23	2.4%
無回答	68	7.2%
計	948	100.0%

Q10. 問9で「通勤・通学していない」または「自宅（自営業）」以外を選んだ方にお聞きします。通勤・通学の交通手段は何ですか（複数回答可）



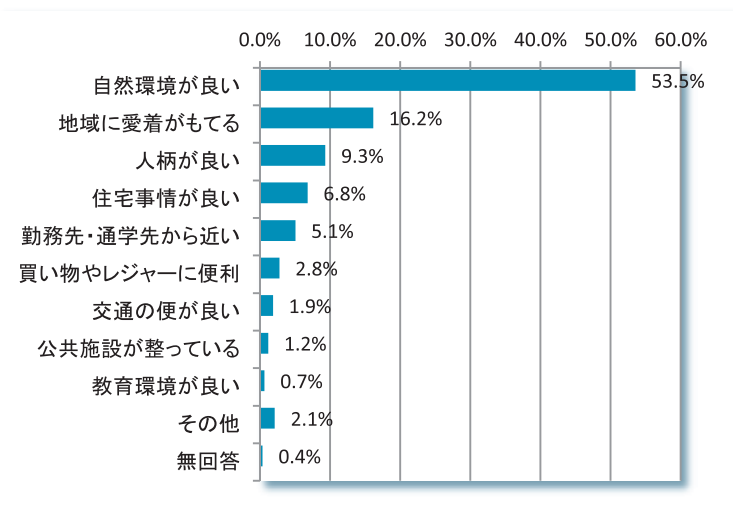
集計結果	回答数	構成比
自家用車（送迎も含む）	323	48.1%
電車	135	20.1%
バス（送迎バスも含む）	67	10.0%
徒歩	53	7.9%
自転車	52	7.7%
オートバイ	14	2.1%
その他	8	1.2%
無回答	19	2.8%
計	671	100.0%

Q11. あなたにとって、利根町は住みよいまちですか（〇1つ）



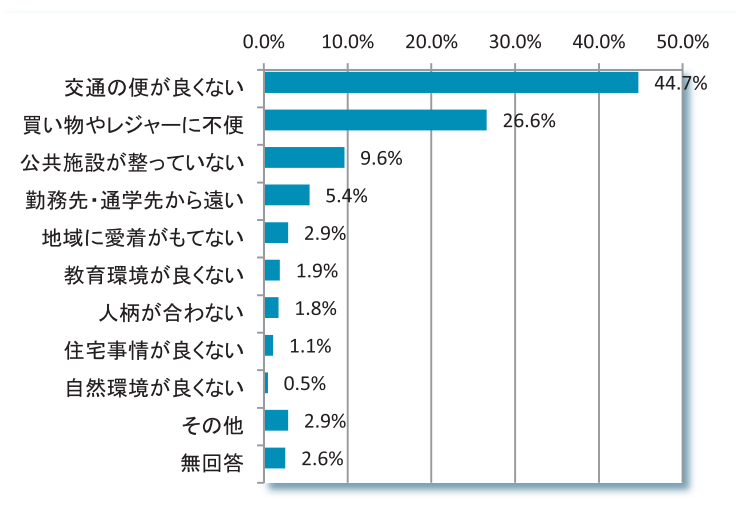
集計結果	回答数	構成比
住みよい	100	10.5%
まあまあ住みよい	391	41.2%
あまり住みよくない	239	25.2%
住みにくい	114	12.0%
どちらとも言えない	83	8.8%
無回答	21	2.2%
計	948	100.0%

Q12. Q11で「住みよい」または「まあまあ住みよい」と回答された方にお聞きします。利根町が住みよいと思う理由は何ですか（〇2つまで）



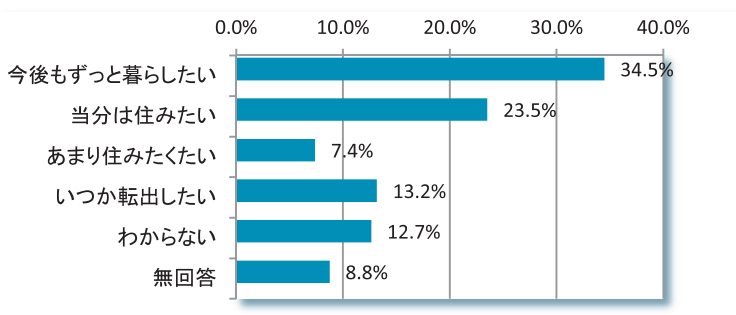
集計結果	回答数	構成比
自然環境が良い	401	53.5%
地域に愛着がもてる	121	16.2%
人柄が良い	70	9.3%
住宅事情が良い	51	6.8%
勤務先・通学先から近い	38	5.1%
買い物やレジャーに便利	21	2.8%
交通の便が良い	14	1.9%
公共施設が整っている	9	1.2%
教育環境が良い	5	0.7%
その他	16	2.1%
無回答	3	0.4%
計	749	100.0%

Q13. Q11で「あまり住みよくない」または「住みにくい」と回答された方にお聞きます。利根町が住みにくいと思う理由は何ですか（〇2つまで）



集計結果	回答数	構成比
交通の便が良くない	279	44.7%
買い物やレジャーに不便	166	26.6%
公共施設が整っていない	60	9.6%
勤務先・通学先から遠い	34	5.4%
地域に愛着がもてない	18	2.9%
教育環境が良くない	12	1.9%
人柄が合わない	11	1.8%
住宅事情が良くない	7	1.1%
自然環境が良くない	3	0.5%
その他	18	2.9%
無回答	16	2.6%
計	624	100.0%

Q14. これからも、利根町に住みたいと思いますか（〇1つ）



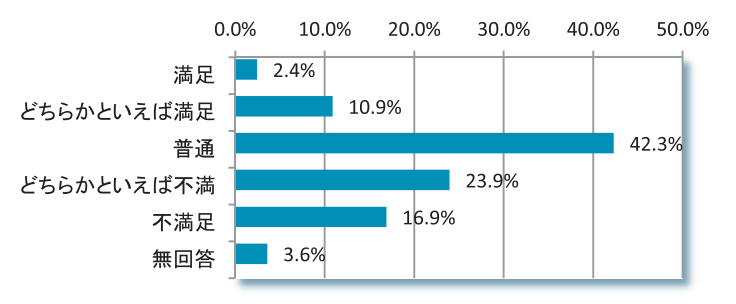
集計結果	回答数	構成比
今後もずっと暮らしたい	327	34.5%
当分は住みたい	223	23.5%
あまり住みたくない	70	7.4%
いつか転出したい	125	13.2%
わからない	120	12.7%
無回答	83	8.8%
計	948	100.0%

### （3）生活環境全般について

Q15. まちの生活環境について、あなたが感じている満足度を選んでください（〇1つ）

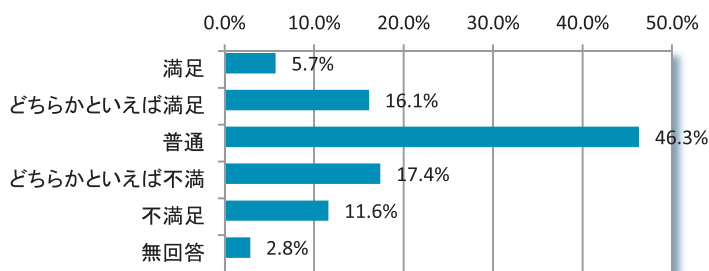
#### ① 都市基盤・生活環境

##### ● 町外と連絡する幹線道路の整備について



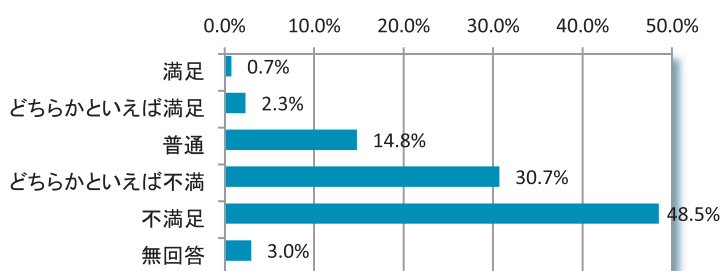
集計結果	回答数	構成比
満足	23	2.4%
どちらかといえば満足	103	10.9%
普通	401	42.3%
どちらかといえば不満	227	23.9%
不満	160	16.9%
無回答	34	3.6%
計	948	100.0%

## ●お住まいの周りの生活道路の整備について



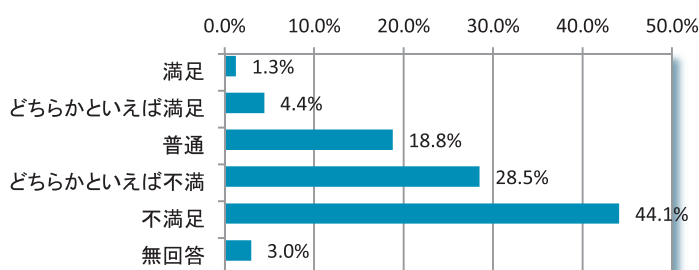
集計結果	回答数	構成比
満足	54	5.7%
どちらかといえば満足	153	16.1%
普通	439	46.3%
どちらかといえば不満	165	17.4%
不満	110	11.6%
無回答	27	2.8%
計	948	100.0%

## ●鉄道利用の便と路線網について



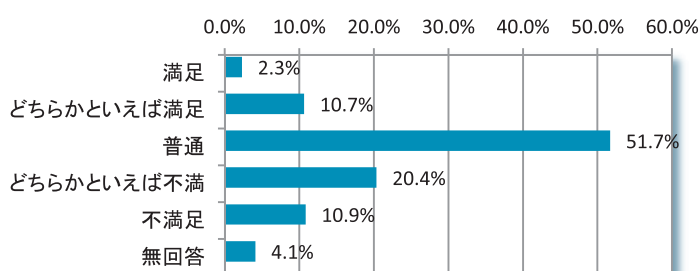
集計結果	回答数	構成比
満足	7	0.7%
どちらかといえば満足	22	2.3%
普通	140	14.8%
どちらかといえば不満	291	30.7%
不満	460	48.5%
無回答	28	3.0%
計	948	100.0%

## ●バスの便と路線網について



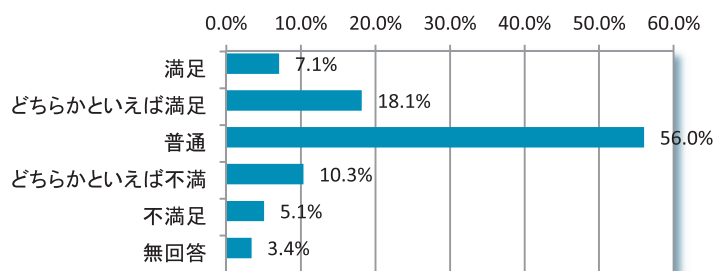
集計結果	回答数	構成比
満足	12	1.3%
どちらかといえば満足	42	4.4%
普通	178	18.8%
どちらかといえば不満	270	28.5%
不満	418	44.1%
無回答	28	3.0%
計	948	100.0%

## ●公園・子どもの遊び場について



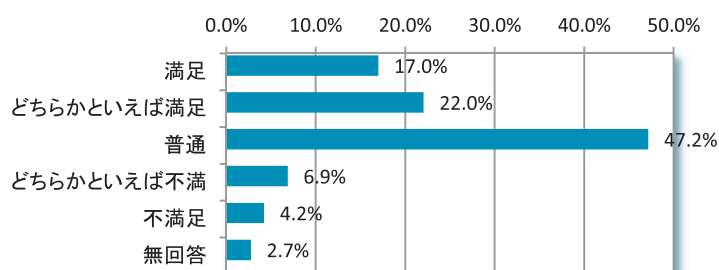
集計結果	回答数	構成比
満足	22	2.3%
どちらかといえば満足	101	10.7%
普通	490	51.7%
どちらかといえば不満	193	20.4%
不満	103	10.9%
無回答	39	4.1%
計	948	100.0%

## ●街路樹・生垣などの身近な緑について



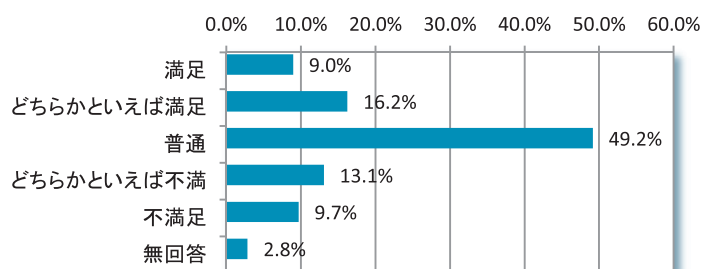
集計結果	回答数	構成比
満足	67	7.1%
どちらかといえば満足	172	18.1%
普通	531	56.0%
どちらかといえば不満	98	10.3%
不満	48	5.1%
無回答	32	3.4%
計	948	100.0%

## ●上水道の整備について



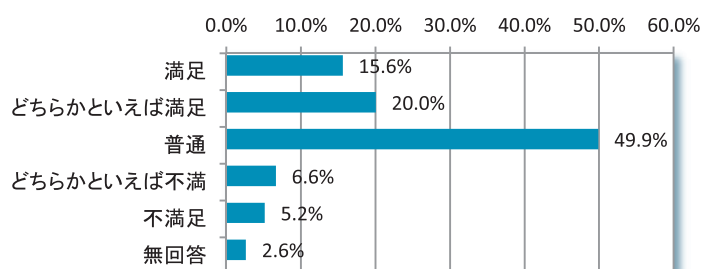
集計結果	回答数	構成比
満足	161	17.0%
どちらかといえば満足	209	22.0%
普通	447	47.2%
どちらかといえば不満	65	6.9%
不満	40	4.2%
無回答	26	2.7%
計	948	100.0%

## ●雨水のはけ具合について



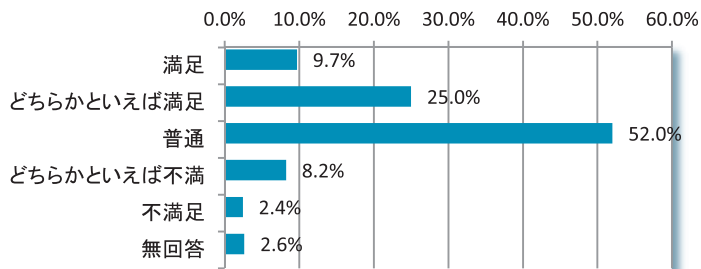
集計結果	回答数	構成比
満足	85	9.0%
どちらかといえば満足	154	16.2%
普通	466	49.2%
どちらかといえば不満	124	13.1%
不満	92	9.7%
無回答	27	2.8%
計	948	100.0%

## ●下水道・し尿処理の整備について



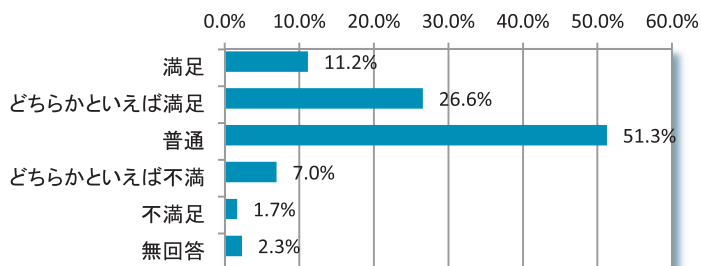
集計結果	回答数	構成比
満足	148	15.6%
どちらかといえば満足	190	20.0%
普通	473	49.9%
どちらかといえば不満	63	6.6%
不満	49	5.2%
無回答	25	2.6%
計	948	100.0%

## ●ごみ処理施設やごみ処理体制について



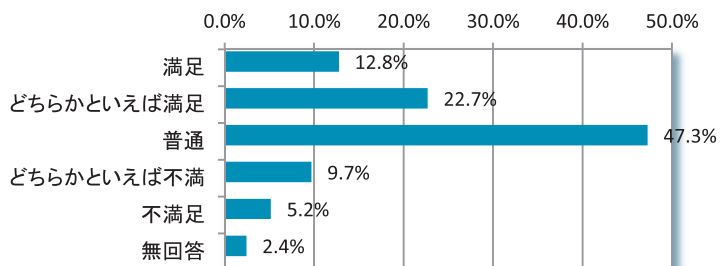
集計結果	回答数	構成比
満足	92	9.7%
どちらかといえば満足	237	25.0%
普通	493	52.0%
どちらかといえば不満	78	8.2%
不満足	23	2.4%
無回答	25	2.6%
計	948	100.0%

## ●ごみの分別収集やリサイクルについて



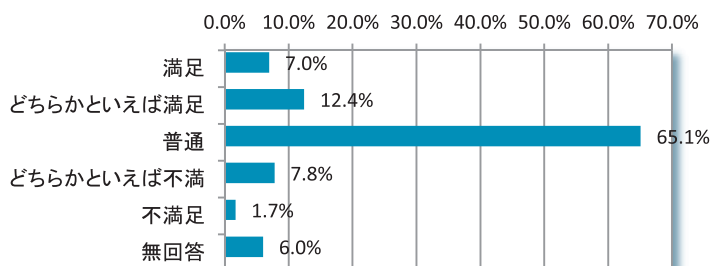
集計結果	回答数	構成比
満足	106	11.2%
どちらかといえば満足	252	26.6%
普通	486	51.3%
どちらかといえば不満	66	7.0%
不満足	16	1.7%
無回答	22	2.3%
計	948	100.0%

## ●騒音・振動などの公害について



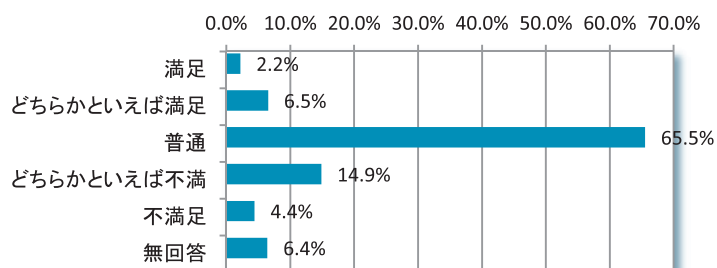
集計結果	回答数	構成比
満足	121	12.8%
どちらかといえば満足	215	22.7%
普通	448	47.3%
どちらかといえば不満	92	9.7%
不満足	49	5.2%
無回答	23	2.4%
計	948	100.0%

## ●墓地の整備について



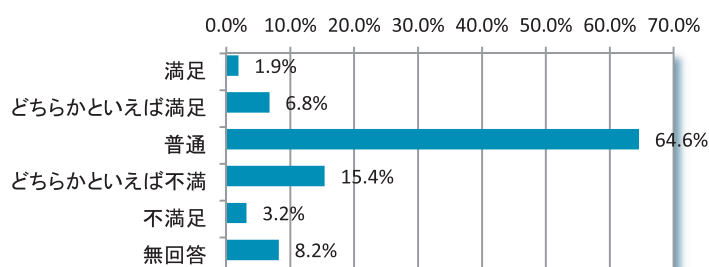
集計結果	回答数	構成比
満足	66	7.0%
どちらかといえば満足	118	12.4%
普通	617	65.1%
どちらかといえば不満	74	7.8%
不満足	16	1.7%
無回答	57	6.0%
計	948	100.0%

## ●河川の水質について



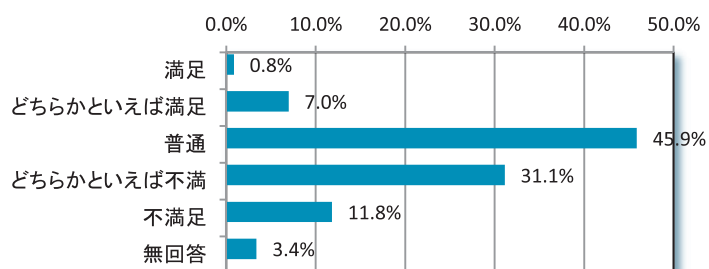
集計結果	回答数	構成比
満足	21	2.2%
どちらかといえば満足	62	6.5%
普通	621	65.5%
どちらかといえば不満	141	14.9%
不満	42	4.4%
無回答	61	6.4%
計	948	100.0%

## ●河川の親水整備について



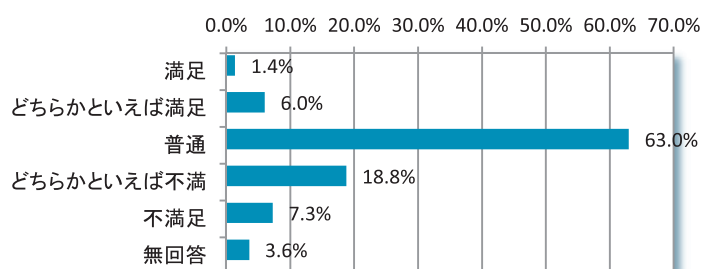
集計結果	回答数	構成比
満足	18	1.9%
どちらかといえば満足	64	6.8%
普通	612	64.6%
どちらかといえば不満	146	15.4%
不満	30	3.2%
無回答	78	8.2%
計	948	100.0%

## ●地震・災害時の安全性について



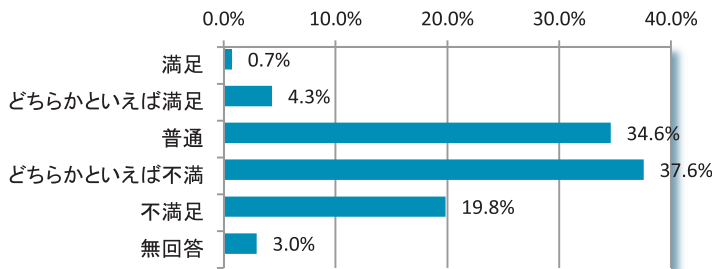
集計結果	回答数	構成比
満足	8	0.8%
どちらかといえば満足	66	7.0%
普通	435	45.9%
どちらかといえば不満	295	31.1%
不満	112	11.8%
無回答	32	3.4%
計	948	100.0%

## ●交通安全対策について



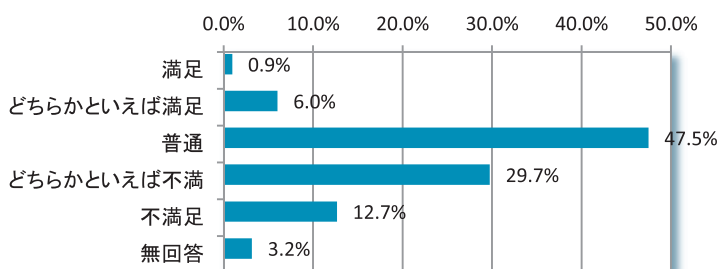
集計結果	回答数	構成比
満足	13	1.4%
どちらかといえば満足	57	6.0%
普通	597	63.0%
どちらかといえば不満	178	18.8%
不満	69	7.3%
無回答	34	3.6%
計	948	100.0%

## ●夜道の安全さなど防犯について



集計結果	回答数	構成比
満足	7	0.7%
どちらかといえば満足	41	4.3%
普通	328	34.6%
どちらかといえば不満	356	37.6%
不満足	188	19.8%
無回答	28	3.0%
計	948	100.0%

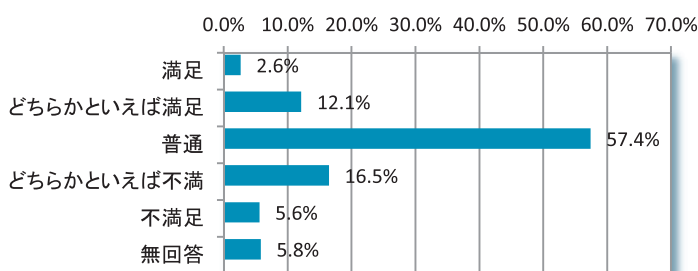
## ●個性と魅力ある街並みや景観づくりについて



集計結果	回答数	構成比
満足	9	0.9%
どちらかといえば満足	57	6.0%
普通	450	47.5%
どちらかといえば不満	282	29.7%
不満足	120	12.7%
無回答	30	3.2%
計	948	100.0%

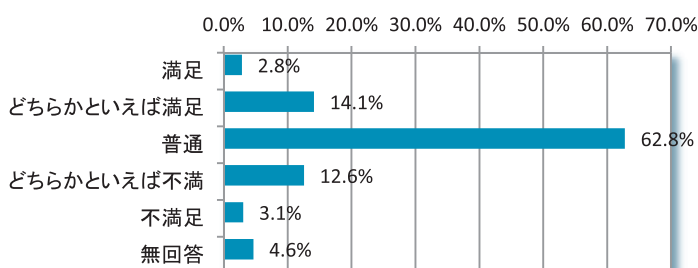
## ② 健康・福祉

## ●高齢者や障がい者などへの福祉対策について



集計結果	回答数	構成比
満足	25	2.6%
どちらかといえば満足	115	12.1%
普通	544	57.4%
どちらかといえば不満	156	16.5%
不満足	53	5.6%
無回答	55	5.8%
計	948	100.0%

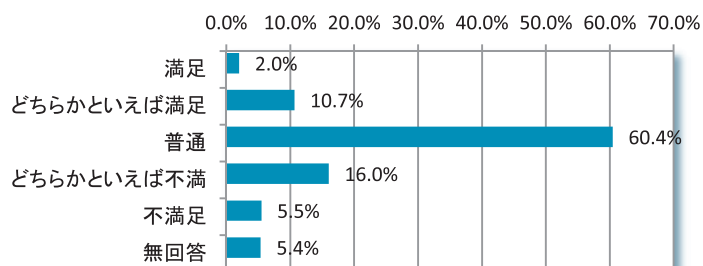
## ●住民検診など日常の保健活動について



集計結果	回答数	構成比
満足	27	2.8%
どちらかといえば満足	134	14.1%
普通	595	62.8%
どちらかといえば不満	119	12.6%
不満足	29	3.1%
無回答	44	4.6%
計	948	100.0%

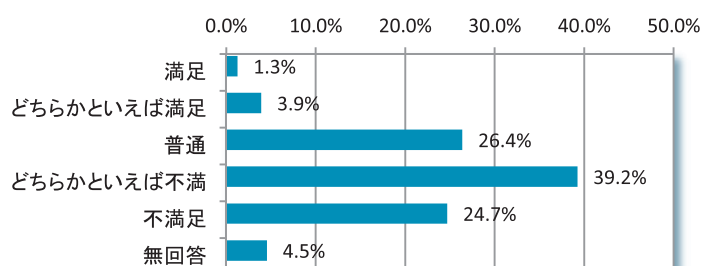


●風邪や外傷など日常的な初期医療について



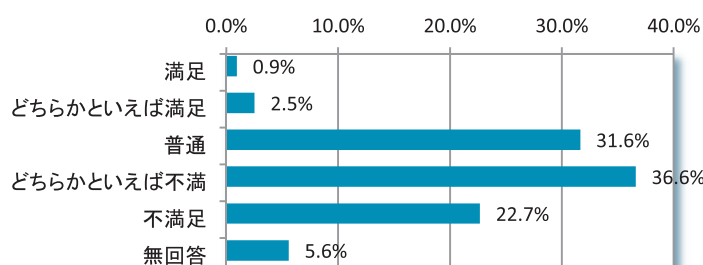
集計結果	回答数	構成比
満足	19	2.0%
どちらかといえば満足	101	10.7%
普通	573	60.4%
どちらかといえば不満	152	16.0%
不満	52	5.5%
無回答	51	5.4%
計	948	100.0%

●入院・検査など専門的な医療施設について



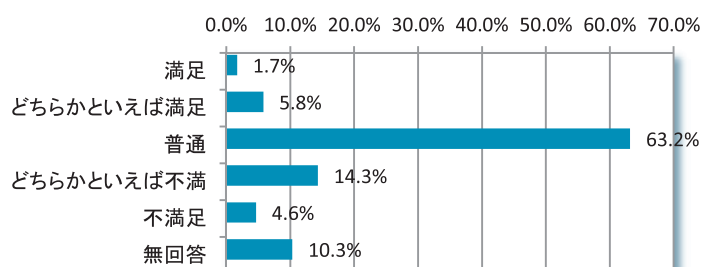
集計結果	回答数	構成比
満足	12	1.3%
どちらかといえば満足	37	3.9%
普通	250	26.4%
どちらかといえば不満	372	39.2%
不満	234	24.7%
無回答	43	4.5%
計	948	100.0%

●夜間・休日等の救急医療について



集計結果	回答数	構成比
満足	9	0.9%
どちらかといえば満足	24	2.5%
普通	300	31.6%
どちらかといえば不満	347	36.6%
不満	215	22.7%
無回答	53	5.6%
計	948	100.0%

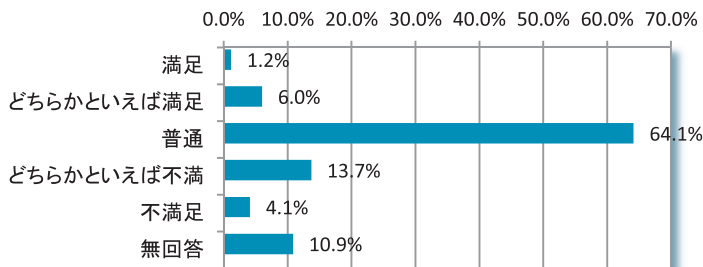
●保育所や幼稚園の整備について



集計結果	回答数	構成比
満足	16	1.7%
どちらかといえば満足	55	5.8%
普通	599	63.2%
どちらかといえば不満	136	14.3%
不満	44	4.6%
無回答	98	10.3%
計	948	100.0%

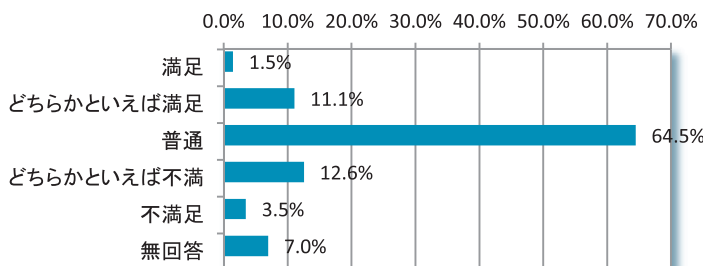
## ③ 教育・文化

## ●小・中学校の教育施設について



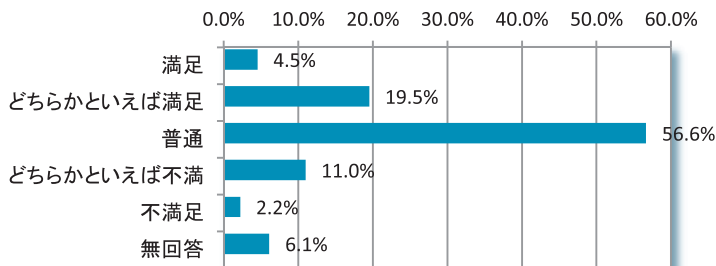
集計結果	回答数	構成比
満足	11	1.2%
どちらかといえば満足	57	6.0%
普通	608	64.1%
どちらかといえば不満	130	13.7%
不満	39	4.1%
無回答	103	10.9%
計	948	100.0%

## ●各種講座など生涯学習の機会について



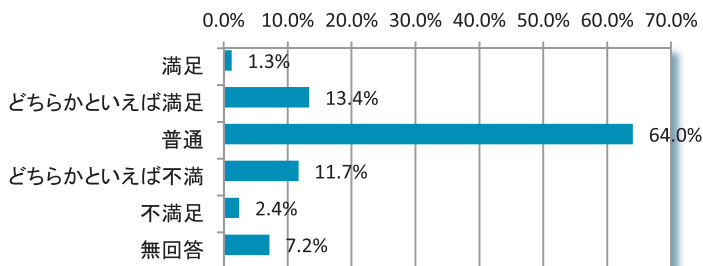
集計結果	回答数	構成比
満足	14	1.5%
どちらかといえば満足	105	11.1%
普通	611	64.5%
どちらかといえば不満	119	12.6%
不満	33	3.5%
無回答	66	7.0%
計	948	100.0%

## ●図書館や公民館など社会教育施設について



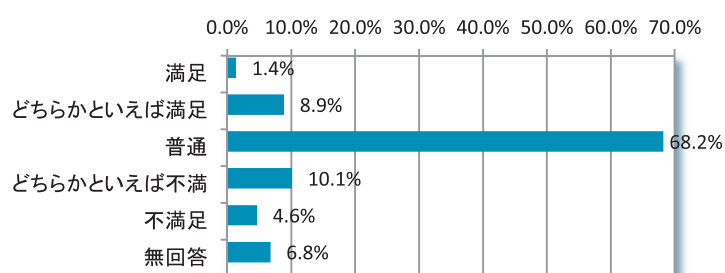
集計結果	回答数	構成比
満足	43	4.5%
どちらかといえば満足	185	19.5%
普通	537	56.6%
どちらかといえば不満	104	11.0%
不満	21	2.2%
無回答	58	6.1%
計	948	100.0%

## ●各地域の集会施設について



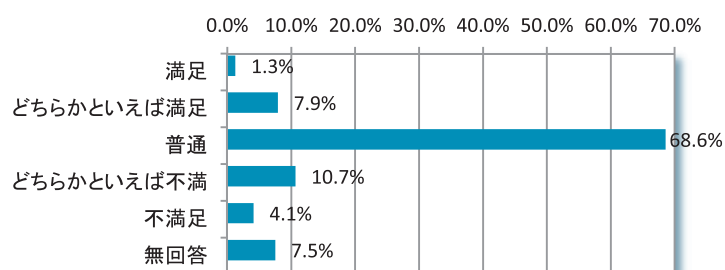
集計結果	回答数	構成比
満足	12	1.3%
どちらかといえば満足	127	13.4%
普通	607	64.0%
どちらかといえば不満	111	11.7%
不満	23	2.4%
無回答	68	7.2%
計	948	100.0%

●音楽やスポーツ・趣味のサークル活動について



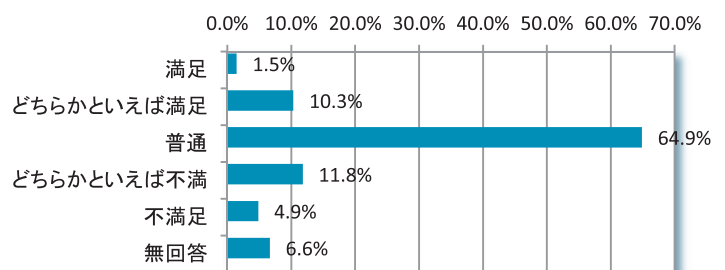
集計結果	回答数	構成比
満足	13	1.4%
どちらかといえば満足	84	8.9%
普通	647	68.2%
どちらかといえば不満	96	10.1%
不満	44	4.6%
無回答	64	6.8%
計	948	100.0%

●スポーツ・レクリエーション活動について



集計結果	回答数	構成比
満足	12	1.3%
どちらかといえば満足	75	7.9%
普通	650	68.6%
どちらかといえば不満	101	10.7%
不満	39	4.1%
無回答	71	7.5%
計	948	100.0%

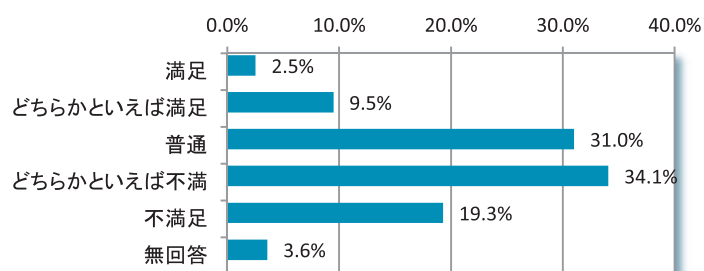
●自治会活動や地域行事について



集計結果	回答数	構成比
満足	14	1.5%
どちらかといえば満足	98	10.3%
普通	615	64.9%
どちらかといえば不満	112	11.8%
不満	46	4.9%
無回答	63	6.6%
計	948	100.0%

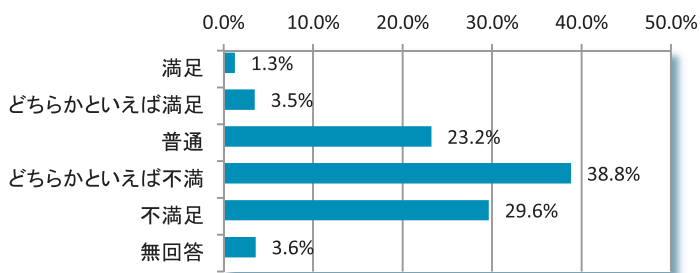
④消費・雇用

●食料品や衣料品など日用品の買い物の便について



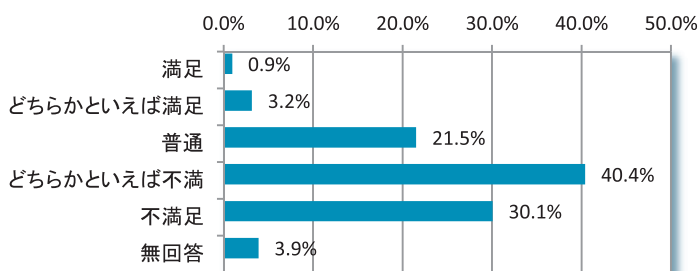
集計結果	回答数	構成比
満足	24	2.5%
どちらかといえば満足	90	9.5%
普通	294	31.0%
どちらかといえば不満	323	34.1%
不満	183	19.3%
無回答	34	3.6%
計	948	100.0%

## ●家具や電気製品などの専門品の買い物の便について



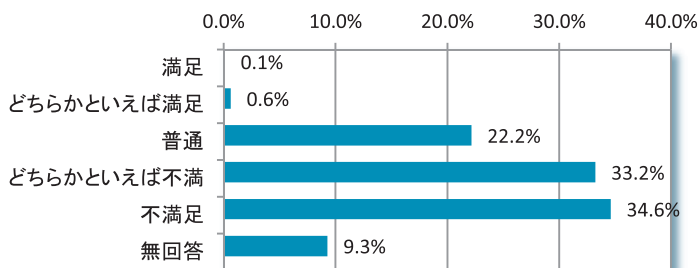
集計結果	回答数	構成比
満足	12	1.3%
どちらかといえば満足	33	3.5%
普通	220	23.2%
どちらかといえば不満	368	38.8%
不満足	281	29.6%
無回答	34	3.6%
計	948	100.0%

## ●外食やレジャーの便について



集計結果	回答数	構成比
満足	9	0.9%
どちらかといえば満足	30	3.2%
普通	204	21.5%
どちらかといえば不満	383	40.4%
不満足	285	30.1%
無回答	37	3.9%
計	948	100.0%

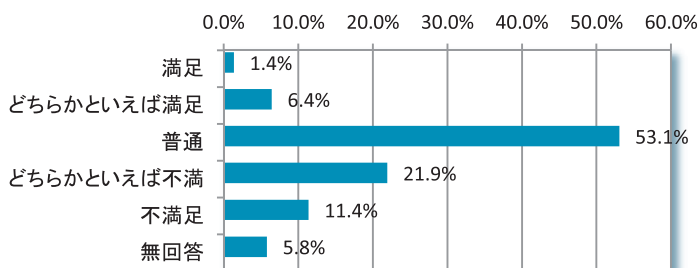
## ●就職やアルバイト・パートタイマーなど雇用の機会について



集計結果	回答数	構成比
満足	1	0.1%
どちらかといえば満足	6	0.6%
普通	210	22.2%
どちらかといえば不満	315	33.2%
不満足	328	34.6%
無回答	88	9.3%
計	948	100.0%

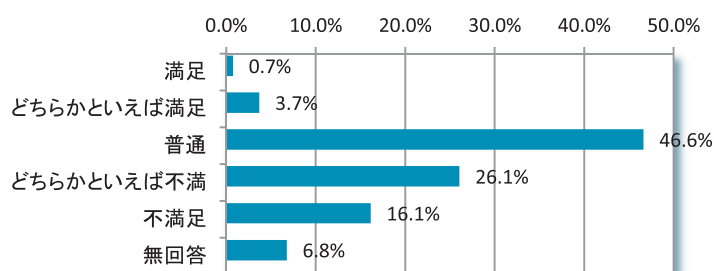
## ⑤ 行政

## ●住民サービスについて



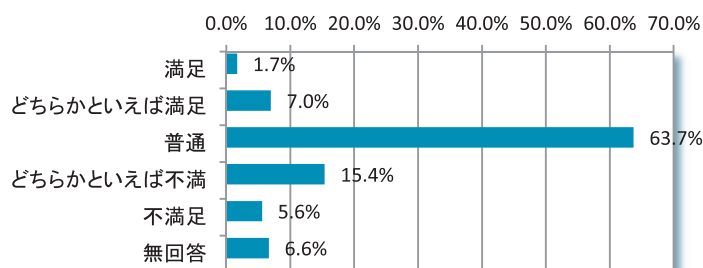
集計結果	回答数	構成比
満足	13	1.4%
どちらかといえば満足	61	6.4%
普通	503	53.1%
どちらかといえば不満	208	21.9%
不満足	108	11.4%
無回答	55	5.8%
計	948	100.0%

●町政への町民の声の反映について



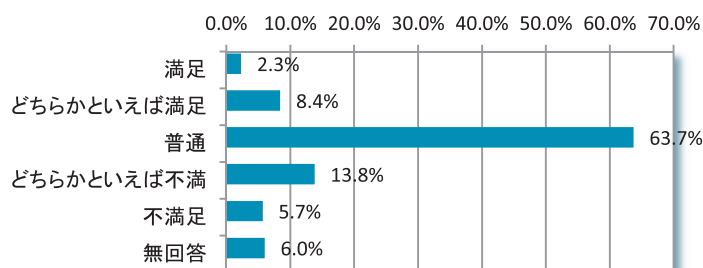
集計結果	回答数	構成比
満足	7	0.7%
どちらかといえば満足	35	3.7%
普通	442	46.6%
どちらかといえば不満	247	26.1%
不満足	153	16.1%
無回答	64	6.8%
計	948	100.0%

●広報誌やホームページの広報・広聴活動について



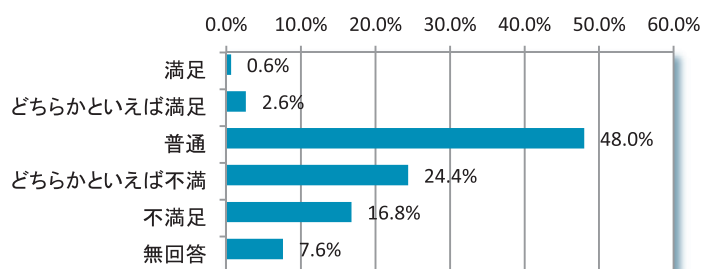
集計結果	回答数	構成比
満足	16	1.7%
どちらかといえば満足	66	7.0%
普通	604	63.7%
どちらかといえば不満	146	15.4%
不満足	53	5.6%
無回答	63	6.6%
計	948	100.0%

●消防署や警察署などの広域行政について



集計結果	回答数	構成比
満足	22	2.3%
どちらかといえば満足	80	8.4%
普通	604	63.7%
どちらかといえば不満	131	13.8%
不満足	54	5.7%
無回答	57	6.0%
計	948	100.0%

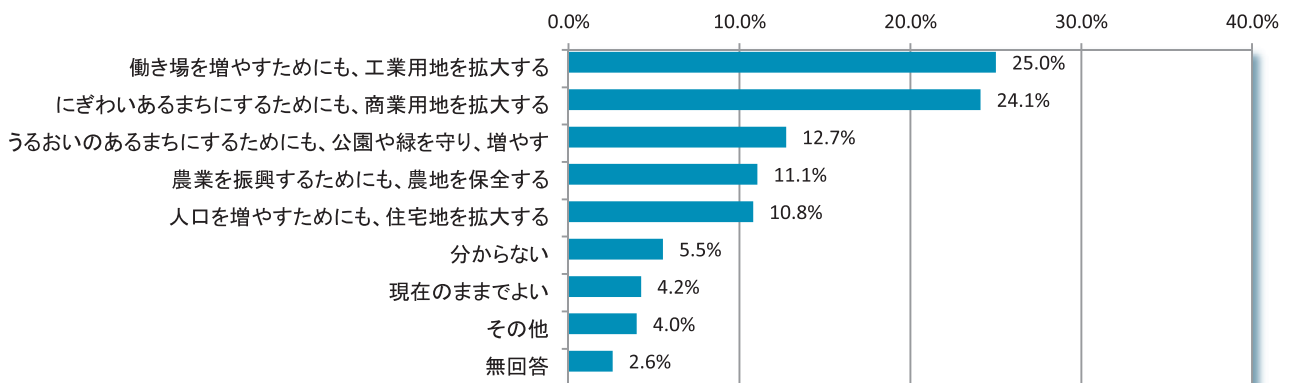
●行政改革等について



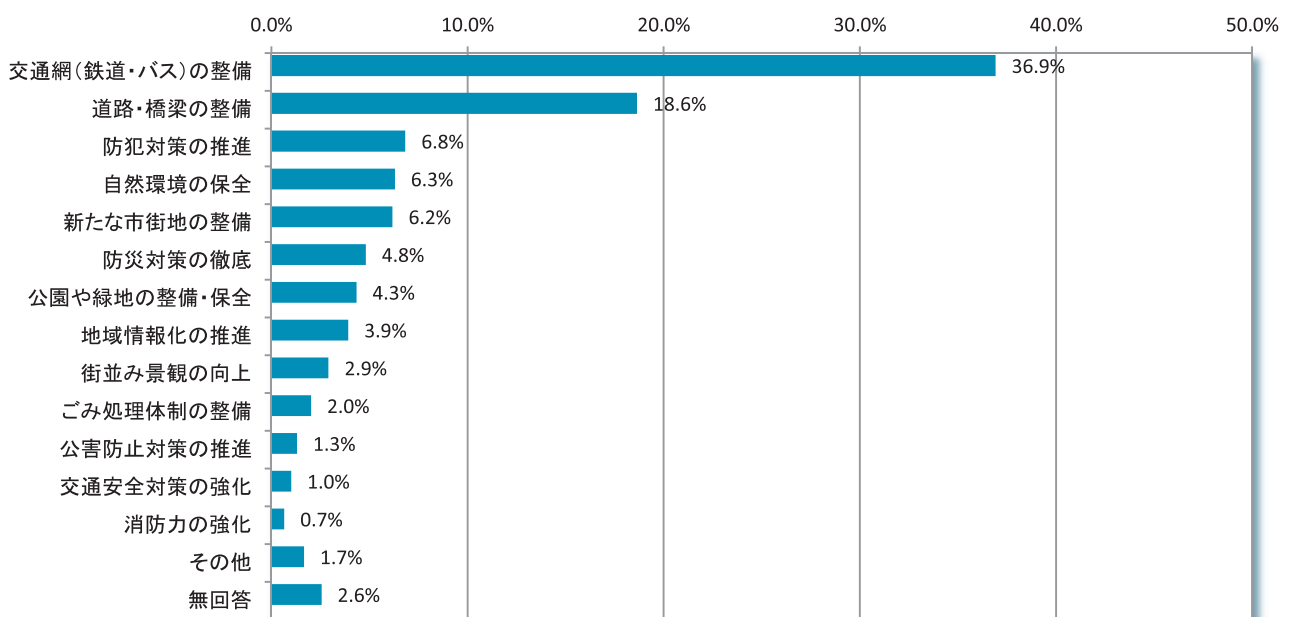
集計結果	回答数	構成比
満足	6	0.6%
どちらかといえば満足	25	2.6%
普通	455	48.0%
どちらかといえば不満	231	24.4%
不満足	159	16.8%
無回答	72	7.6%
計	948	100.0%

#### (4) 都市基盤・生活環境の充実について

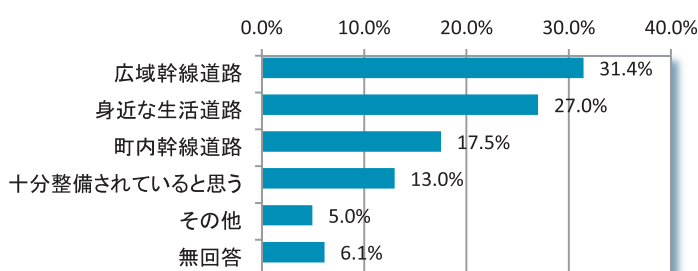
Q16. これからのまちの土地利用の進め方として、あなたが望ましいと思うものを選んでください（〇2つまで）



Q17. 今後、まちの都市基盤・生活環境を充実させるためには、何が重要だと思いますか（〇2つまで）

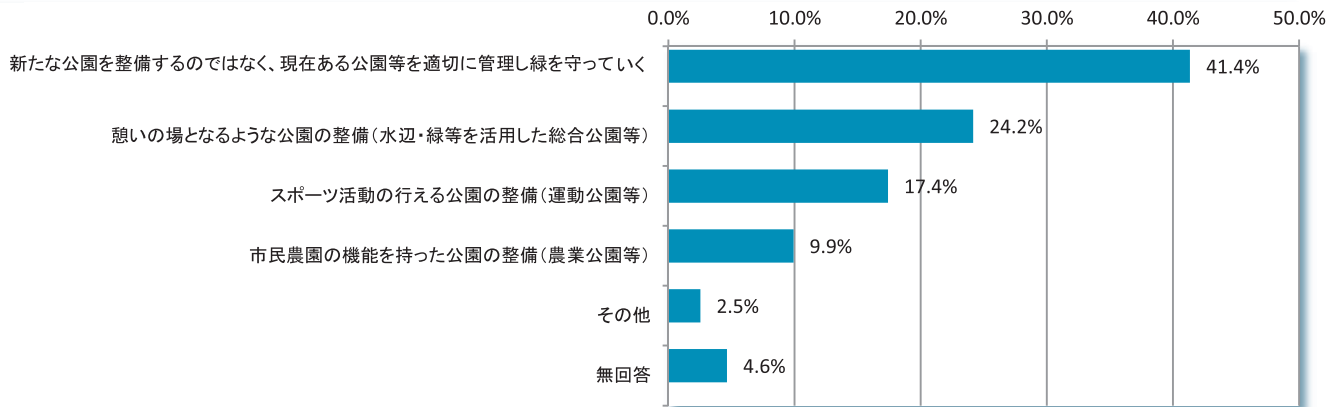


Q18. 今後、利根町で道路の整備をする場合は、どのようなものを整備したら良いと思いますか（〇1つ）

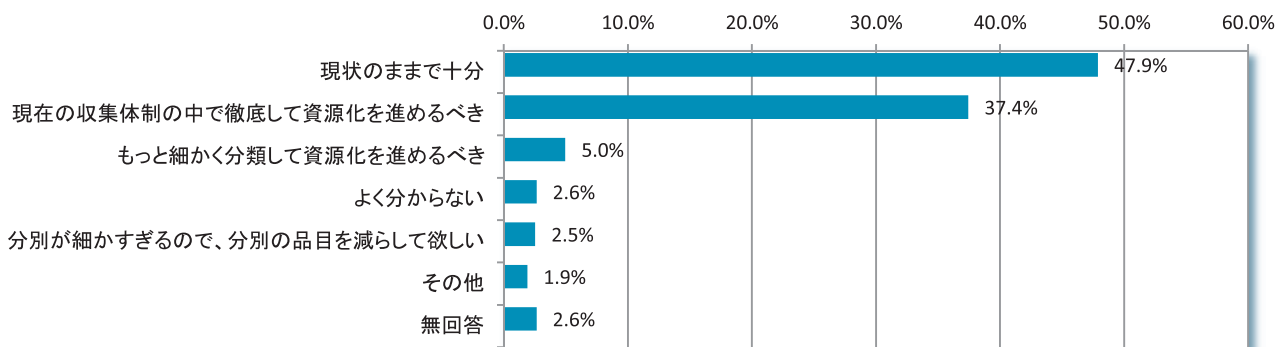


集計結果	回答数	構成比
広域幹線道路	298	31.4%
身近な生活道路	256	27.0%
町内幹線道路	166	17.5%
十分整備されていると思う	123	13.0%
その他	47	5.0%
無回答	58	6.1%
計	948	100.0%

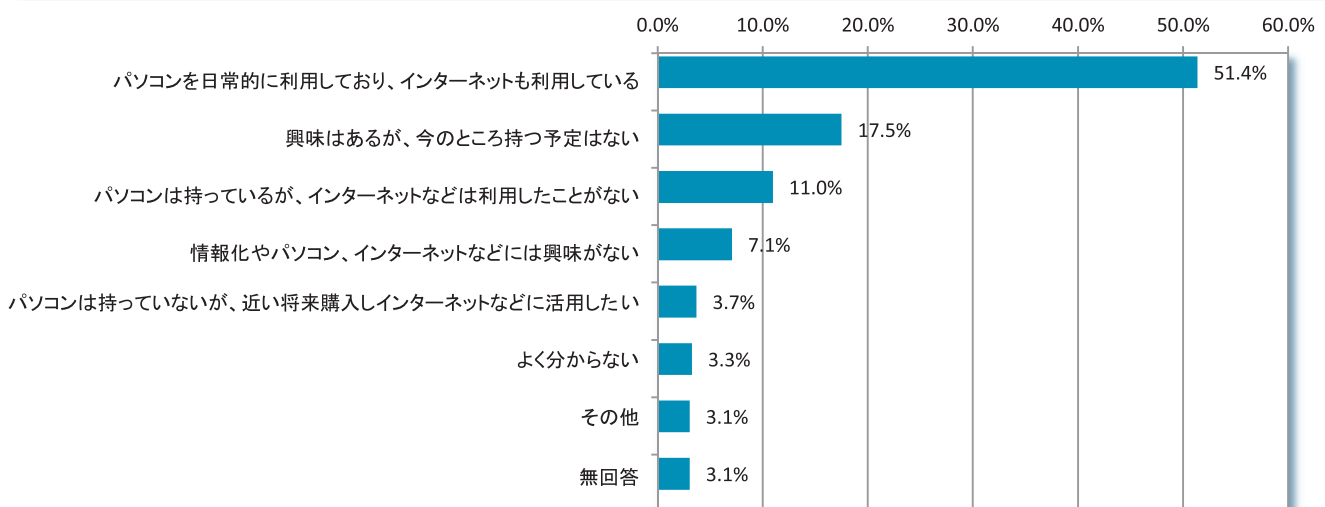
Q19. 今後、利根町で公園・緑地等の整備をする場合は、どのようなものを整備したら良いと思いますか（〇1つ）



Q20. ごみの減量化と資源のリサイクルを目的とした、ごみの分別収集について、あなたはどのように思いますか（〇1つ）

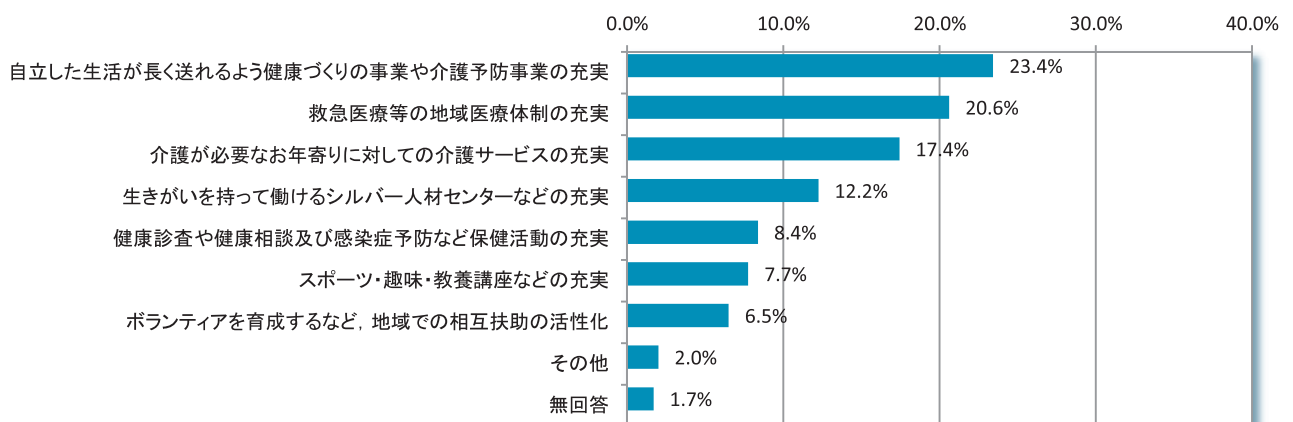


Q21. 急速に進む高度情報化社会の中で、あなたは普段パソコンを利用していますか。また、どのように活用していますか（〇1つ）

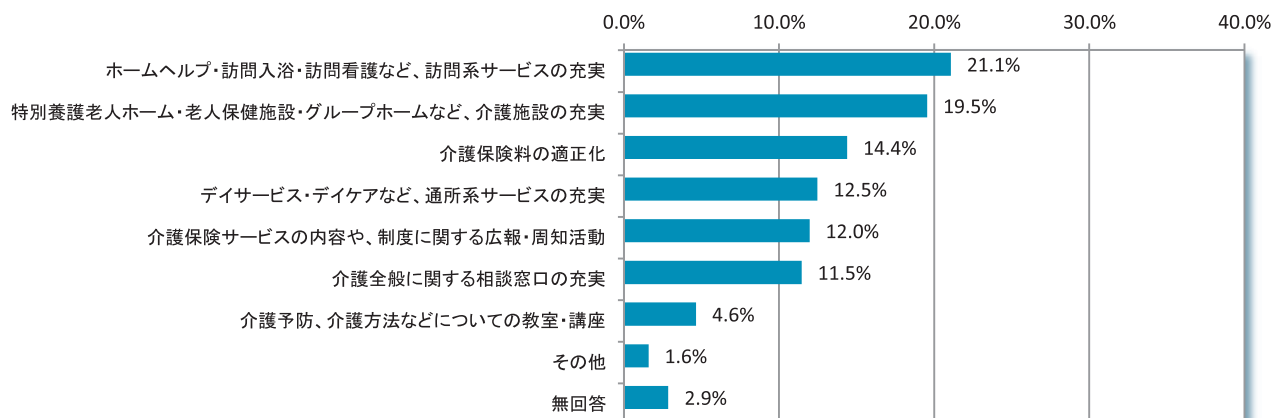


## (5) 保健・医療・福祉について

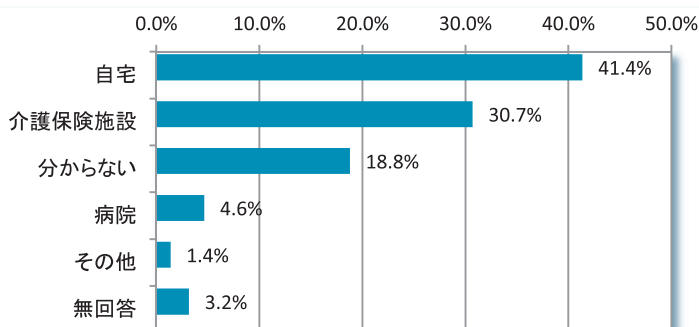
Q22. 幸せで生きがいのある老後を過ごすために、あなたは行政に対して何を望みますか（〇2つまで）



Q23. あなたは、町の介護保険サービスについて、何に力を入れて欲しいと思いますか（〇2つまで）



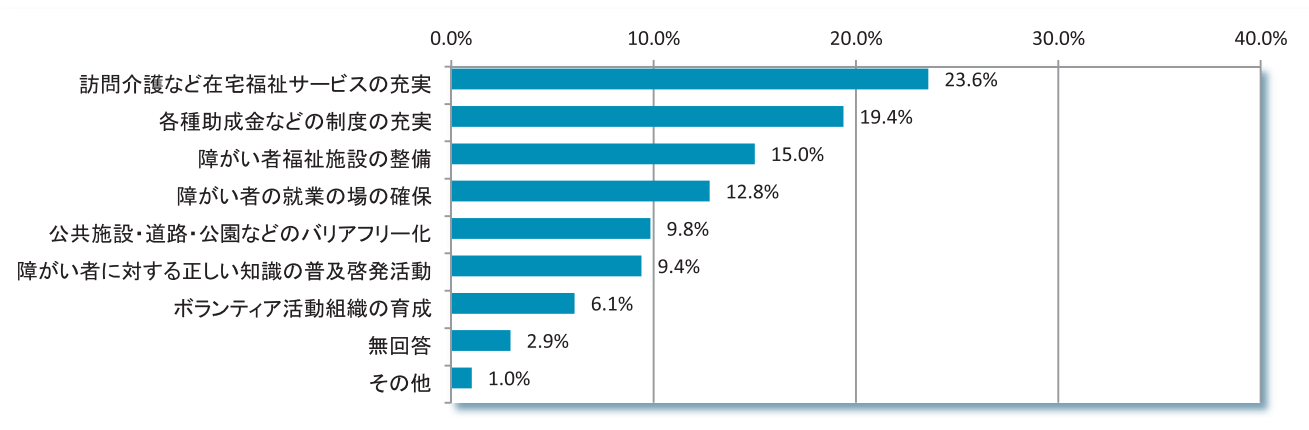
Q24. あなたが、もし介護が必要な状態になったとき、どこで介護を受けたいと思いますか（〇1つ）



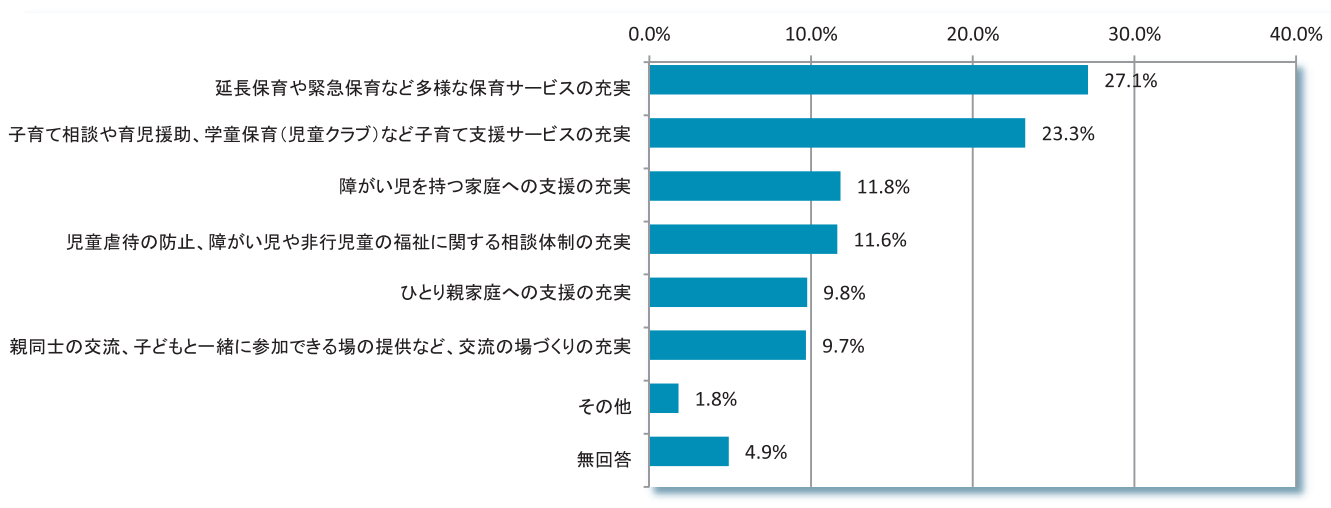
集計結果	回答数	構成比
自宅	392	41.4%
介護保険施設	291	30.7%
分からない	178	18.8%
病院	44	4.6%
その他	13	1.4%
無回答	30	3.2%
計	948	100.0%



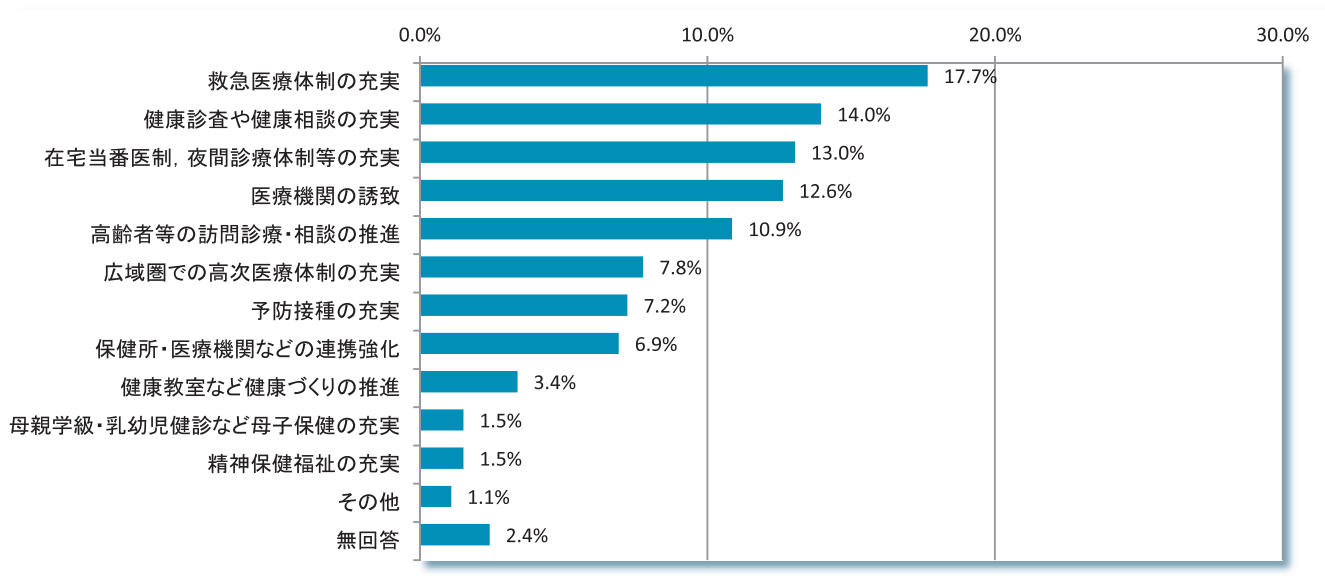
Q25. あなたは、障がい者福祉について、何に力を入れてほしいと思いますか（〇2つまで）



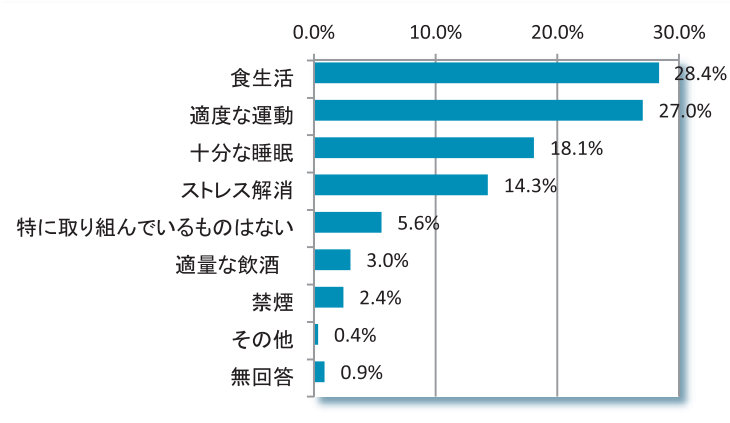
Q26. あなたは、児童福祉について、何に力を入れてほしいと思いますか（〇2つまで）



Q27. あなたは、町の保健・医療体制について、何に力を入れてほしいと思いますか（〇2つまで）

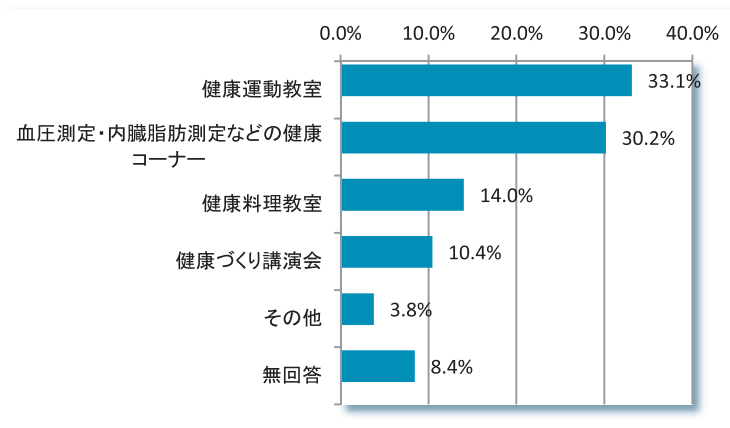


Q28. あなたが、健康づくりについて日頃から気をつけていることは何ですか（〇2つまで）



集計結果	回答数	構成比
食生活	480	28.4%
適度な運動	457	27.0%
十分な睡眠	306	18.1%
ストレス解消	242	14.3%
特に取り組んでいるものはない	94	5.6%
適量な飲酒	51	3.0%
禁煙	41	2.4%
その他	6	0.4%
無回答	15	0.9%
計	1,692	100.0%

Q29. 将来、利根町で健康づくりイベント（健康まつり）を開催する場合、どのような内容を希望しますか（〇1つ）

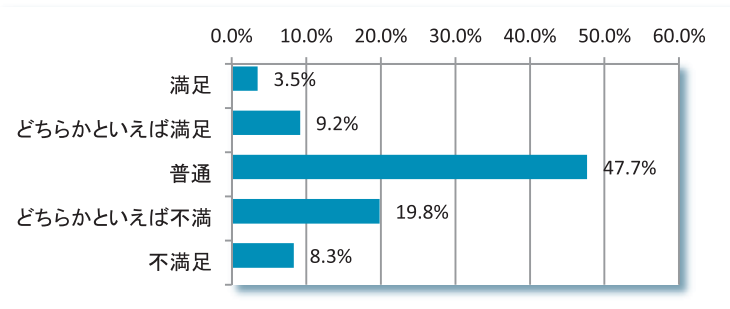


集計結果	回答数	構成比
健康運動教室	314	33.1%
血圧測定・内臓脂肪測定などの健康コーナー	286	30.2%
健康料理教室	133	14.0%
健康づくり講演会	99	10.4%
その他	36	3.8%
無回答	80	8.4%
計	948	100.0%

## （6）教育・文化・スポーツの振興について

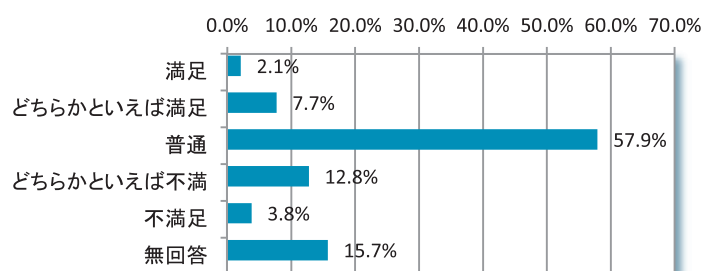
Q30. 小・中学校の義務教育について、あなたが感じている満足度を選んでください（〇1つ）

### ●通学路の安全性



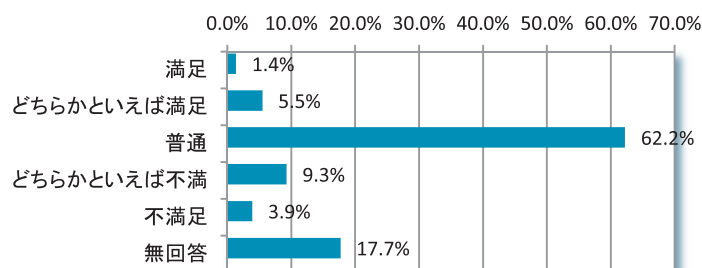
集計結果	回答数	構成比
満足	33	3.5%
どちらかといえば満足	87	9.2%
普通	452	47.7%
どちらかといえば不満	188	19.8%
不満	79	8.3%
無回答	109	11.5%
計	948	100.0%

●教育施設の整備（校舎・校庭・体育館・プール等）



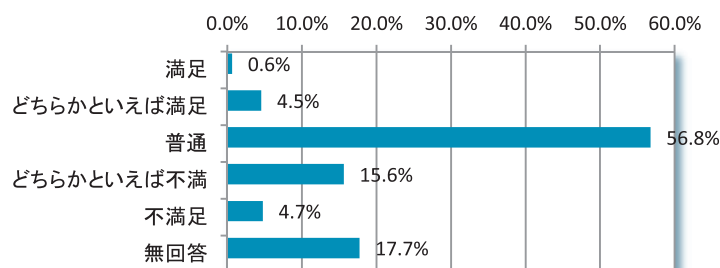
集計結果	回答数	構成比
満足	20	2.1%
どちらかといえば満足	73	7.7%
普通	549	57.9%
どちらかといえば不満	121	12.8%
不満足	36	3.8%
無回答	149	15.7%
計	948	100.0%

●教育内容や指導方法



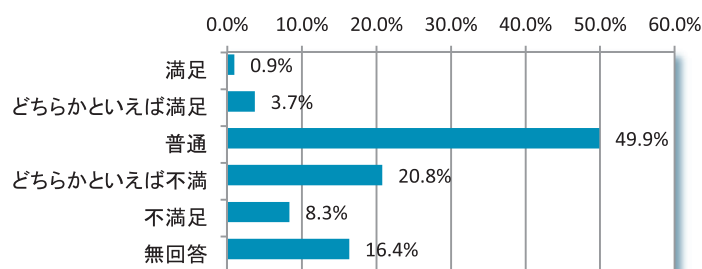
集計結果	回答数	構成比
満足	13	1.4%
どちらかといえば満足	52	5.5%
普通	590	62.2%
どちらかといえば不満	88	9.3%
不満足	37	3.9%
無回答	168	17.7%
計	948	100.0%

●情操教育（個性をのびず教育）



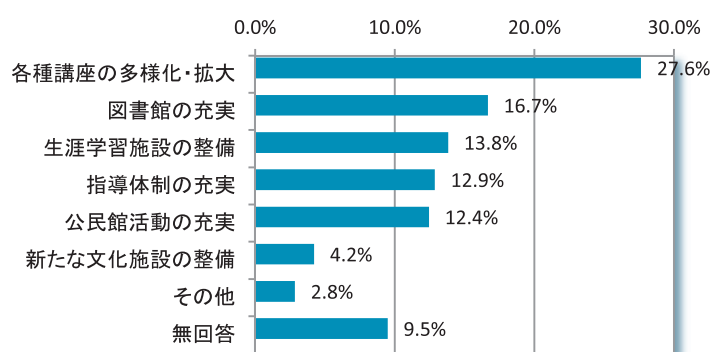
集計結果	回答数	構成比
満足	6	0.6%
どちらかといえば満足	43	4.5%
普通	538	56.8%
どちらかといえば不満	148	15.6%
不満足	45	4.7%
無回答	168	17.7%
計	948	100.0%

●空き教室や校庭，体育館の利用（学童保育・地域活動）



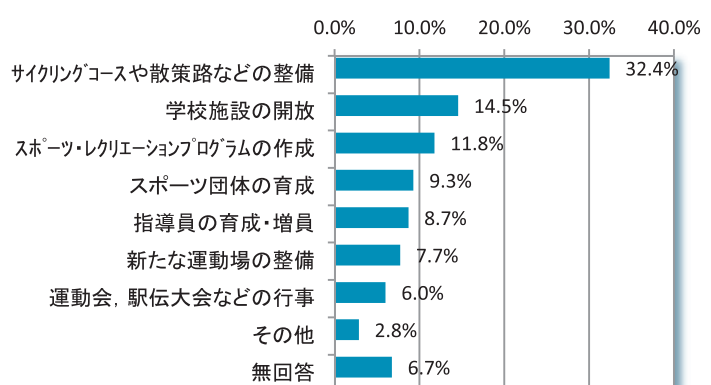
集計結果	回答数	構成比
満足	9	0.9%
どちらかといえば満足	35	3.7%
普通	473	49.9%
どちらかといえば不満	197	20.8%
不満足	79	8.3%
無回答	155	16.4%
計	948	100.0%

Q31. あなたは、生涯学習の施策において、何が一番重要だと思いますか（〇1つ）



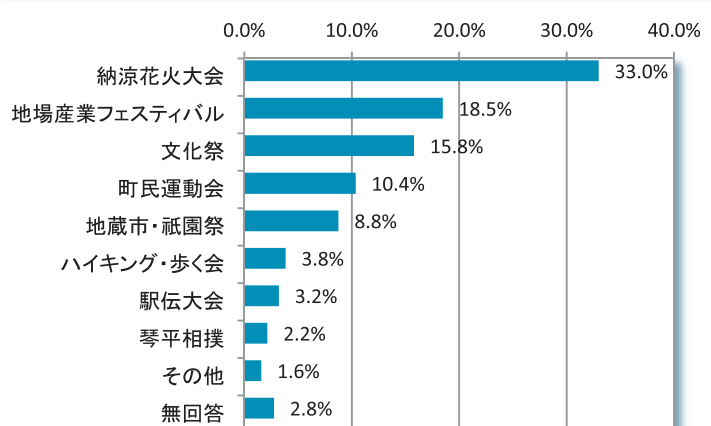
集計結果	回答数	構成比
各種講座の多様化・拡大	262	27.6%
図書館の充実	158	16.7%
生涯学習施設の整備	131	13.8%
指導体制の充実	122	12.9%
公民館活動の充実	118	12.4%
新たな文化施設の整備	40	4.2%
その他	27	2.8%
無回答	90	9.5%
計	948	100.0%

Q32. あなたは、町のスポーツ・レクリエーション活動に関する施策において、何が重要だと思いますか（〇2つまで）



集計結果	回答数	構成比
サイクリングコースや散策路などの整備	432	32.4%
学校施設の開放	194	14.5%
スポーツ・レクリエーションプログラムの作成	157	11.8%
スポーツ団体の育成	124	9.3%
指導員の育成・増員	116	8.7%
新たな運動場の整備	103	7.7%
運動会、駅伝大会などの行事	80	6.0%
その他	38	2.8%
無回答	90	6.7%
計	1,334	100.0%

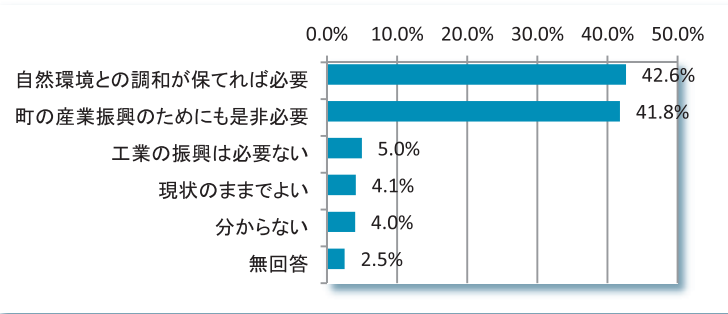
Q33. 町で現在行われている文化活動等で、「親しみがある」と思われるものは何ですか（〇3つまで）



集計結果	回答数	構成比
納涼花火大会	643	33.0%
地場産業フェスティバル	360	18.5%
文化祭	308	15.8%
町民運動会	202	10.4%
地蔵市・祇園祭	171	8.8%
ハイキング・歩く会	75	3.8%
駅伝大会	63	3.2%
琴平相撲	42	2.2%
その他	31	1.6%
無回答	54	2.8%
計	1,949	100.0%

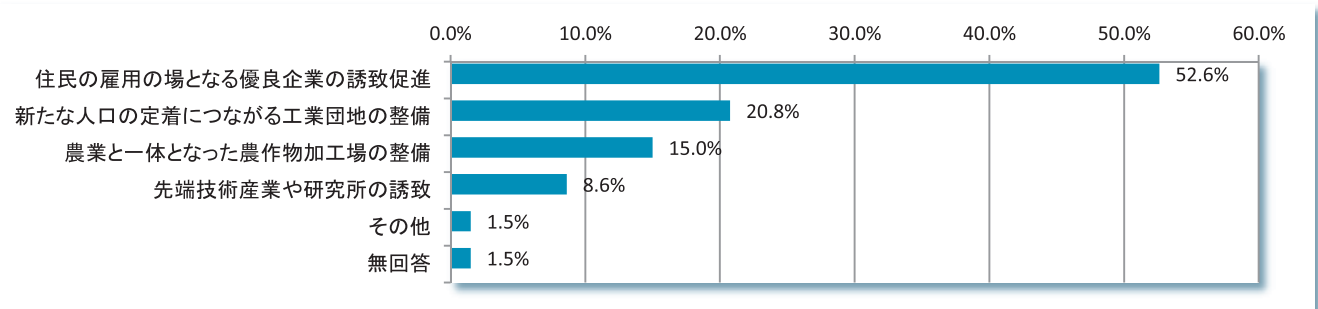
## (7) 産業の振興について

Q34. 今後、利根町に工業団地や工場集積地を設け、流通・生産業務を行う企業等を誘致することになった場合、あなたはどのように思いますか（○1つ）



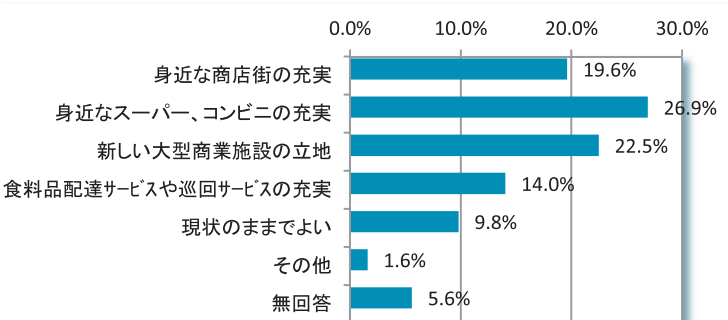
集計結果	回答数	構成比
自然環境との調和が保てれば必要	404	42.6%
町の産業振興のためにも是非必要	396	41.8%
工業の振興は必要ない	47	5.0%
現状のままでよい	39	4.1%
分からない	38	4.0%
無回答	24	2.5%
計	948	100.0%

Q35. Q34で「自然環境との調和が保てれば必要」または「町の産業振興のためにも是非必要」と回答された方にお聞きます。どのような企業を望まれますか（○1つ）



集計結果	回答数	構成比
住民の雇用となる優良企業の誘致促進	421	52.6%
新たな人口の定着につながる工業団地の整備	166	20.8%
農業と一体となった農作物加工場の整備	120	15.0%
先端技術産業や研究所の誘致	69	8.6%
その他	12	1.5%
無回答	12	1.5%
計	800	100.0%

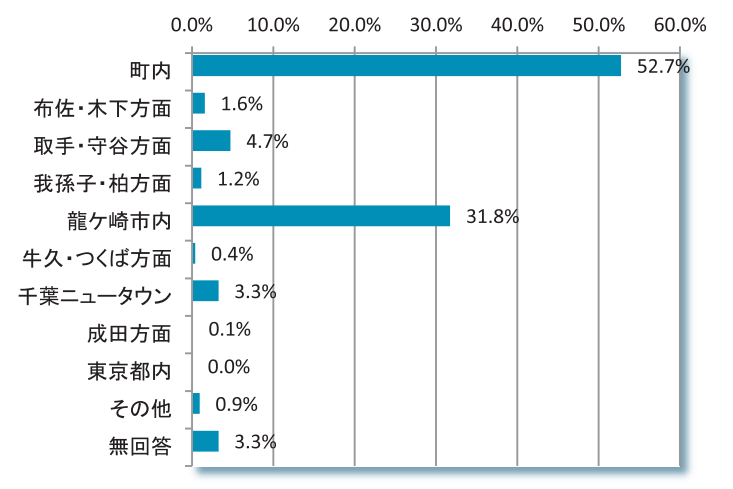
Q36. 利根町の商業環境について、今後どのようなことを期待しますか（○1つ）



集計結果	回答数	構成比
身近な商店街の充実	186	19.6%
身近なスーパー、コンビニの充実	255	26.9%
新しい大型商業施設の立地	213	22.5%
食料品配達サービスや巡回サービスの充実	133	14.0%
現状のままでよい	93	9.8%
その他	15	1.6%
無回答	53	5.6%
計	948	100.0%

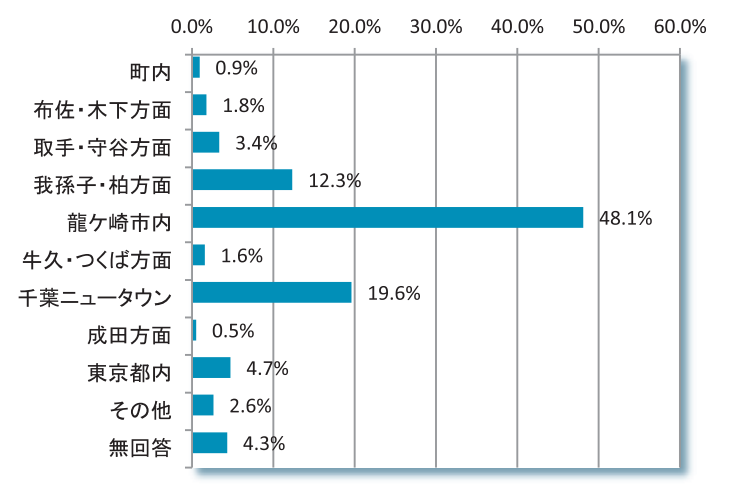
Q37. あなたは、次のような買い物などをする際には、主にどこに行きますか（〇1つ）

●食料品の買い物



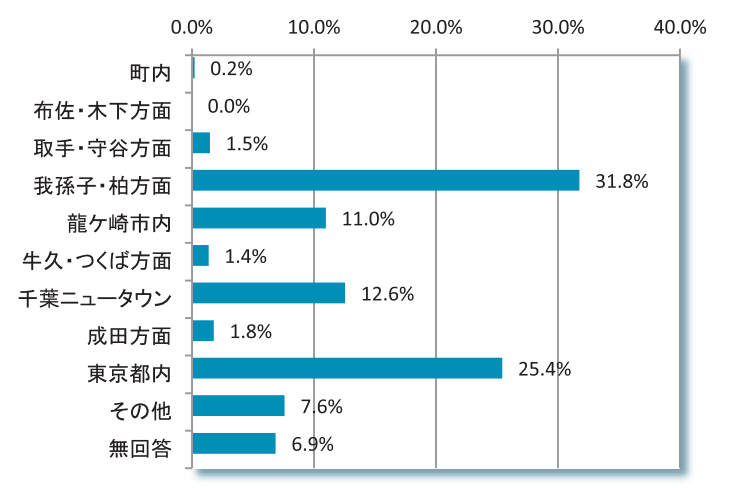
集計結果	回答数	構成比
町内	500	52.7%
布佐・木下方面	15	1.6%
取手・守谷方面	45	4.7%
我孫子・柏方面	11	1.2%
龍ヶ崎市内	301	31.8%
牛久・つくば方面	4	0.4%
千葉ニュータウン	31	3.3%
成田方面	1	0.1%
東京都内	0	0.0%
その他	9	0.9%
無回答	31	3.3%
計	948	100.0%

●衣料品の買い物



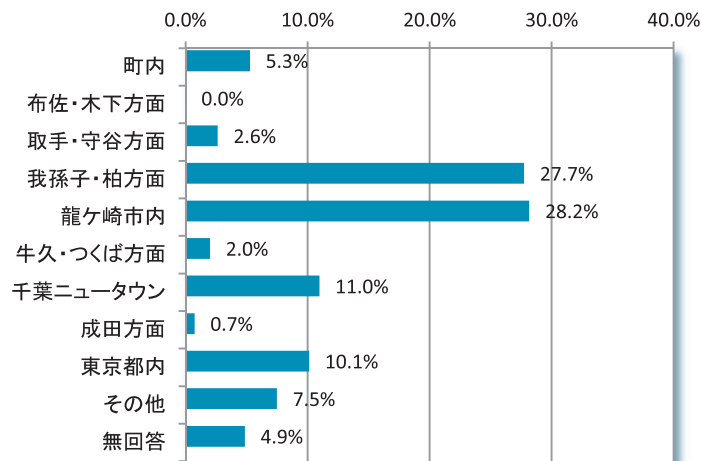
集計結果	回答数	構成比
町内	9	0.9%
布佐・木下方面	17	1.8%
取手・守谷方面	32	3.4%
我孫子・柏方面	117	12.3%
龍ヶ崎市内	456	48.1%
牛久・つくば方面	15	1.6%
千葉ニュータウン	186	19.6%
成田方面	5	0.5%
東京都内	45	4.7%
その他	25	2.6%
無回答	41	4.3%
計	948	100.0%

●高級衣料品の買い物



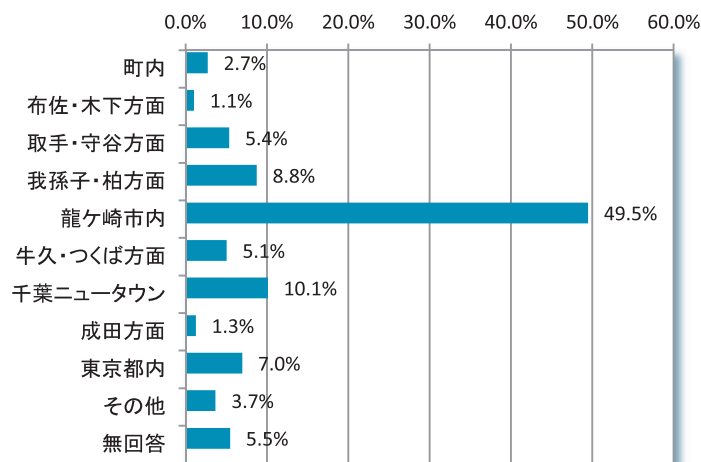
集計結果	回答数	構成比
町内	2	0.2%
布佐・木下方面	0	0.0%
取手・守谷方面	14	1.5%
我孫子・柏方面	301	31.8%
龍ヶ崎市内	104	11.0%
牛久・つくば方面	13	1.4%
千葉ニュータウン	119	12.6%
成田方面	17	1.8%
東京都内	241	25.4%
その他	72	7.6%
無回答	65	6.9%
計	948	100.0%

●贈答品の買い物



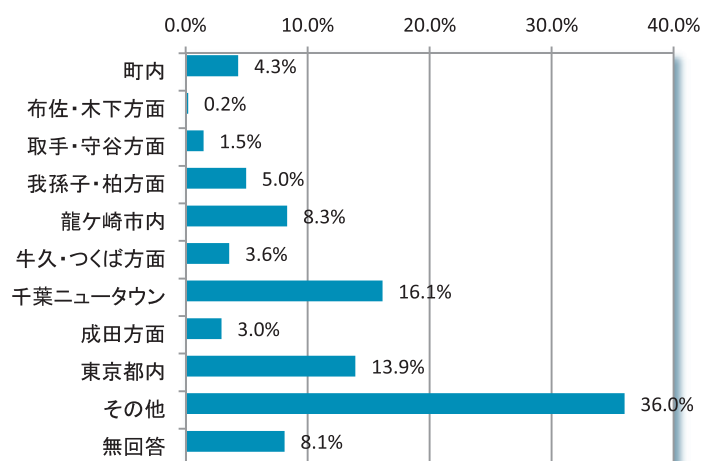
集計結果	回答数	構成比
町内	50	5.3%
布佐・木下方面	0	0.0%
取手・守谷方面	25	2.6%
我孫子・柏方面	263	27.7%
龍ヶ崎市内	267	28.2%
牛久・つくば方面	19	2.0%
千葉ニュータウン	104	11.0%
成田方面	7	0.7%
東京都内	96	10.1%
その他	71	7.5%
無回答	46	4.9%
計	948	100.0%

●家族や友人との外食



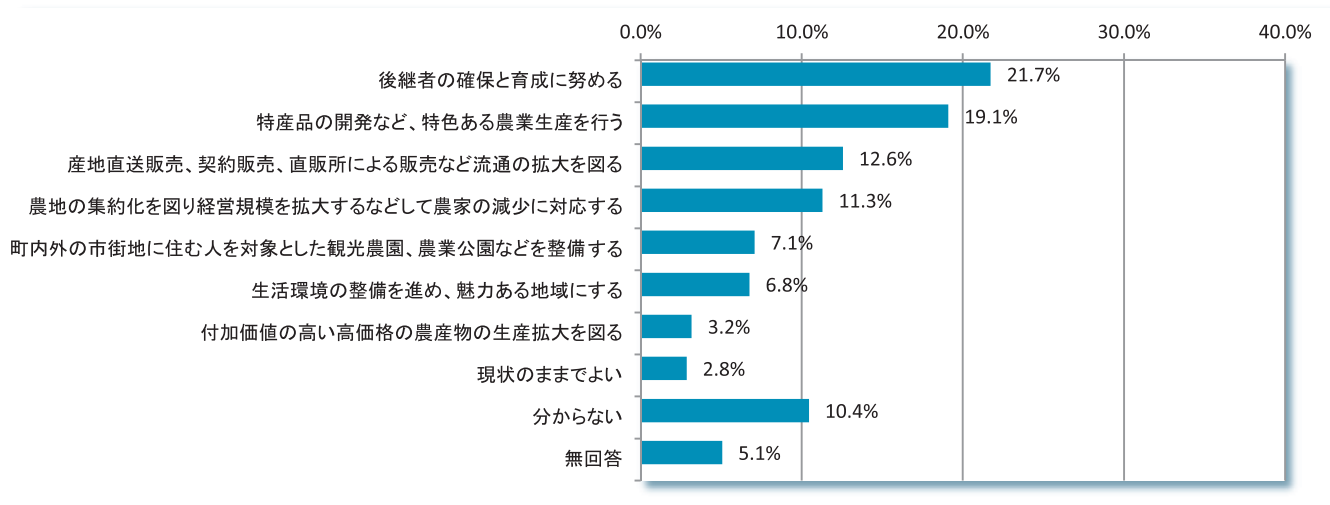
集計結果	回答数	構成比
町内	26	2.7%
布佐・木下方面	10	1.1%
取手・守谷方面	51	5.4%
我孫子・柏方面	83	8.8%
龍ヶ崎市内	469	49.5%
牛久・つくば方面	48	5.1%
千葉ニュータウン	96	10.1%
成田方面	12	1.3%
東京都内	66	7.0%
その他	35	3.7%
無回答	52	5.5%
計	948	100.0%

●休日のレジャー



集計結果	回答数	構成比
町内	41	4.3%
布佐・木下方面	2	0.2%
取手・守谷方面	14	1.5%
我孫子・柏方面	47	5.0%
龍ヶ崎市内	79	8.3%
牛久・つくば方面	34	3.6%
千葉ニュータウン	153	16.1%
成田方面	28	3.0%
東京都内	132	13.9%
その他	341	36.0%
無回答	77	8.1%
計	948	100.0%

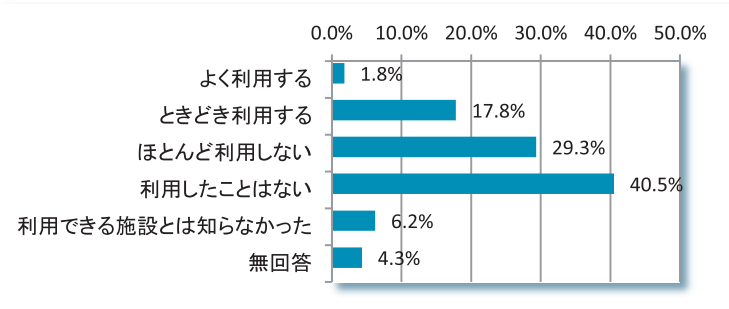
Q38. あなたは、今後利根町の農業を振興する上で、何が大切だと思いますか（〇1つ）



### （8）まちづくりの推進について

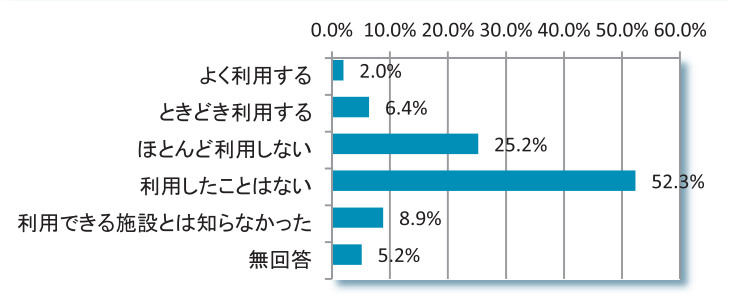
Q39. あなたは、以下の公共施設を利用したことがありますか（〇1つ）

#### ●役場（多目的ホール・イベントホール）



集計結果	回答数	構成比
よく利用する	17	1.8%
ときどき利用する	169	17.8%
ほとんど利用しない	278	29.3%
利用したことはない	384	40.5%
利用できる施設とは知らなかった	59	6.2%
無回答	41	4.3%
計	948	100.0%

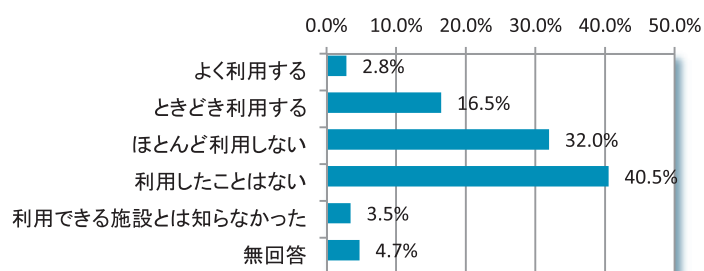
#### ●町民すこやか交流センター



集計結果	回答数	構成比
よく利用する	19	2.0%
ときどき利用する	61	6.4%
ほとんど利用しない	239	25.2%
利用したことはない	496	52.3%
利用できる施設とは知らなかった	84	8.9%
無回答	49	5.2%
計	948	100.0%

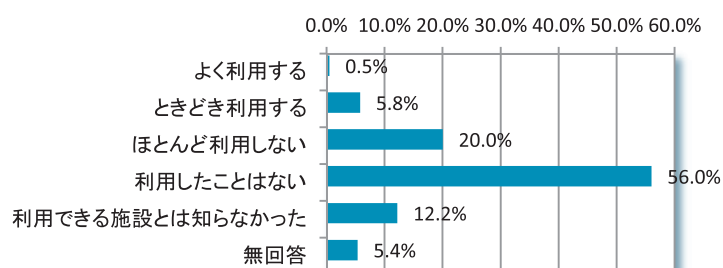


## ●保健福祉センター



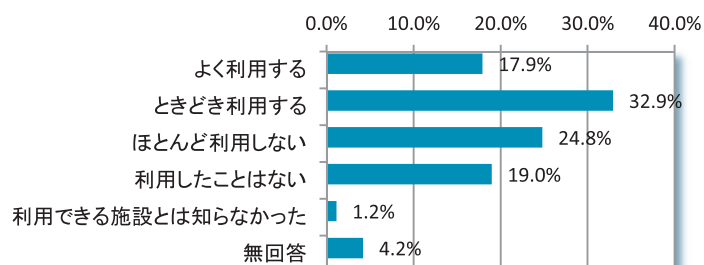
集計結果	回答数	構成比
よく利用する	27	2.8%
ときどき利用する	156	16.5%
ほとんど利用しない	303	32.0%
利用したことはない	384	40.5%
利用できる施設とは知らなかった	33	3.5%
無回答	45	4.7%
計	948	100.0%

## ●農村集落センター（文間地区・利根東部）



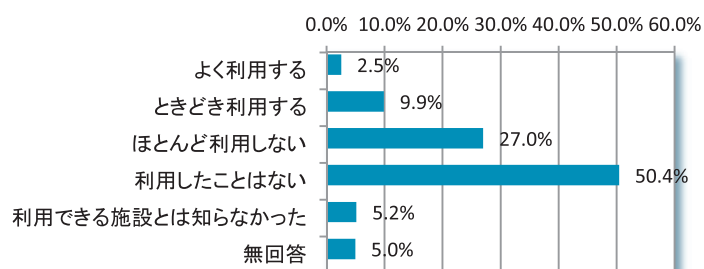
集計結果	回答数	構成比
よく利用する	5	0.5%
ときどき利用する	55	5.8%
ほとんど利用しない	190	20.0%
利用したことはない	531	56.0%
利用できる施設とは知らなかった	116	12.2%
無回答	51	5.4%
計	948	100.0%

## ●図書館



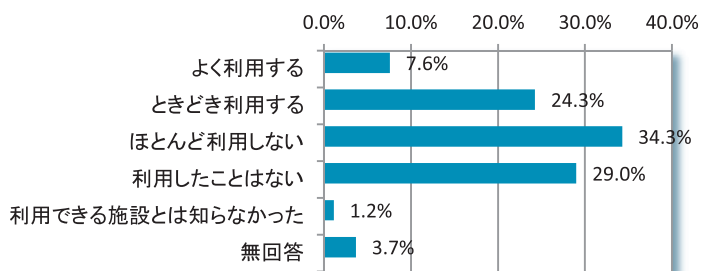
集計結果	回答数	構成比
よく利用する	170	17.9%
ときどき利用する	312	32.9%
ほとんど利用しない	235	24.8%
利用したことはない	180	19.0%
利用できる施設とは知らなかった	11	1.2%
無回答	40	4.2%
計	948	100.0%

## ●布川地区コミュニティセンター



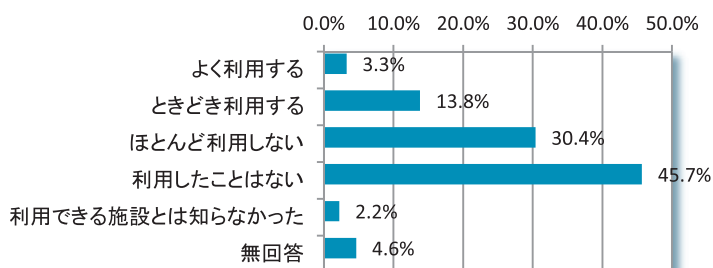
集計結果	回答数	構成比
よく利用する	24	2.5%
ときどき利用する	94	9.9%
ほとんど利用しない	256	27.0%
利用したことはない	478	50.4%
利用できる施設とは知らなかった	49	5.2%
無回答	47	5.0%
計	948	100.0%

## ●公民館



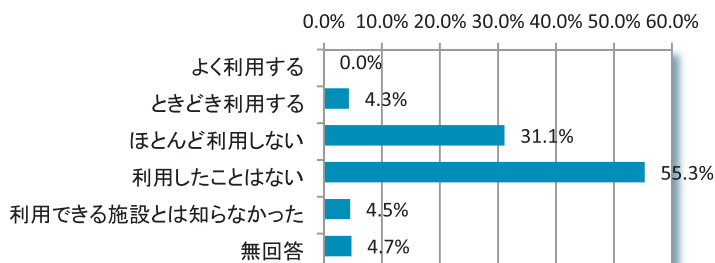
集計結果	回答数	構成比
よく利用する	72	7.6%
ときどき利用する	230	24.3%
ほとんど利用しない	325	34.3%
利用したことはない	275	29.0%
利用できる施設とは知らなかった	11	1.2%
無回答	35	3.7%
計	948	100.0%

## ●生涯学習センター



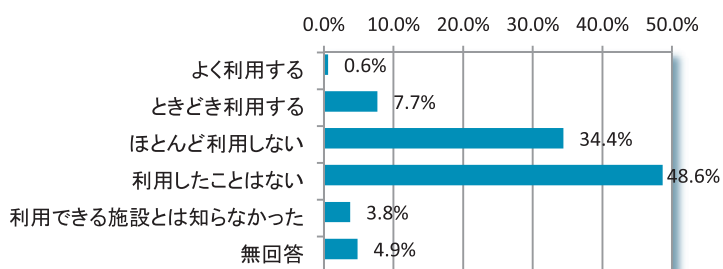
集計結果	回答数	構成比
よく利用する	31	3.3%
ときどき利用する	131	13.8%
ほとんど利用しない	288	30.4%
利用したことはない	433	45.7%
利用できる施設とは知らなかった	21	2.2%
無回答	44	4.6%
計	948	100.0%

## ●歴史民俗資料館



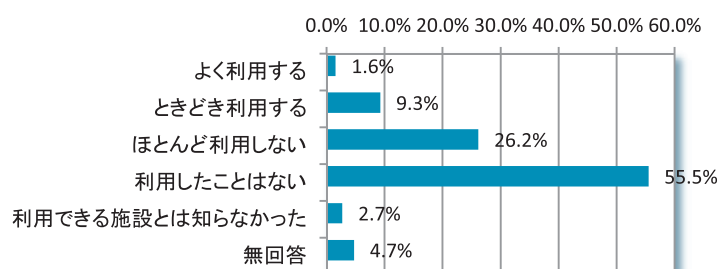
集計結果	回答数	構成比
よく利用する	0	0.0%
ときどき利用する	41	4.3%
ほとんど利用しない	295	31.1%
利用したことはない	524	55.3%
利用できる施設とは知らなかった	43	4.5%
無回答	45	4.7%
計	948	100.0%

## ●柳田國男記念公苑



集計結果	回答数	構成比
よく利用する	6	0.6%
ときどき利用する	73	7.7%
ほとんど利用しない	326	34.4%
利用したことはない	461	48.6%
利用できる施設とは知らなかった	36	3.8%
無回答	46	4.9%
計	948	100.0%

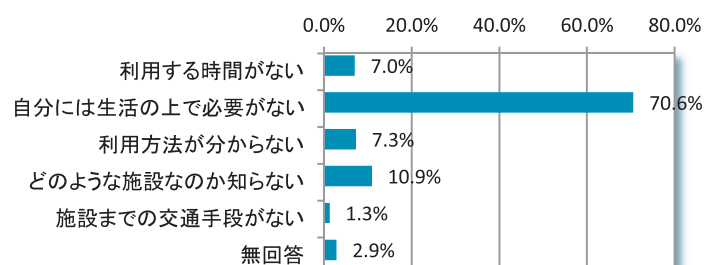
## ●上曽根運動公園・利根緑地運動公園等の公園



集計結果	回答数	構成比
よく利用する	15	1.6%
ときどき利用する	88	9.3%
ほとんど利用しない	248	26.2%
利用したことはない	526	55.5%
利用できる施設とは知らなかった	26	2.7%
無回答	45	4.7%
計	948	100.0%

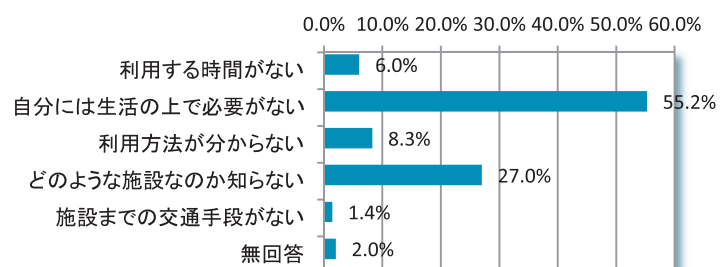
Q40. Q39で「利用したことはない」と回答された方にお聞きします。その理由は何ですか（〇1つ）

## ●役場（多目的ホール・イベントホール）



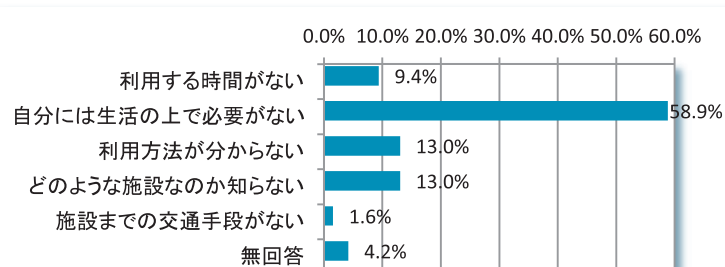
集計結果	回答数	構成比
利用する時間がない	27	7.0%
自分には生活の上で必要がない	271	70.6%
利用方法が分からない	28	7.3%
どのような施設なのか知らない	42	10.9%
施設までの交通手段がない	5	1.3%
無回答	11	2.9%
計	384	100.0%

## ●町民すこやか交流センター



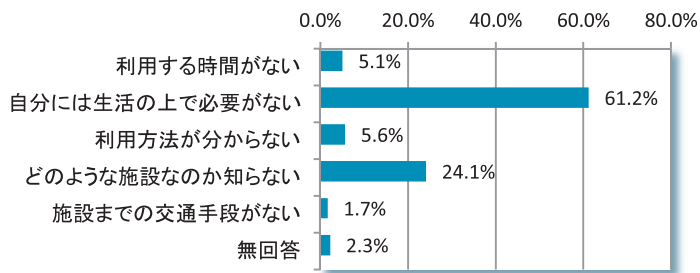
集計結果	回答数	構成比
利用する時間がない	30	6.0%
自分には生活の上で必要がない	274	55.2%
利用方法が分からない	41	8.3%
どのような施設なのか知らない	134	27.0%
施設までの交通手段がない	7	1.4%
無回答	10	2.0%
計	496	100.0%

## ●保健福祉センター



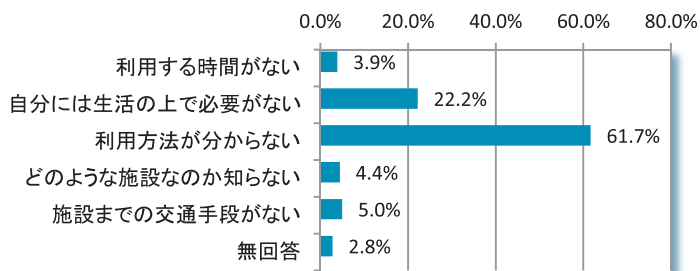
集計結果	回答数	構成比
利用する時間がない	36	9.4%
自分には生活の上で必要がない	226	58.9%
利用方法が分からない	50	13.0%
どのような施設なのか知らない	50	13.0%
施設までの交通手段がない	6	1.6%
無回答	16	4.2%
計	384	100.0%

## ●農村集落センター（文間地区・利根東部）



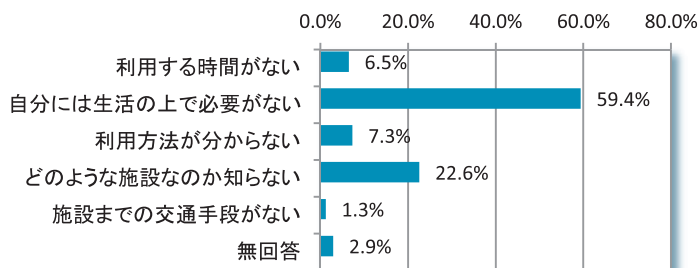
集計結果	回答数	構成比
利用する時間がない	27	5.1%
自分には生活の上で必要がない	325	61.2%
利用方法が分からない	30	5.6%
どのような施設なのか知らない	128	24.1%
施設までの交通手段がない	9	1.7%
無回答	12	2.3%
計	531	100.0%

## ●図書館



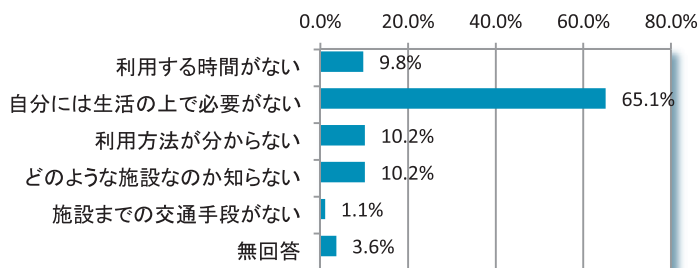
集計結果	回答数	構成比
利用する時間がない	7	3.9%
自分には生活の上で必要がない	40	22.2%
利用方法が分からない	111	61.7%
どのような施設なのか知らない	8	4.4%
施設までの交通手段がない	9	5.0%
無回答	5	2.8%
計	180	100.0%

## ●布川地区コミュニティセンター



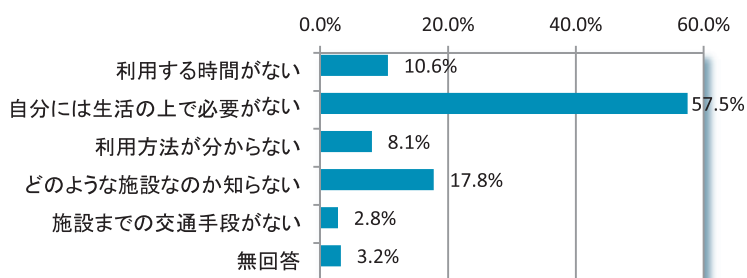
集計結果	回答数	構成比
利用する時間がない	31	6.5%
自分には生活の上で必要がない	284	59.4%
利用方法が分からない	35	7.3%
どのような施設なのか知らない	108	22.6%
施設までの交通手段がない	6	1.3%
無回答	14	2.9%
計	478	100.0%

## ●公民館



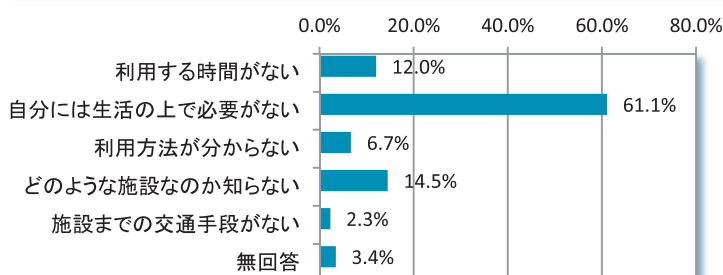
集計結果	回答数	構成比
利用する時間がない	27	9.8%
自分には生活の上で必要がない	179	65.1%
利用方法が分からない	28	10.2%
どのような施設なのか知らない	28	10.2%
施設までの交通手段がない	3	1.1%
無回答	10	3.6%
計	275	100.0%

## ●生涯学習センター



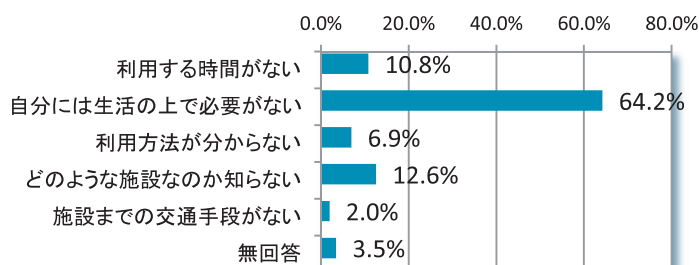
集計結果	回答数	構成比
利用する時間がない	46	10.6%
自分には生活の上で必要がない	249	57.5%
利用方法が分からない	35	8.1%
どのような施設なのか知らない	77	17.8%
施設までの交通手段がない	12	2.8%
無回答	14	3.2%
計	433	100.0%

## ●歴史民俗資料館



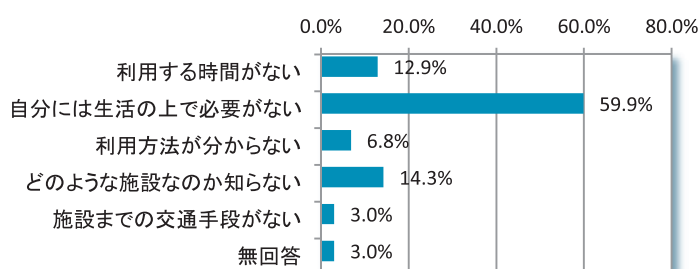
集計結果	回答数	構成比
利用する時間がない	63	12.0%
自分には生活の上で必要がない	320	61.1%
利用方法が分からない	35	6.7%
どのような施設なのか知らない	76	14.5%
施設までの交通手段がない	12	2.3%
無回答	18	3.4%
計	524	100.0%

## ●柳田國男記念公苑



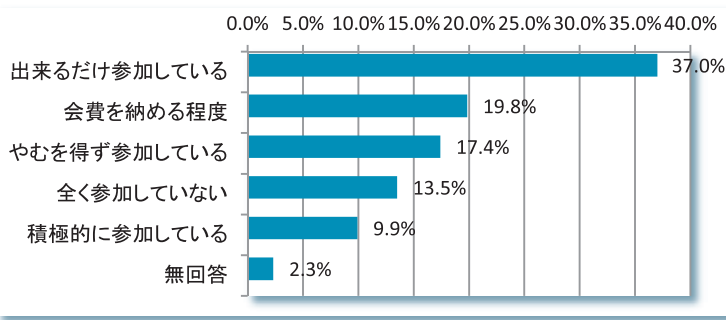
集計結果	回答数	構成比
利用する時間がない	50	10.8%
自分には生活の上で必要がない	296	64.2%
利用方法が分からない	32	6.9%
どのような施設なのか知らない	58	12.6%
施設までの交通手段がない	9	2.0%
無回答	16	3.5%
計	461	100.0%

## ●上曽根運動公園・利根緑地運動公園等の公園



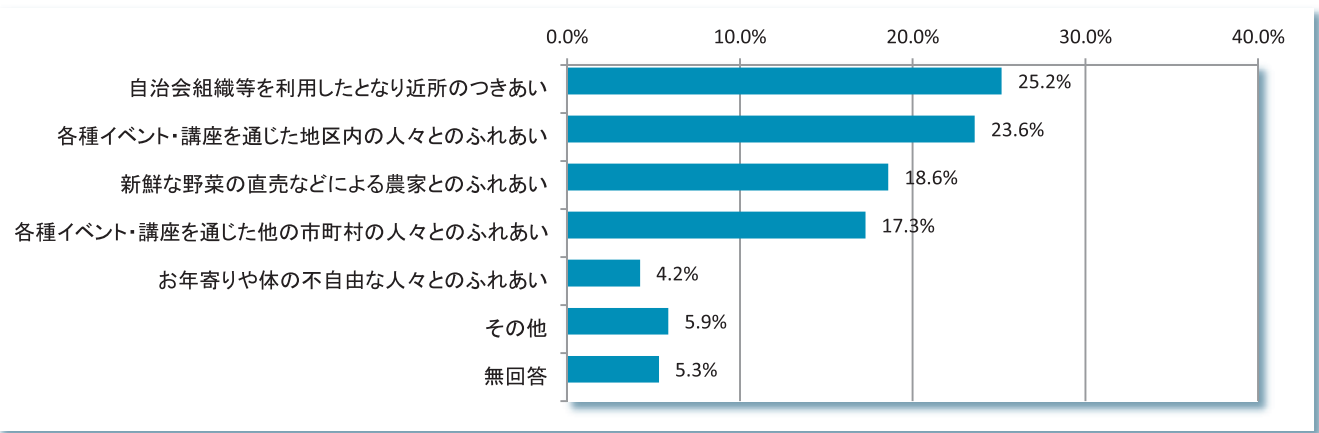
集計結果	回答数	構成比
利用する時間がない	68	12.9%
自分には生活の上で必要がない	315	59.9%
利用方法が分からない	36	6.8%
どのような施設なのか知らない	75	14.3%
施設までの交通手段がない	16	3.0%
無回答	16	3.0%
計	526	100.0%

Q41. あなたは、自治会や地区等の行う会合や行事に参加していますか（〇1つ）



集計結果	回答数	構成比
出来るだけ参加している	351	37.0%
会費を納める程度	188	19.8%
やむを得ず参加している	165	17.4%
全く参加していない	128	13.5%
積極的に参加している	94	9.9%
無回答	22	2.3%
計	948	100.0%

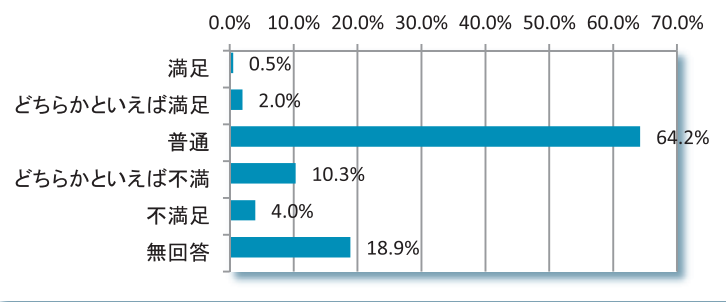
Q42. あなたは、今後どのような人とのふれあいの場を求めていますか（〇2つまで）



集計結果	回答数	構成比
自治会組織等を利用したとなり近所のつきあい	322	25.2%
各種イベント・講座を通じた地区内の人々とのふれあい	302	23.6%
新鮮な野菜の直売などによる農家とのふれあい	238	18.6%
各種イベント・講座を通じた他の市町村の人々とのふれあい	221	17.3%
お年寄りや体の不自由な人々とのふれあい	54	4.2%
その他	75	5.9%
無回答	68	5.3%
計	1,280	100.0%

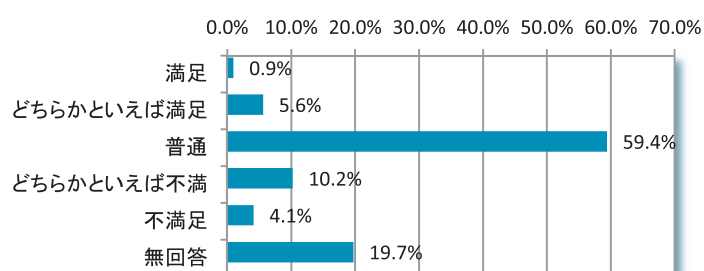
Q43. 利根町の男女共同参画の以下のような取り組みについて、どのように思いますか（〇1つ）

●社会制度・慣行の見直しに関する啓発活動



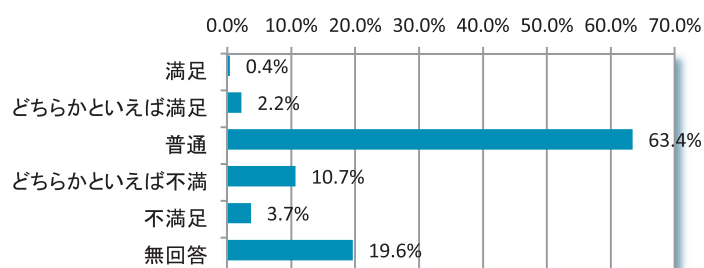
集計結果	回答数	構成比
満足	5	0.5%
どちらかといえば満足	19	2.0%
普通	609	64.2%
どちらかといえば不満	98	10.3%
不満足	38	4.0%
無回答	179	18.9%
計	948	100.0%

## ●子育て支援対策の充実（保育サービス・学童保育等）



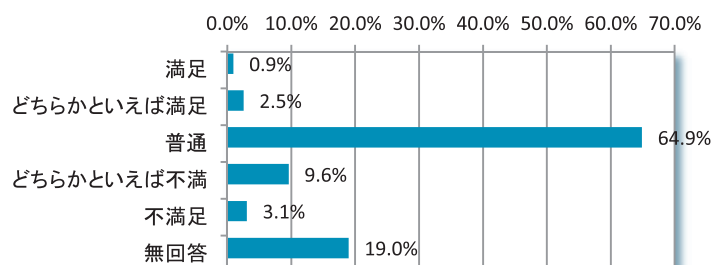
集計結果	回答数	構成比
満足	9	0.9%
どちらかといえば満足	53	5.6%
普通	563	59.4%
どちらかといえば不満	97	10.2%
不満	39	4.1%
無回答	187	19.7%
計	948	100.0%

## ●男女の固定的役割分担意識に対する広報・啓発



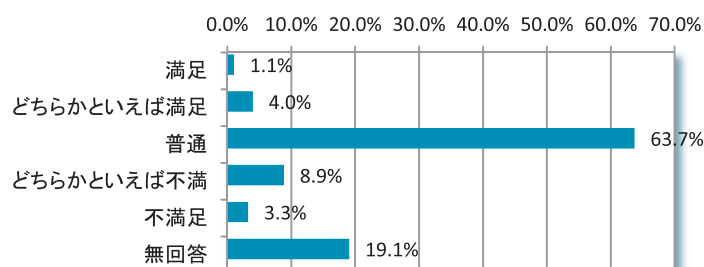
集計結果	回答数	構成比
満足	4	0.4%
どちらかといえば満足	21	2.2%
普通	601	63.4%
どちらかといえば不満	101	10.7%
不満	35	3.7%
無回答	186	19.6%
計	948	100.0%

## ●地域社会への男女の共同参画



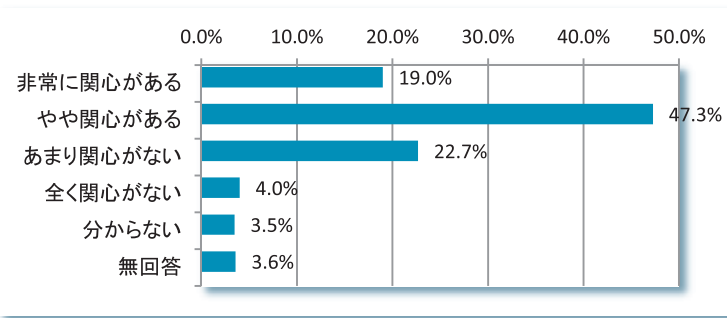
集計結果	回答数	構成比
満足	9	0.9%
どちらかといえば満足	24	2.5%
普通	615	64.9%
どちらかといえば不満	91	9.6%
不満	29	3.1%
無回答	180	19.0%
計	948	100.0%

## ●男女平等教育の充実



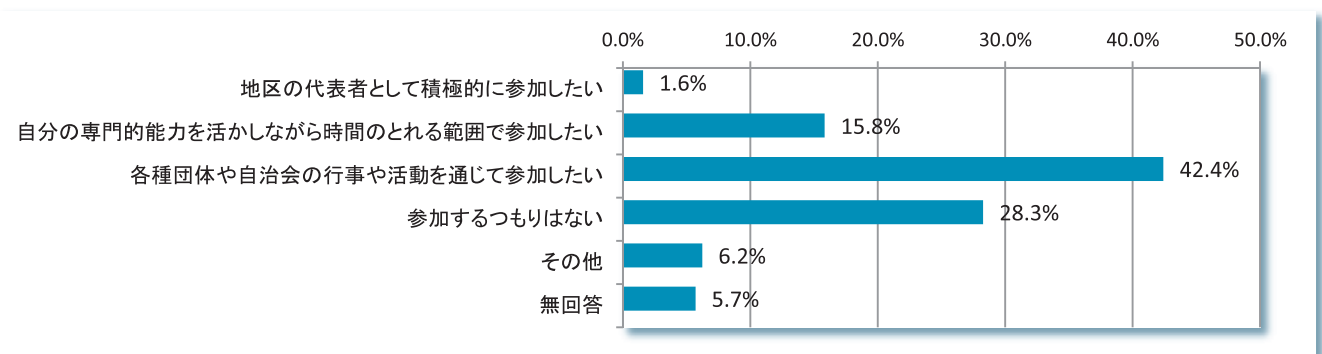
集計結果	回答数	構成比
満足	10	1.1%
どちらかといえば満足	38	4.0%
普通	604	63.7%
どちらかといえば不満	84	8.9%
不満	31	3.3%
無回答	181	19.1%
計	948	100.0%

Q44. あなたは、利根町の町政にどの程度関心がありますか（○1つ）



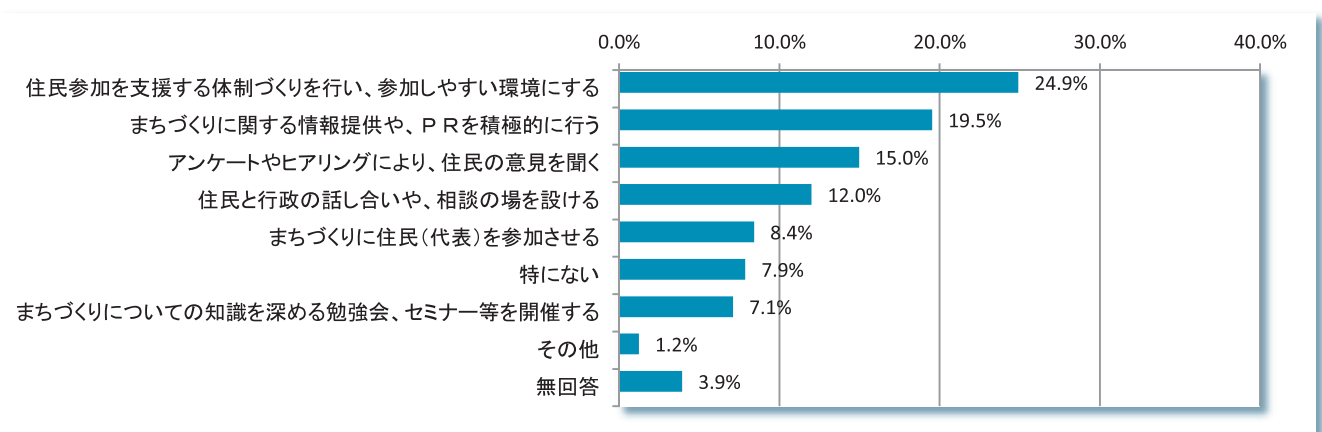
集計結果	回答数	構成比
非常に関心がある	180	19.0%
やや関心がある	448	47.3%
あまり関心がない	215	22.7%
全く関心がない	38	4.0%
分からない	33	3.5%
無回答	34	3.6%
計	948	100.0%

Q45. あなたは、まちづくり活動に参加したいと思いますか（○1つ）



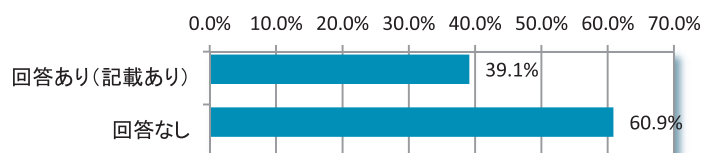
集計結果	回答数	構成比
地区の代表者として積極的に参加したい	15	1.6%
自分の専門的能力を活かしながら時間のとれる範囲で参加したい	150	15.8%
各種団体や自治会の行事や活動を通じて参加したい	402	42.4%
参加するつもりはない	268	28.3%
その他	59	6.2%
無回答	54	5.7%
計	948	100.0%

Q46. 住民参加のまちづくりを実現するために、あなたは町政がどのようなことをすべきだと思いますか（○2つまで）





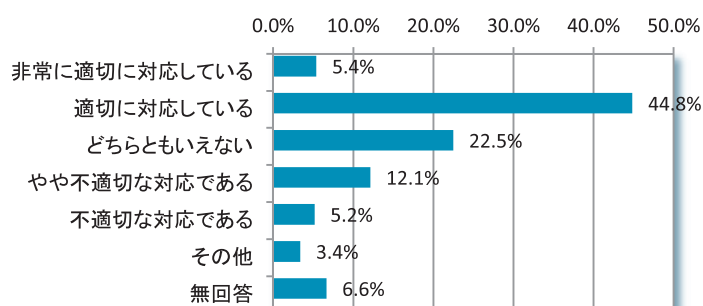
Q47. 統廃合により、空き校舎となっていた旧利根中学校跡地に、平成24年4月、4年制大学が開学することが決まり、校舎や体育館などの建物と利根フレッシュタウンにある第2グラウンドは、大学施設として使用されることとなりましたが、校舎前の第1グラウンド（面積約15,000㎡）については、町が活性化のため活用しようと考えています。あなたは、この旧利根中学校の第1グラウンドを、どのように活用するのが望ましいと思いますか。どんなことでも結構ですので、自由な意見をお書きください



集計結果	回答数	構成比
回答あり(記載あり)	371	39.1%
回答なし	577	60.9%
計	948	100.0%

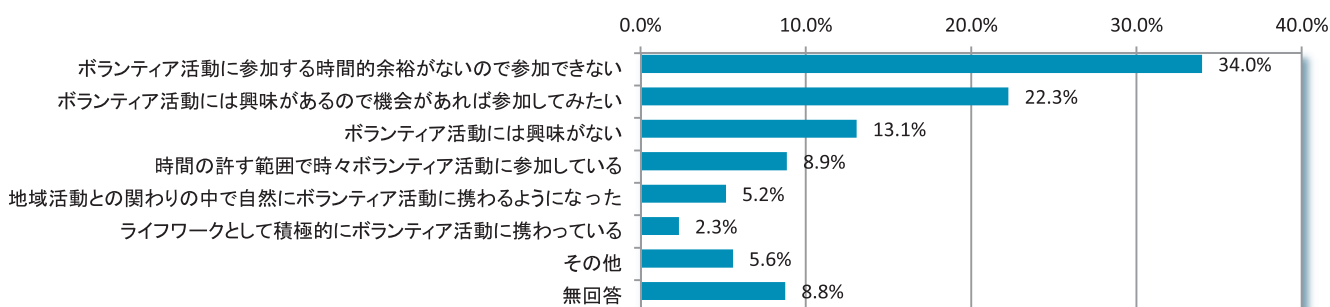
## (9) 行財政全般について

Q48. あなたは、役場の窓口の対応等についてどのような印象をお持ちですか（〇1つ）



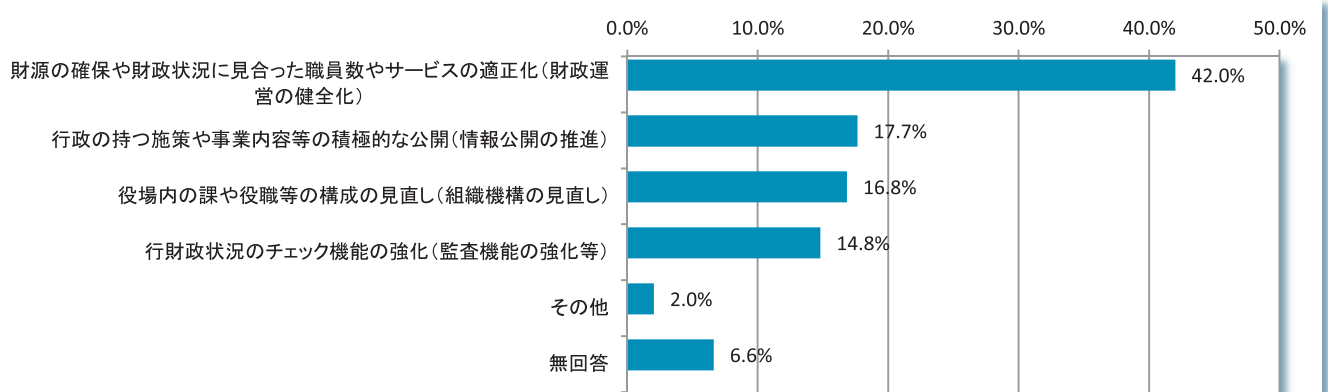
集計結果	回答数	構成比
非常に適切に対応している	51	5.4%
適切に対応している	425	44.8%
どちらともいえない	213	22.5%
やや不適切な対応である	115	12.1%
不適切な対応である	49	5.2%
その他	32	3.4%
無回答	63	6.6%
計	948	100.0%

Q49. あなたは、ボランティア活動についてどのように関わっていますか（〇1つ）

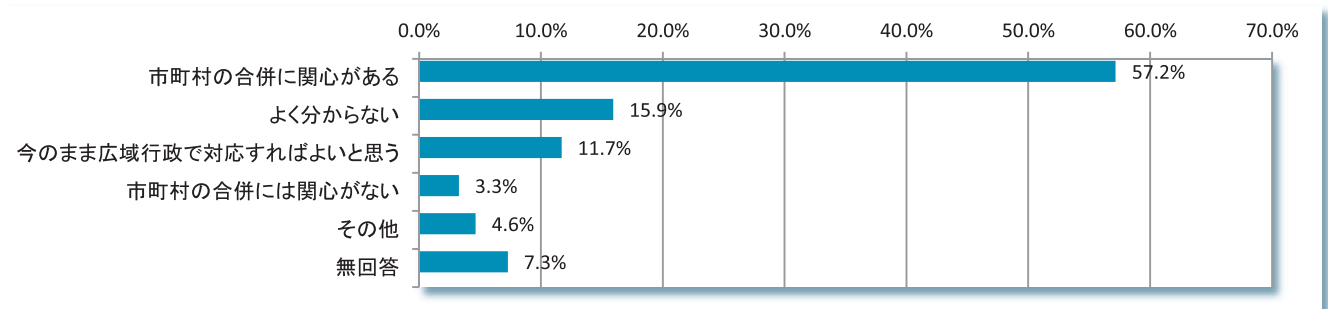


集計結果	回答数	構成比
ボランティア活動に参加する時間的余裕がないので参加できない	322	34.0%
ボランティア活動には興味があるので機会があれば参加してみたい	211	22.3%
ボランティア活動には興味がない	124	13.1%
時間の許す範囲で時々ボランティア活動に参加している	84	8.9%
地域活動との関わりの中で自然にボランティア活動に携わるようになった	49	5.2%
ライフワークとして積極的にボランティア活動に携わっている	22	2.3%
その他	53	5.6%
無回答	83	8.8%
計	948	91.2%

Q50. 効率的な行財政の運営を行う上で、どのようなことが大切だと思いますか（〇2つまで）



Q51. 国や県では、地方自治体の行政運営能力の向上を図り、地方分権に対応できる自治体をつくるため市町村合併を推進していますが、あなたは、市町村の合併についてどのように思いますか（〇1つ）



集計結果	回答数	構成比
市町村の合併に関心がある	542	57.2%
よく分からない	151	15.9%
今のまま広域行政で対応すればよいと思う	111	11.7%
市町村の合併には関心がない	31	3.3%
その他	44	4.6%
無回答	69	7.3%
計	948	100.0%

## (10) 自由意見

自由意見. 利根町の町政やまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、どんなことでもご自由にお書きください

